Canon

PUB. DIJ-0353-000B

はじめに
準備
撮影
カスタマイズ
再生
接続
静止画
メニュー
その他

HD Video Camera

XF100
XF105

使用説明書

HDMI

本機の特長

XF100/XF105は、1/3型CMOSイメージセンサーを搭載。有効画素数約207万画素（1920×1080）のフルピクセルのHD収録に対応し、記録メディアにコンパクトフラッシュカードを採用した高画質なHDビデオカメラです。

高画質HD記録システム

207万画素、1/3型CMOSと高画質映像エンジン「DIGIC DV Ⅲ」を搭載

有効画素数約207万画素（1920×1080）の1/3型単板式CMOSイメージセンサーと映像エンジン「DIGIC DV Ⅲ」を搭載。

MPEG-2 Long GOP 4:2:2 50Mbpsコーデックと MXFファイルフォーマット

クラス最高のMPEG-2 4:2:2 50Mbps記録モードを搭載することにより、放送品質に匹敵する映像収録を実現。業界標準であるMXF（Material eXchange Format）の採用により、ノンリニア編集システムとのスムーズな連携が可能です。

さまざまな記録信号形式に対応（📖 55）

ビットレート（50Mbps、35Mbps、25Mbps）、解像度／フレームレート（1080/60i、1080/30P、1080/24P、720/60P、720/30P、720/24P）の組合せによって15種類の信号形式で映像を記録できます。音声は、リニアPCM（16ビット、48kHz）の2チャンネル記録が可能です。

優れた操作性と汎用性

高性能をコンパクトサイズに凝縮

操作性と携帯性を両立させ、小型・軽量・高性能のボディを実現。

マニュアルリングで簡単操作

フォーカス、ズーム、絞りを操作できるマニュアルリング搭載。コンパクトながらもスイッチの切り換えで素早く操作できます。

ノンカメラマンによる撮影時にも配慮した フェイスキャッチテクノロジー

横顔に近い状態でも検出した顔を追尾してフォーカスする顔追尾機能。さらに、顔が検出されている間のみ顔にフォーカスするFace Only AF機能*を搭載。自由な構図で撮影できます。

* 顔が検出されていないときはマニュアルフォーカスになります。

汎用性の高いCF（コンパクトフラッシュ）カードを採用

記録メディアに入手しやすいCFカードを採用。汎用性の高い記録メディアを使用することでコストパフォーマンスの高い運用が可能です。また、2つのCFカードスロットを搭載し、それぞれのスロットにCFカードを装着することにより、2枚のカードに映像が途切れることなく連続して記録することができます。

簡易ブラウザーと専用プラグインによる ノンリニア編集システムとの連携

記録した映像を確認・管理するための簡易ブラウザーが付属。ノンリニア編集に移行する前に映像を確認できます。また、付属の専用プラグインを使用すれば、撮影した映像を簡単にノンリニア編集システム*に取り込めます。

* 取り込み可能なソフトウェアについては162ページをご覧ください。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現への可能性を広げる特殊記録機能（📖 108）

撮影フレームレートを変更することによって、最低1/2.5倍速のスローモーション撮影や最高5倍速のファーストモーション撮影ができます。また、自然観察など長時間の変化を撮影するときは、撮影間隔と撮影フレーム数を設定して、間欠的に収録を繰り返すインターバル記録が有効です。設定したフレーム数だけを記録するフレーム記録は、クレイアニメーションを制作するときなどに活用できます。

プロフェッショナルの画づくりを実現するカスタムピクチャー（画質調整機能）（📖 120）

ガンマやカラーマトリックス調整などの画質調整が可能。従来機から調整項目を大幅に刷新したカスタムピクチャー機能により、制作意図に応じた自由な画づくりが実現できます。設定はクリップに記録されるほか、SDカードに保存して複数のXF100/XF105で共有することもできます。

夜間での撮影に威力を発揮する赤外撮影機能（📖 114）

スイッチの切り換えで素早く赤外撮影が可能。さらに、夜間の動物の生態撮影などに効果的な赤外ライトも搭載しています。

業務用途に対応する拡張性

XF105 HD/SD-SDI出力端子、GENLOCK/TC入出力端子を搭載

HD/SD-SDI出力端子により、高画質なHD映像をデジタル出力できます。エンベデッドオーディオやタイムコード（LTC/VITC）、ユーザービットの重畳にも対応しました。また、GENLOCK/TC入出力端子を使用して外部の機器とタイムコードを同期させることにより、複数のカメラと組み合わせてマルチカメラ撮影を行うことができます。

快適な操作環境を実現するカスタマイズ機能

33種類の機能から使用頻度の高いものを10個の「アサインボタン」に割り当てることができます。各種機能の設定を変更して好みの操作性に合わせたり（カスタムファンクション）、画面上の表示項目をカスタマイズしたり（カスタムディスプレイ）することも可能です。さらに、これらのカスタマイズ設定を含むすべてのメニューやカスタムピクチャー設定をSDカードに保存／読み出しする設定データ保存機能を使えば、複数のXF100/XF105と設定を共有できます。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

- 正確な残量や寿命（劣化度）を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー（📖 22）。
- 電源ONのままバッテリー交換を可能にする、DC IN端子。
- ハンドル上部にアクセサリーを取り付け可能な1/4インチハンドルネジ。
- ファンタム電源供給（+48V）に対応した音声入力用外部XLR端子（📖 94）。
- 防振構造を採用した外部マイクホルダーと外部マイク用ケーブルクランプ。
- 撮影中であることをどこからでも確認できる前部／後部タリーランプ。
- ノンカメラマンによる撮影時に役立つフルオートモード（📖 51）。
- 手ブレ補正機能（パワードIS、ダイナミックIS、スタンダードIS）を強化（📖 64）。
- 明るさをチェックする波形モニター（WFM）、フォーカスをアシストする新開発のエッジモニターを搭載（📖 104）。
- カメラ本体やNLE、サーバーでの簡単検索を実現するさまざまなメタデータ記録（📖 101）。
- 3D映像制作をサポートする撮影アシスト機能（光軸調整／焦点距離ガイド）を搭載（📖 115、116）。

Contents

はじめに

準　備

撮　影

カスタマイズ

再　生

接　続

静止画

メニュー

その他

本書の読みかた

POWER（電源）スイッチの位置を示すマーク

CAMERA MEDIA　CAMERAにする
CAMERA MEDIA　MEDIAにする
CAMERA MEDIA　CAMERAかMEDIAにする

コラムのマーク

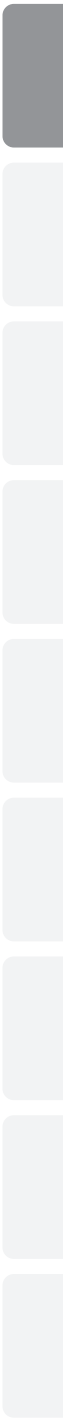
ご注意　必ず守っていただきたいこと
MEMO　知っておいていただきたいこと

次のページに続くことを示すマーク

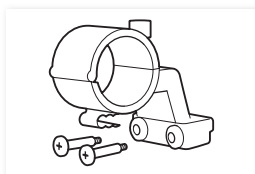
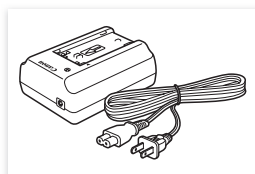
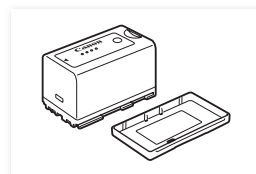
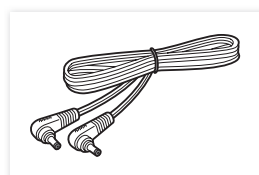
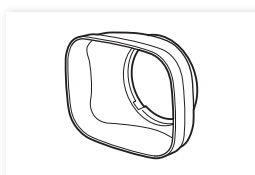
本文中の表記

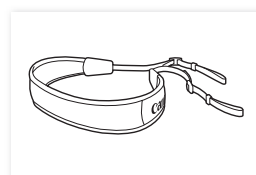
□	参照ページを示す
参考 ▸▸	参考になるページなどを示す
画面	ファインダーの画面、または液晶画面のこと
SDカード	SD/SDHCメモリーカードのこと
メモリーカード	CF（コンパクトフラッシュ）カードまたはSDカードのこと
カメラモード	動画撮影モードのこと
メディアモード	再生モードのこと

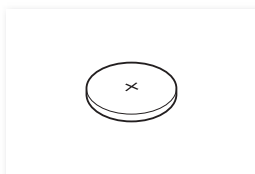
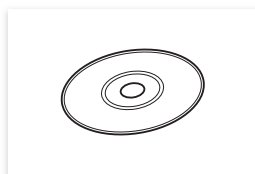
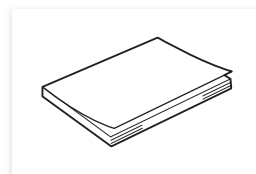
● 音声入力端子は「CH1、CH2」と、録音するチャンネルは「チャンネル」と表記しています。
● 本書で使用しているイラストはXF105です。また、作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
● 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

1 はじめに

商品を確認する

XF100/XF105には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。

ビデオカメラ本体

マイクホルダー

コンパクトパワー
アダプター CA-930

バッテリーパック BP-925

DCケーブル DC-930

レンズフード

レンズキャップ

ショルダーストラップ
SS-1200

リモコン（ワイヤレスコントローラー）WL-D6000

コイン型リチウム電池
CR2025（リモコン用）

Canon XF Utilities Disc*

XF100/XF105
使用説明書（本書）

* ソフトウェアのインストールについては、「クリップをパソコンに保存する」（□ 162）をご覧ください。インストールすると、ソフトウェアの説明書も一緒にパソコンにコピーされます。

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

事前に、50 Mbpsのビットレート（□ 55）で約6分間ためし撮りをし、正常に録画･録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」（□ 203）をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラや記録メディアなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画･録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

各部の名称

各部の機能と使いかたについては、⏩📖に記載されているページをご覧ください。

本体の名称

1 CFカードカバー ⏩ 📖 39

2 CFカードスロット ⏩ 📖 40

3 CFカード取り出しボタン ⏩ 📖 41

4 POWER（電源）スイッチ ⏩ 📖 26

5 電源ランプ ⏩ 📖 26

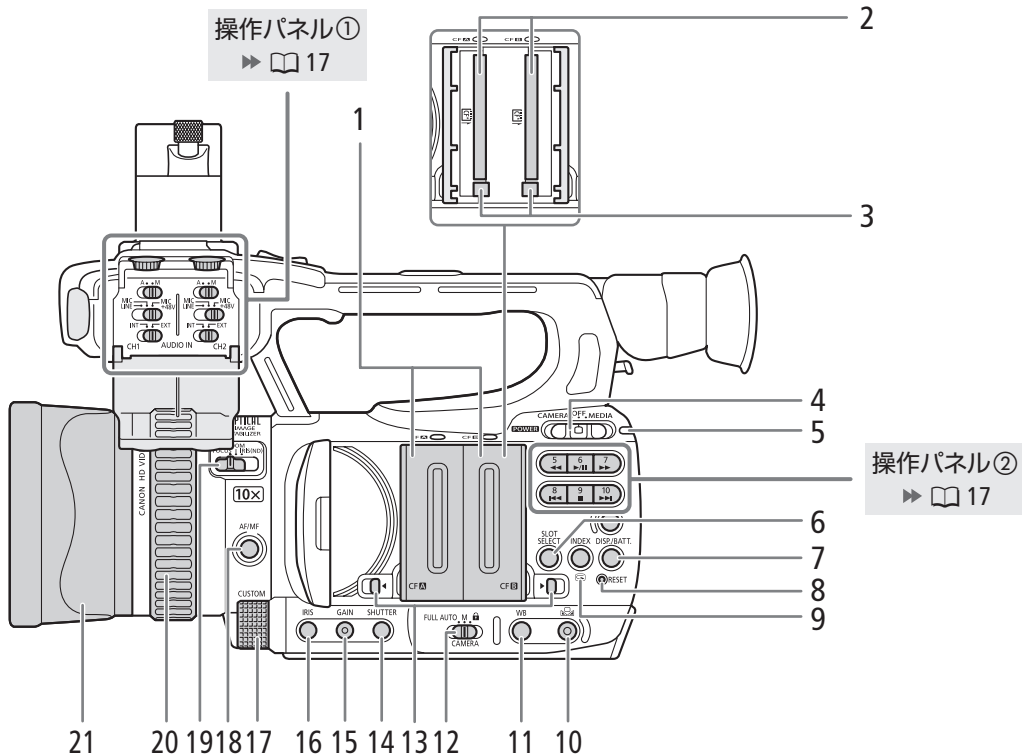
6 SLOT SELECT（スロット選択）ボタン ⏩ 📖 44

7 DISP.（ディスプレイ）／BATT.（バッテリー情報）ボタン ⏩ 📖 52、24

8 RESET（リセット）ボタン ⏩ 📖 205

9 INDEX（インデックス）／ ⊡（レックビュー）ボタン ⏩ 📖 137、107

10 カスタムWB（ホワイトバランス）ボタン ⏩ 📖 77

11 WB（ホワイトバランス）ボタン ⏩ 📖 74

12 カメラモード切り換えスイッチ ⏩ 📖 51

13 CFカードカバー開くレバー（CF🅰/CF🅱）⏩ 📖 39

14 SHUTTER（シャッター）ボタン ⏩ 📖 69

15 GAIN（ゲイン）ボタン ⏩ 📖 65

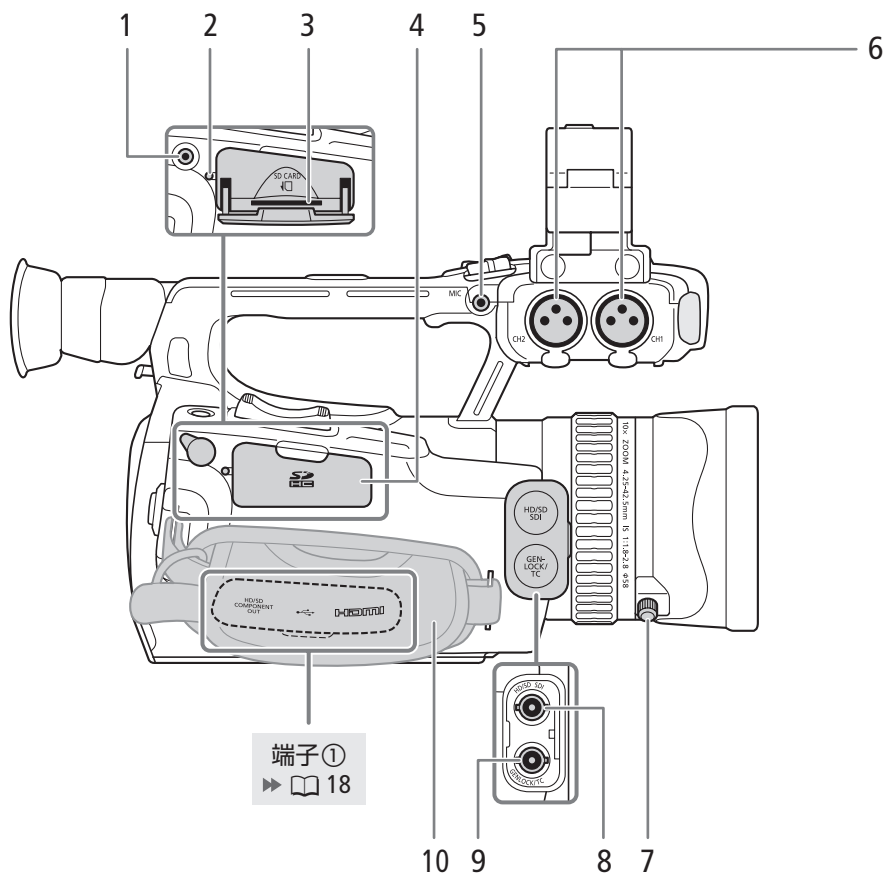
16 IRIS（アイリス）ボタン ⏩ 📖 71

17 CUSTOM（カスタム）ダイヤル ⏩ 📖 56

18 AF/MF切り換えボタン ⏩ 📖 58

19 マニュアルリング切り換えスイッチ ⏩ 📖 58、71、78

20 マニュアルリング ⏩ 📖 58、71、78

21 レンズフード ⏩ 📖 31

1 REMOTE（リモート）端子 ▶▶ 🕮 79

2 SDカードアクセスランプ ▶▶ 🕮 42

3 SD CARD（SDカード）スロット ▶▶ 🕮 42

4 SDカードカバー ▶▶ 🕮 42

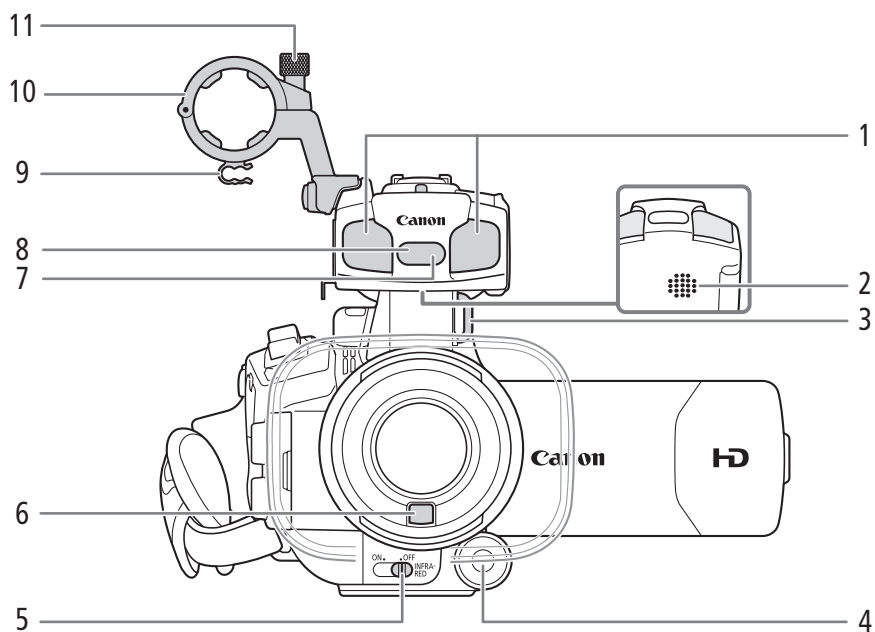
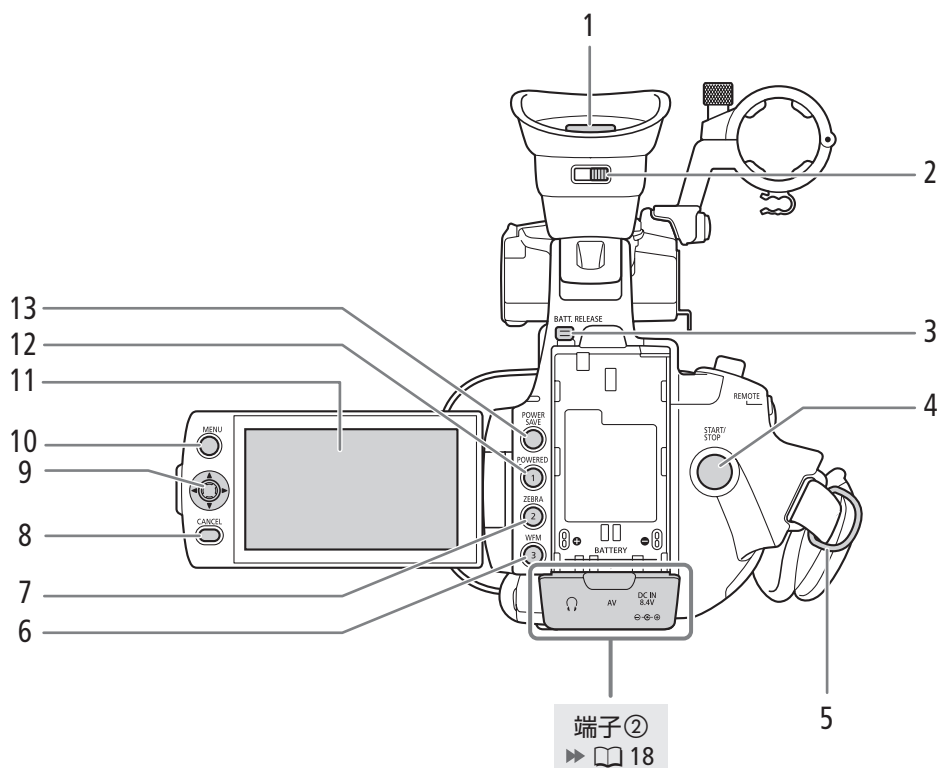
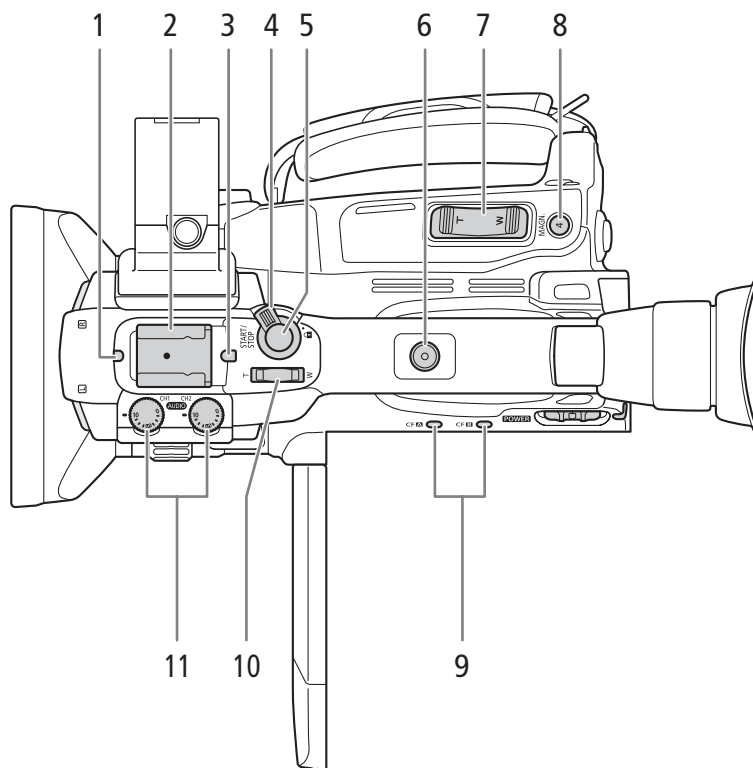
5 ⌀3.5mmマイク端子 ▶▶ 🕮 94

6 XLR端子（CH1/CH2）▶▶ 🕮 96

7 レンズフード固定ネジ ▶▶ 🕮 31

8 **XF105** HD/SD SDI 端子 ▶▶ 🕮 157

9 **XF105** GENLOCK/TC（タイムコード）端子 ▶▶ 🕮 91

10 グリップベルト ▶▶ 🕮 34

1 内蔵マイク ⏩ 📖 94
2 内蔵スピーカー ⏩ 📖 140
3 ストラップ取り付け部 ⏩ 📖 35
4 CUSTOM(カスタム)キー ⏩ 📖 56
5 INFRARED(赤外撮影)切り換えスイッチ ⏩ 📖 114
6 ハイスピードAF用外部センサー ⏩ 📖 61
7 リモコン受光部 ⏩ 📖 37
8 IR(赤外)ライト ⏩ 📖 114
9 ケーブルクランプ ⏩ 📖 96
10 外部マイクホルダー ⏩ 📖 96
11 外部マイク固定ネジ ⏩ 📖 96

1 ファインダー 32
2 視度調整レバー 32
3 BATT.RELEASE（バッテリー取り外し）ツマミ 23
4 START/STOP（スタート／ストップ）ボタン 49
5 ストラップ取り付け部 35
6 WFM（波形モニター）／アサイン3ボタン 104
7 ZEBRA（ゼブラ）／アサイン2ボタン 85
8 CANCEL（キャンセル）ボタン 28
9 ジョイスティック 28
10 MENU（メニュー）ボタン 28
11 液晶画面 32
12 POWERED IS（パワードIS）／アサイン1ボタン 64
13 POWER SAVE（パワーセーブ）ボタン 54

1 前部タリーランプ ⏩ 🕮 49

2 アクセサリーシュー
バッテリービデオライト（別売）などを取り付けます。

3 後部タリーランプ ⏩ 🕮 49

4 ロックレバー ⏩ 🕮 49

5 START/STOP（スタート／ストップ）ボタン ⏩ 🕮 49

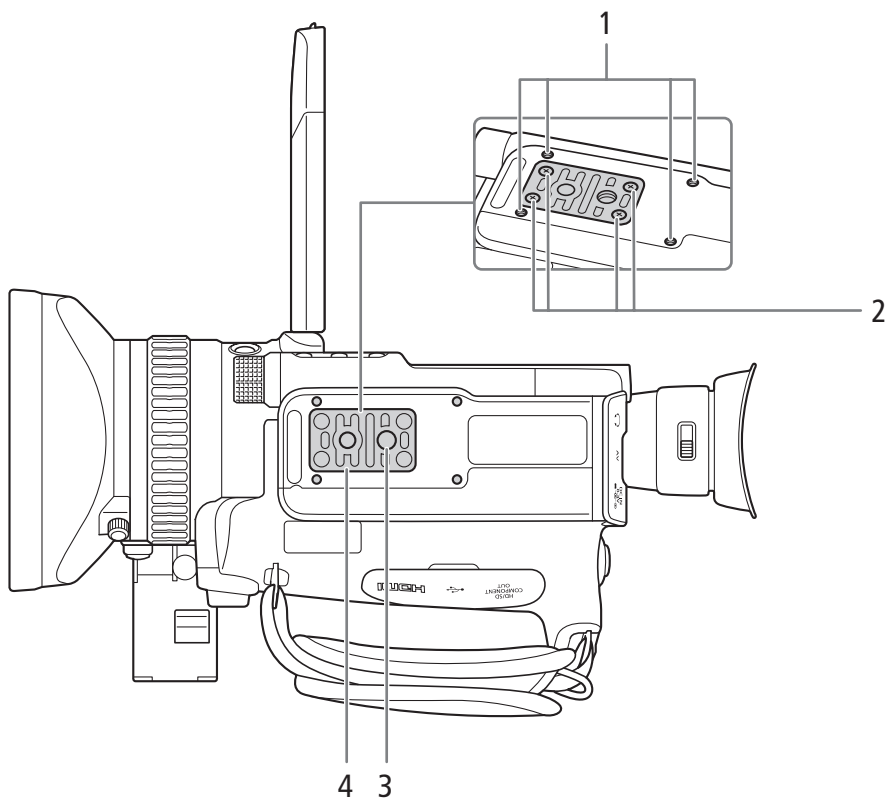
6 1/4インチハンドルネジ ⏩ 🕮 48

7 グリップズームロッカー ⏩ 🕮 79

8 MAGN.（拡大）／アサイン4ボタン ⏩ 🕮 60

9 アクセスランプ（CFⒶ/CFⒷ）⏩ 🕮 39

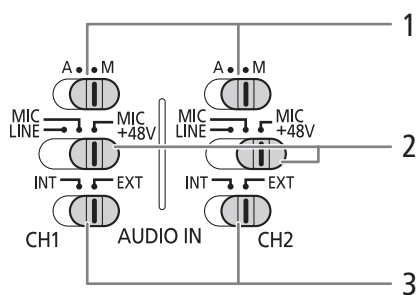
10 ハンドルズームロッカー ⏩ 🕮 79

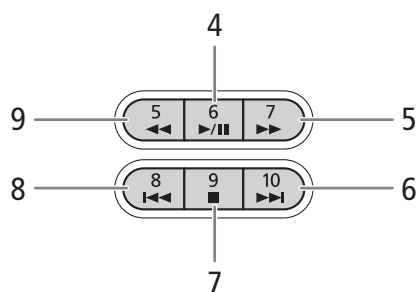
11 AUDIO（録音レベル）調整つまみ（CH1/CH2）⏩ 🕮 98

1 別売の三脚アダプター TA-100取り付け部 ⏩ 📖 38

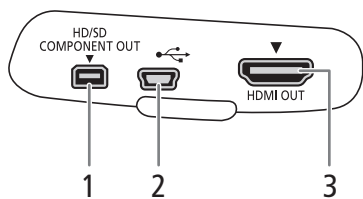
2 三脚ベース取り付けネジ ⏩ 📖 38

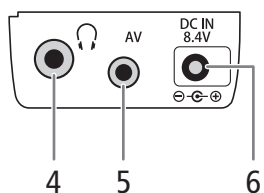
3 三脚取り付け穴 ⏩ 📖 38

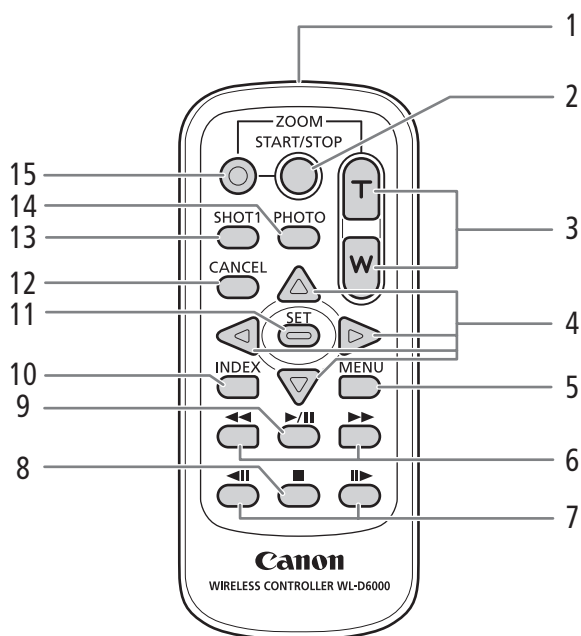
4 1/4インチネジ用三脚ベース ⏩ 📖 38

操作パネル①

1 AUDIO（録音レベル）切り換えスイッチ（CH1/CH2）
  ⏩ 📖 98
2 XLR端子切り換えスイッチ（CH1/CH2）⏩ 📖 94
3 AUDIO IN（音声入力）切り換えスイッチ（CH1/CH2）
  ⏩ 📖 94

操作パネル②

4 ▶/❚❚（再生／一時停止）／アサイン6ボタン ⏩ 📖 138
5 ▶▶（早送り）／アサイン7ボタン ⏩ 📖 138
6 ▶▶❙（次スキップ）／アサイン10ボタン ⏩ 📖 138
7 ■（停止）／アサイン9ボタン ⏩ 📖 138
8 ❙◀◀（前スキップ）／アサイン8ボタン ⏩ 📖 138
9 ◀◀（早戻し）／アサイン5ボタン ⏩ 📖 138

端子①

1 HD/SD COMPONENT OUT端子 ▶▶ 📖 157
2 USB端子 ▶▶ 📖 162
3 HDMI OUT端子 ▶▶ 📖 157

端子②

4 🎧（ヘッドホン）端子 ▶▶ 📖 100
5 AV端子 ▶▶ 📖 157
6 DC IN端子 ▶▶ 📖 25

リモコン WL-D6000（📖 36）の名称

1 送信部 ⏩ 📖 37
2 START/STOP（スタート／ストップ）ボタン ⏩ 📖 49
3 ZOOM（ズーム）ボタン ⏩ 📖 82
4 ▲/▼/◀/▶ ボタン ⏩ 📖 28
5 MENU（メニュー）ボタン ⏩ 📖 28
6 ◀◀/▶▶（早戻し／早送り）ボタン ⏩ 📖 140
7 ◀II/II▶（コマ戻し／コマ送り）ボタン ⏩ 📖 140
8 ■（停止）ボタン ⏩ 📖 138
9 ▶/II（再生／一時停止）ボタン ⏩ 📖 138
10 INDEX（インデックス）ボタン ⏩ 📖 137
11 SET（設定）ボタン ⏩ 📖 28
12 CANCEL（キャンセル）ボタン ⏩ 📖 28
13 SHOT1（ショットマーク1）ボタン ⏩ 📖 106、152
14 PHOTO（フォト）ボタン ⏩ 📖 172
15 誤操作防止ボタン ⏩ 📖 49、82

2

準　備

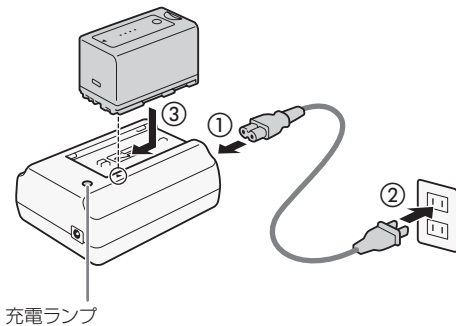
電源を準備する

電源は、バッテリーパックまたは家庭用コンセントから使用します。バッテリーパックが取り付けられている状態で、家庭用コンセントに接続するとコンセントからの電源で動作します。バッテリーパックは充電してから使います。

バッテリーパックを使う

BP-900シリーズのバッテリーパック（📖 218）を使用できます。BP-925（付属）、BP-955（別売）やBP-975（別売）などのバッテリーは、インテリジェントシステムに対応していますので、残量を確認することができます。

充電する

コンパクトパワーアダプター（付属）を使って充電します。バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取り外します。（📖212）

点滅	充電量
☀ ☀	1秒間に1回点滅 → 0 ～ 34%
☀☀ ☀☀	1秒間に2回点滅 → 35 ～ 69%
☀☀☀ ☀☀☀	1秒間に3回点滅 → 70 ～ 99%

1 コンパクトパワーアダプター（付属）にDCケーブルが差し込まれているときは、DCケーブルを抜く
   - DCケーブルが差し込まれていると充電が行われません。

2 コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む（①）

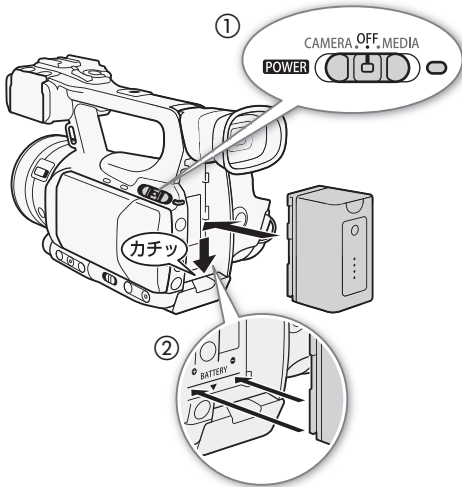
3 電源プラグをコンセントに差し込む（②）

4 バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながらカチッと音がするまでスライドさせる（③）
   - 充電ランプが点滅して、充電が始まる。
   - 充電中は、充電ランプの点滅のしかたで充電量（目安）を確認できる。点滅→点灯に変わったら充電終了。

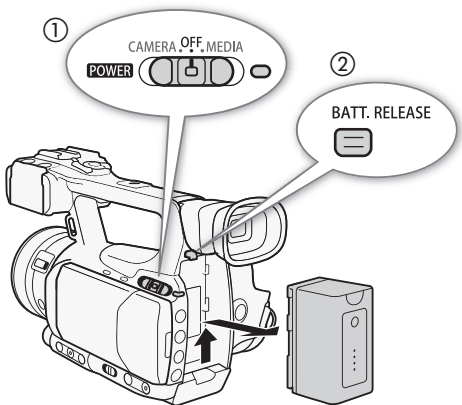
5 バッテリーパックをスライドさせて、取り外す

6 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをコンパクトパワーアダプターから抜く

- バッテリーパックを充電するときは、DCケーブルをコンパクトパワーアダプターからはずしてください。
- バッテリーパックBP-925（付属）、BP-955（別売）やBP-975（別売）は、以下のテープ記録の製品ではご使用いただけません。
  XLシリーズ、XHシリーズ、DM-XVシリーズ

本体に取り付ける

1 POWER（電源）スイッチをOFFにする（①）
- POWER（電源）スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる。

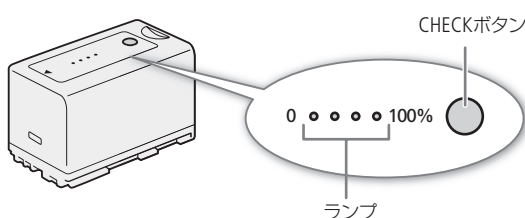
2 バッテリーパックを図のようにカチッと音がするまで入れる（②）

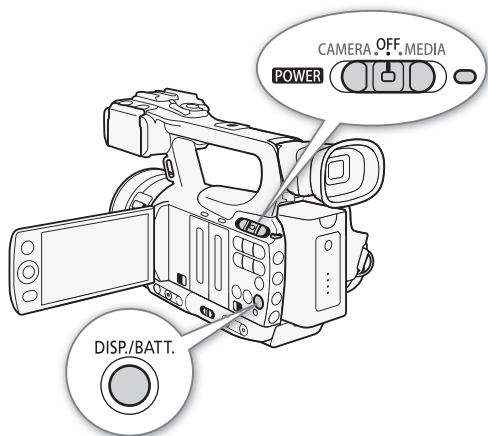
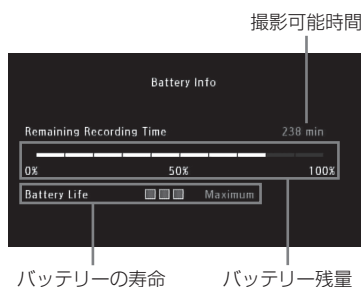
本体から取り外す

1 POWER（電源）スイッチをOFFにする（①）
- POWER（電源）スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる。

2 バッテリー取り外しツマミを押しながら、バッテリーを取り外す

残量を確認する

BP-925（付属）、BP-955（別売）やBP-975（別売）をお使いのときは、本機の電源を入れなくても、次の方法でバッテリーの残量（目安）を確認できます。また、電源を入れたあとは、カメラモード／メディアモードの各画面（📖 52、136）や、バッテリー／使用時間ステータス画面（📖 201）で確認することもできます。

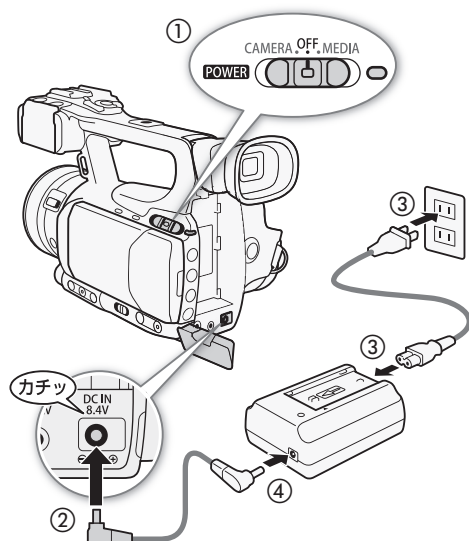
バッテリーパック単独で確認する

1 バッテリー上のCHECKボタンを押す
- 約3秒間ランプが点灯してバッテリーの残量（目安）を確認できる。

本体に取り付けて確認する（バッテリー情報）

1 本機が電源OFFのとき DISP.（ディスプレイ）／BATT.（バッテリー情報）ボタンを押す
- バッテリーパックの残量と撮影可能時間の目安が5秒間表示される。
- バッテリーが消耗していると、表示されないことがある。

- コンパクトパワーアダプターに指定された製品以外を接続しないでください。
- 10 ℃～30 ℃の場所で充電することをおすすめします。0 ℃未満、40 ℃を超える場所では充電できません。

- コンパクトパワーアダプターやバッテリーパックに異常があると、充電ランプが消灯し、充電を中止します。
- バッテリーの取り扱いについては、212ページをご覧ください。
- バッテリーパックの充電時間とフルに充電したときの使用時間は、222ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。

- バッテリーパックは、充放電を繰り返すと少しずつ劣化して容量が少なくなります。BP-925（付属）、BP-955（別売）やBP-975（別売）を取り付けているときは、バッテリー情報画面（前ページ）またはバッテリーステータス画面（📖 201）でバッテリーの寿命を確認できます。寿命をより正確に確認するには、バッテリーを充電してから使い切ってください。

家庭用コンセントにつないで使う

コンパクトパワーアダプター CA-930（付属）とDCケーブルDC-930（付属）を使って、家庭用コンセントにつないで使用できます。

1 POWER（電源）スイッチをOFFにする（①）
   - POWER（電源）スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる。

2 DC IN端子にDCケーブルを接続する（②）

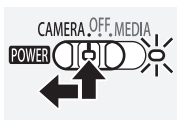
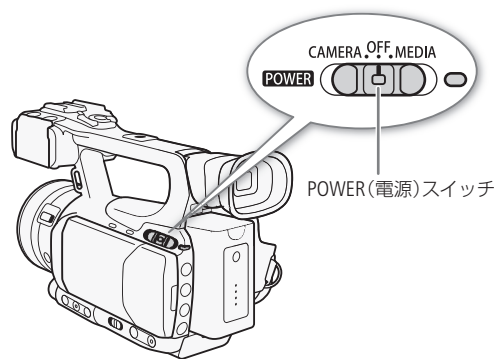
3 コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む（③）

4 DCケーブルをコンパクトパワーアダプターに接続する（④）

ご注意　コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。

MEMO　本機を家庭用コンセントにつなぐと、電源を入れたままバッテリーを交換することができます。

■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。POWER（電源）スイッチを「CAMERA」側にして電源を入れるとカメラモードに、「MEDIA」側にして電源を入れるとメディアモードになります。

カメラモードで起動するとき

POWER（電源）スイッチを押しながら「CAMERA」側にスライドさせる。
電源ランプが緑色に点灯

メディアモードで起動するとき

POWER（電源）スイッチを押しながら「MEDIA」側にスライドさせる。
電源ランプが緑色に点灯

電源を切るとき

POWER（電源）スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる。
電源ランプが消灯

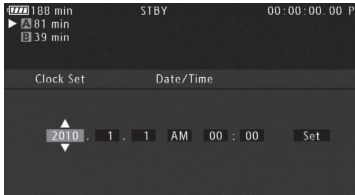
日時を設定する

CAMERA MEDIA

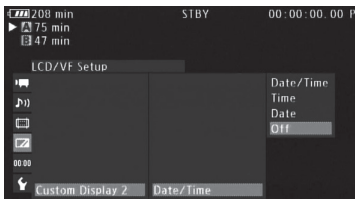
はじめてお使いになるときは、日付・時刻を設定する画面が表示されます*。

* 内蔵のリチウム2次電池が放電したときも同様です。

準備

日付と時刻を設定する

① ジョイスティックを上下に押して「年」の数字を選び、SETを押す。
　● カーソルが「月」に移動する。
　● SETを押すたびに、年→月→日→時→分の順にカーソルが移動する。
② ①の操作を繰り返して、日付／時刻を設定する。
③ カーソルが一番右の「Set」にある状態で、時報に合わせてSETを押す。
　● 日時設定が完了する。

撮影中に日時を表示する

撮影中に現在の日時を画面下方に表示できます。

① MENUボタンを押す。
② ジョイスティックを上下に押して（LCD/VF Setupメニュー）を選ぶ。
③ 同様に、「Custom Display 2」＞「Date/Time」を順に選ぶ＞SETを押す。
④「Date/Time」、「Time」、「Date」のいずれかを選ぶ＞SETを押す。
　● 日時を表示しないときは、ここで「Off」を選ぶ。
⑤ MENUボタンを押す。

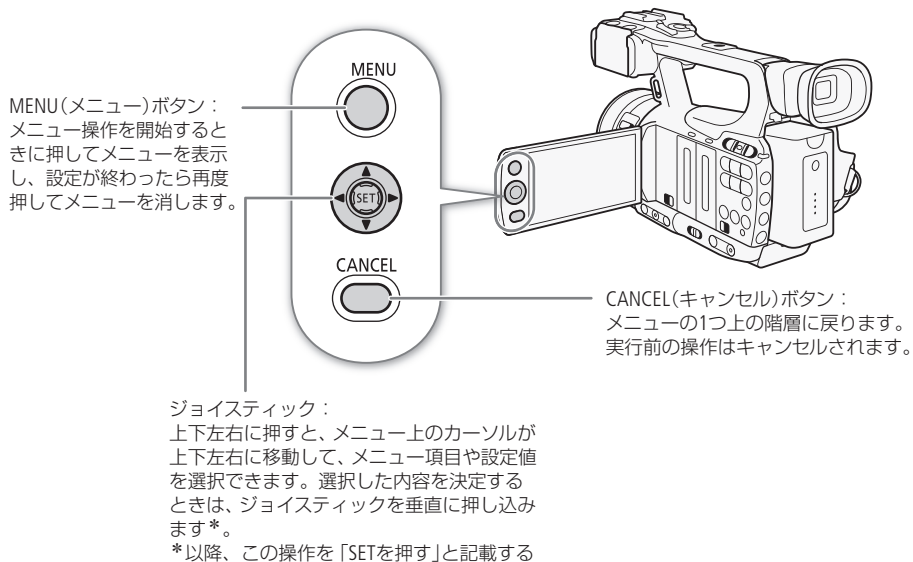
- 日時設定は、Other Functionsメニュー＞「Clock Set」の「Date/Time」で変更できます。また、タイムゾーンは、Other Functionsメニューの「Time Zone」で変更できます（□ 191）。
- 本機を3ヶ月近く使わないでおくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して日付／時刻の設定が解除されることがあります。そのときは、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください（□ 214）。

メニューで設定を変える CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニュー設定の基本操作や共通操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。メニューの種類については「メニュー一覧」(□ 182)をご覧ください。

MENU(メニュー)ボタン：メニュー操作を開始するときに押してメニューを表示し、設定が終わったら再度押してメニューを消します。

CANCEL(キャンセル)ボタン：メニューの1つ上の階層に戻ります。実行前の操作はキャンセルされます。

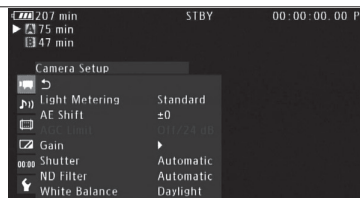
ジョイスティック：上下左右に押すと、メニュー上のカーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。選択した内容を決定するときは、ジョイスティックを垂直に押し込みます*。
*以降、この操作を「SETを押す」と記載する

メニュー操作の基本

例をあげてメニューの基本操作を説明します。

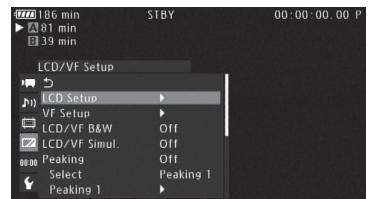
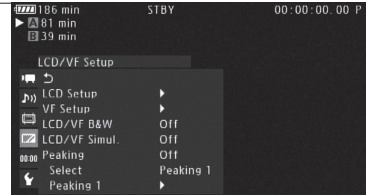
例：「ピーキング」を「2」に設定する場合

1 メニューを表示させる

① MENUボタンを押す。
- メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。
- メニューは、最後にメニューを消したときの状態が保持されたまま表示される(電源をOFF/ONすると表示は初期状態に戻る)。

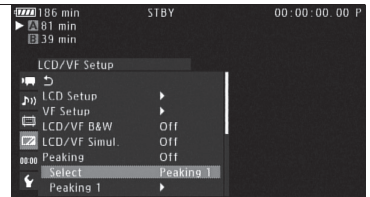
準備

2 設定するメニューを選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニューを選ぶ。
- 選んだメニューのサブメニューが表示される。

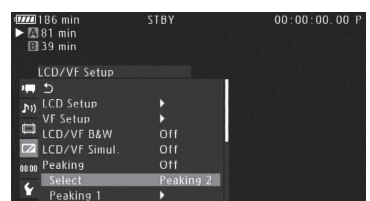
② SETを押す。
- カーソルがメニュー項目に移動する。
- ジョイスティックを右に押して、カーソルをメニュー項目に移動することもできる。
- 表示しきれないメニュー項目があるときは、メニューの右端にスクロールバーが表示される。カーソルを上下に移動するとメニューがスクロールする。

3 設定するメニュー項目を選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニュー項目を選ぶ。

② SETを押す。
- カーソルが設定内容に移動する。
- メニュー項目の右側に表示される「▶」は、下の階層にメニュー項目があることを示す。このメニュー項目を選んだときは、再度①、②の操作を行って、下の階層のメニュー項目を選ぶ。
- 「CANCELボタンを押す*」、「ジョイスティックを左に押す」、「⮌を選ぶ」、のいずれかを行うと、カーソルが1つ上の階層に戻る。

* 以降、この操作を「CANCELを押す」と記載する。

4 設定内容を選び、設定する

① ジョイスティックを上下に押して、設定内容を選ぶ。

② SETを押す。
- 選んだ設定内容を決定し、上の階層のメニュー項目に戻る。

5 メニューを消す

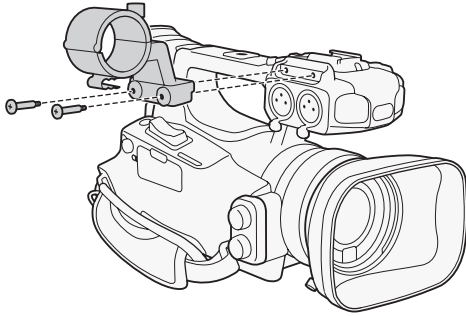
① MENUボタンを押す。

- メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。

- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されることがあります。
- MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- リモコンで操作する場合、リモコンの△/▽/◁/▷/⊖（設定）ボタンがジョイスティックと同等に機能します。
- 現在の設定内容は、ステータス画面で確認できます（□ 196）。

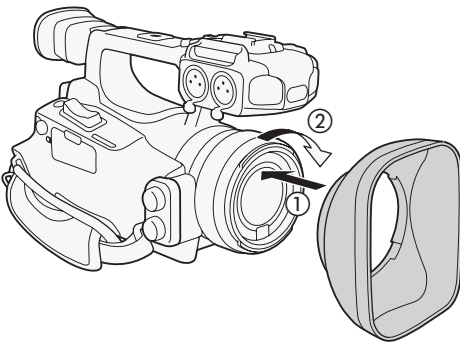
カメラを準備する

ここではマイクホルダーの取り付け、ファインダーや液晶画面の調整、グリップベルトの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。

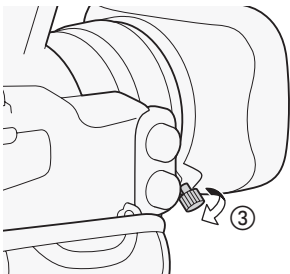
準備

■ マイクホルダーを取り付ける

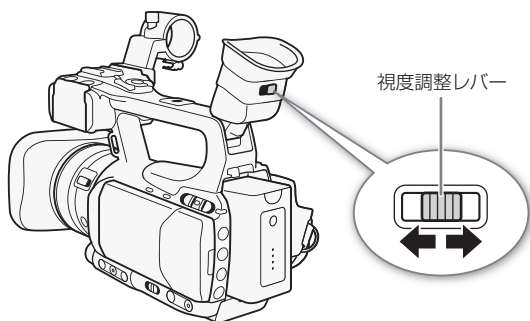
付属のネジでマイクホルダーをハンドル部に取り付ける

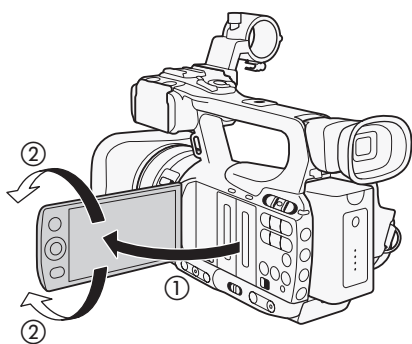
■ レンズフードを取り付ける

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。

1 レンズ先端部にフードをはめ込み（①）、時計方向に回す（②）
- フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け／取り外しにくくなります。

2 固定ネジでフードを固定する（③）

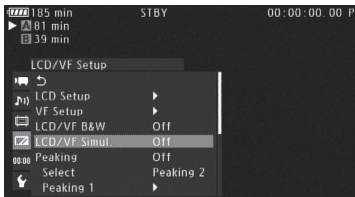
レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付けてください。

ファインダーの視度を調整する

ファインダーの映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。電源を入れ（□ 26）、視度調整レバーを左右に動かして調整してください。

液晶画面を使う

液晶画面を開く

1 液晶画面を手前に引き出し、見やすい位置まで回転させる

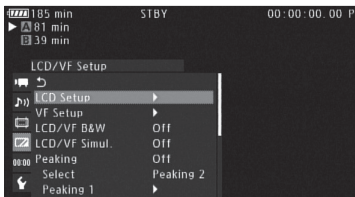
- 液晶画面を使用しているときは、ファインダーに映像は表示されません。液晶画面とファインダーを同時に使用することもできます。
- 液晶画面をモノクロにしたいときは34ページをご覧ください。
- 市販のレンズアダプターなどを取り付けた場合に映像が上下左右に反転するときは、Other Functionsメニュー ＞「Custom Function」の「Scan Reverse Rec」（□ 194）で、映像を上下左右反転、上下反転、左右反転させて記録することができます。

ファインダーを同時に使う CAMERA MEDIA

液晶画面とファインダーを同時に使用することができます。

① LCD/VF Setupメニュー ➤「LCD/VF Simul.」を順に選ぶ。
②「On」を選ぶ ➤ SETを押す。

液晶画面／ファインダーを調整する CAMERA MEDIA

画面を調整する

明るさ、コントラスト、カラー、シャープネス*、バックライトの各項目を、液晶画面とファインダーそれぞれ別々に調整できます。なお、この設定は記録される映像には影響しません。
* シャープネスはファインダーでは設定できません。

1 「LCD Setup」または「VF Setup」を選ぶ

① LCD/VF Setupメニュー ➤「LCD Setup」または「VF Setup」を順に選ぶ。
② SETを押す。

2 調整する

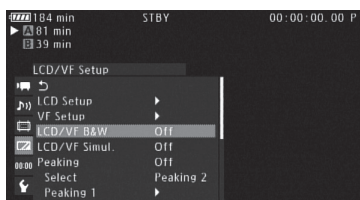
① 調整する項目を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「Brightness」(明るさ)、「Contrast」(コントラスト)、「Color」(カラー)、「Sharpness」(シャープネス)、「Backlight」(バックライト)から選ぶ。

② ジョイスティックを上下に押す ➤ SETを押す。
③ 調整する項目について、①②を繰り返す。
④ メニューを消す。

アサインボタンに「LCD Setup」を割り当てると、アサインボタンを押してLCD/VF Setupメニュー ➤「LCD Setup」メニューを表示することができます。(📖 118)。

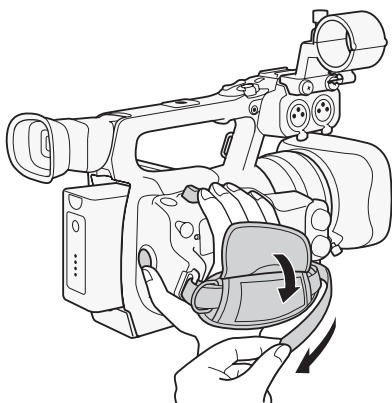
液晶画面とファインダーをモノクロにする

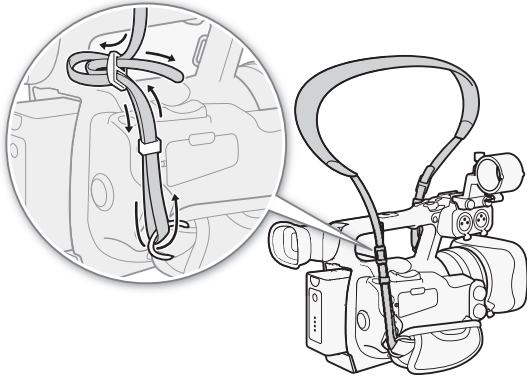
CAMERA MEDIA

画面をモノクロ表示にします。モノクロ表示にしても、表示文字などはカラーで表示されます。

① LCD/VF Setupメニュー ➤「LCD/VF B&W」を順に選ぶ。
② 「On」を選ぶ ➤ SETを押す。

アサインボタンに「LCD/VF B&W」を割り当てると、アサインボタンを押してOn/Offを切り換えられます（118）。

グリップベルトを調節する

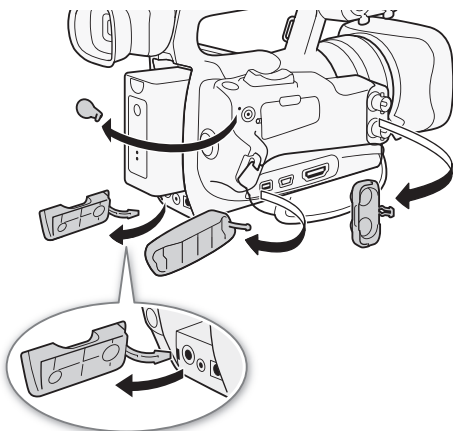
親指がスタート／ストップボタンに、人さし指と中指がグリップズームロッカーに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。

落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

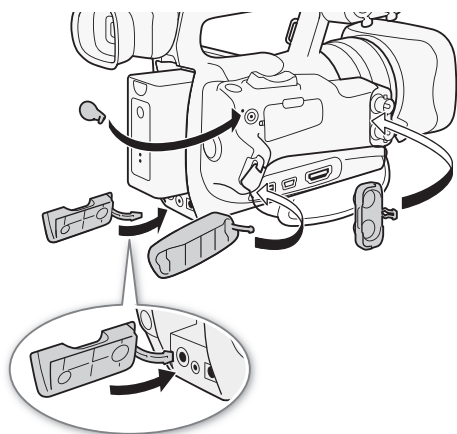
ストラップを取り付ける

落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

端子カバーを取り外す／取り付ける

次の端子カバーを取り外すことができます。

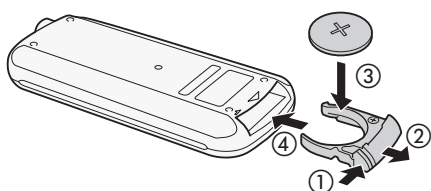
- HD/SD SDI（XF105）、GENLOCK/TC端子カバー（XF105）
- HD/SD COMPONENT OUT、USB、HDMI OUT端子カバー
- 🎧（ヘッドホン）、AV、DC IN端子カバー
- REMOTE端子カバー

取り外す

1 端子カバーを開けて、まっすぐに引き出す

取り付ける

端子カバーの取り付け部を取り付け口に差し込む

取り外し／取り付けの際、端子カバーの取り付け部がつかみにくいときは、ピンセットなど先の細いものを使用してください。

■ リモコンを使う

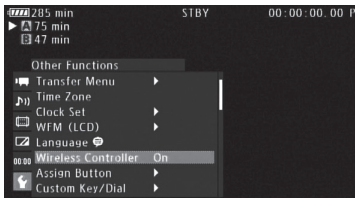
電池を入れる

1 ツマミを押して（①）引き抜く（②）

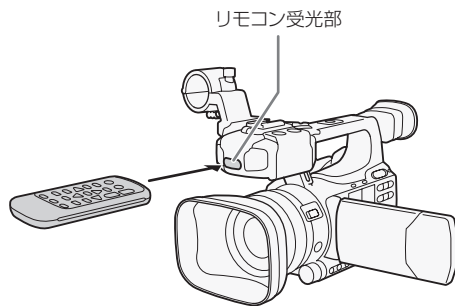
2 ＋側を上にして付属の電池を入れる（③）

3 リモコンに取り付ける（④）

準備

リモコンを有効にする

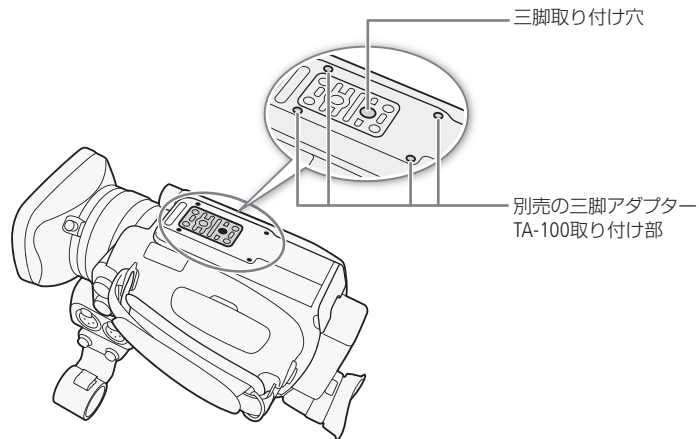
CAMERA MEDIA

① Other Functionsメニュー ➤ 「Wireless Controller」を順に選ぶ。
② 「On」を選ぶ ➤ SETを押す。

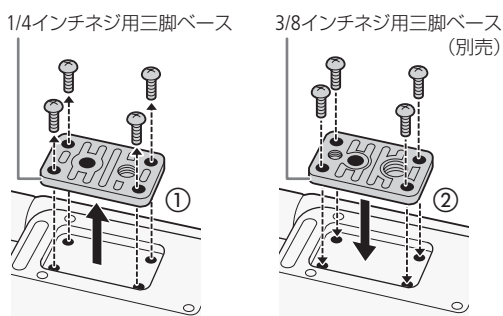
リモコンを使って操作する

リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

- リモコン操作中は、前後のタリーランプが点灯する。

- リモコンのSTART/STOP（スタート／ストップ）ボタンまたはZOOM（ズーム）ボタンを操作するときは、誤操作防止ボタンと同時に押してください。
- リモコンのボタンを押しても動作しない、本体に近づかないと動作しないなどのときは、電池を交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
- アサインボタンに「Wireless Controller」を割り当てると、アサインボタンを押してリモコンのOn/Offを切り換えられます（□ 118）。

本体を三脚に取り付ける

取り付けネジの長さが5.5mm未満の三脚を取り付けることができます。

取り付けネジ径が3/8インチの三脚を使う

取り付けネジの径が3/8インチの三脚を使用するときは、三脚ベース（三脚取り付け部）を3/8インチネジ用の三脚ベースTB-1（別売）に交換する必要があります。

1 1/4インチネジ用の三脚ベースを取り外す（①）
- ネジを4本取り外して、1/4インチネジ用の三脚ベースを取り外す。

2 3/8インチネジ用の三脚ベースTB-1（別売）を取り付ける（②）
- 4本のネジをしっかり締める。

3 三脚を取り付ける
- 三脚のネジは確実に締める。
- 3/8インチと1/4インチの2つのネジが付いた三脚を使用するときは、両方のネジを確実に締める。

ネジの長さが5.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。

記録メディアを準備する

本機では、動画をコンパクトフラッシュカード（CFカード）に、静止画をSDメモリーカード（）／SDHCメモリーカード（）*に記録します。CFカード用のスロットは2つあります。記録メディアを使用するときは、はじめに本機で初期化してください（43）。

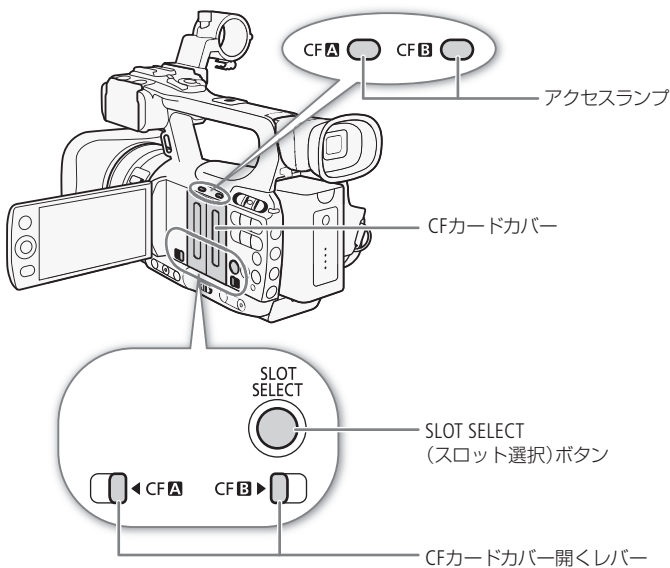
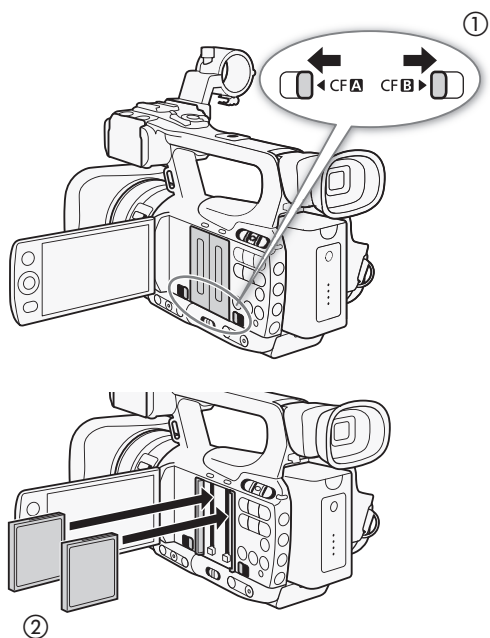
* SDカードには、カスタムピクチャーや設定データも記録されます。また、ユーザーメモを設定するときは、付属のソフトウェアCanon XF Utilityで作成したユーザーメモファイルを、SDカードを使って本機に取り込みます。

使用可能なCFカード

本機では、UDMA*に対応した512MB以上のコンパクトフラッシュカード（Type I）を使用可能です。動作確認済みカードなどの詳細情報については、キヤノンホームページなどでご確認ください。

* Ultra Direct Memory Accessの略で、機器とCFカード間のデータ転送を行うときの最大転送速度（MB/s）を定めた規格です。UDMA対応のカードでも、転送速度によっては記録できないことがあります。

すべてのカードの動作を保証するものではありません。

CFカードを入れる

1 CFカードカバー開くレバーを◀/▶方向にスライドさせる（①）

● CFカードカバーが左または右に開く。

2 カードのラベル面をバッテリー側に向けて、奥までしっかり入れる（②）

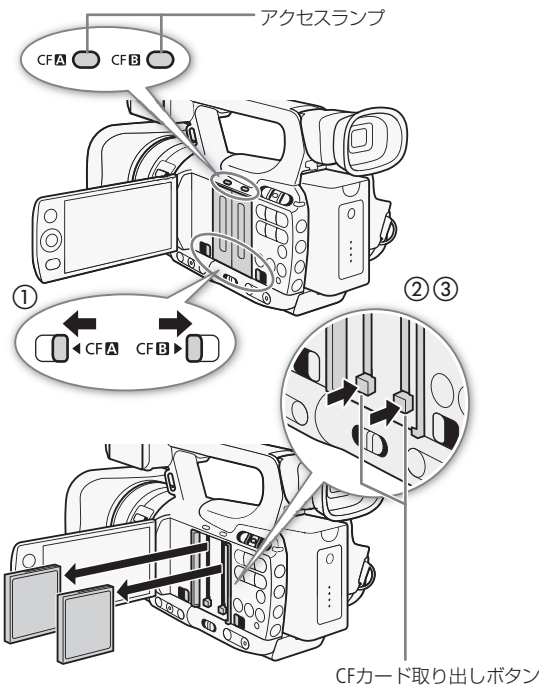
3 CFカードカバーを閉じる

● カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

CFカードスロットの状態を確認するには

アクセスランプの色と光りかたでCFカードスロットの状態を確認できます。

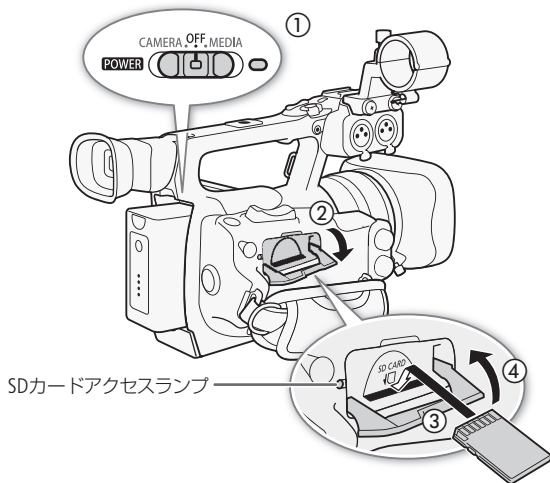
アクセスランプ	スロットの状態
点灯（赤）	カードにアクセス中
点灯（緑）	記録／再生可能でかつ、スロットが記録／再生先として選択されている
消灯	• カードにアクセスしていない • カードが入っていない • 別のスロットが選択されている

CFカードを取り出す

1 アクセスランプが消えていることを確認する
2 CFカードカバー開くレバーを◀/▶方向にスライドさせる（①）
   - CFカードカバーが左または右に開く。
3 CFカード取り出しボタンを押す（②）
   - CFカード取り出しボタンがせり出す。
4 CFカード取り出しボタンを押し込む（③）
   - CFカードが出てくる。
5 CFカードカバーを閉じる

アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているCFカードスロットのカードカバーを開けない。

MEMO アクセスランプは点灯しないようにすることもできます（📖 192）。

SDカードを入れる／出す

1 電源をOFFにする（①）

2 SDカードカバーを開ける（②）

3 カードのラベル面を手前にして、カチッと音がするまで奥までしっかり入れる（③）

SDカードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

4 SDカードカバーを閉じる（④）

● カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

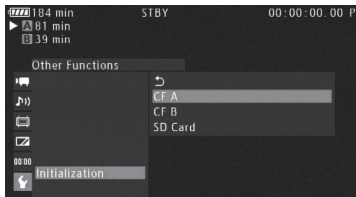
● SDカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  ■ SDカードを取り出さない。
● カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
● カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。

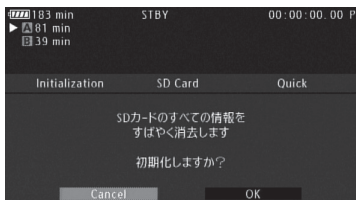
● SDカードアクセスランプは点灯しないようにすることもできます（🕮 192）。

初期化する CAMERA MEDIA

メモリーカードをはじめて使用するときや、メモリーカードに記録した動画／静止画などすべての情報を消去するときに初期化します。SDカードの初期化には「初期化」と「完全初期化」とがあり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

1 初期化する記録メディアを選ぶ

① Other Functionsメニュー ＞「Initialization」を順に選ぶ。
②「CF A」、「CF B」、「SD Card」のいずれかを選ぶ ＞ SETを押す。

2 「SD Card」を選んだとき 初期化の方法を選ぶ

①「Complete」（完全初期化）または「Quick」（初期化）を選ぶ ＞ SETを押す。
- CFカードを初期化するときは、この操作は不要。

3 初期化を実行する

①「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 選んだカードが初期化され、すべての情報が消去される。

SDカードの「完全初期化」を中止するとき

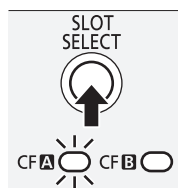
SETを押す。SDカードはそのまま使用できるが、データはすべて消去される。

② SETを押す。

- 初期化すると、OKマークを付けた動画やプロテクトした静止画、カスタムピクチャーなどを含め、CFカード／ SDカード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- SDカードの「完全初期化」は、カードによっては数分かかることがあります。

動画記録中に、もう一方のCFカードを初期化することができます。

記録／再生に使用するCFカードスロットを切り換える CAMERA MEDIA

本機は、2つのCFカードスロットを備えています（CFA/CFB）。両方のスロットにCFカードを入れているときは、必要に応じてスロットを切り換えられます。

1 スロットを切り換える

① SLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押す。
- 選択されたスロットのアクセスランプが緑色に点灯する。

- 両方のスロットにCFカードを入れていて、選択しているスロットのカードカバーを開けると、スロットが切り換わります。
- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットは切り換わりません。

CFカードスロット記録方式の選択 CAMERA MEDIA

2つのCFカードに連続して映像を記録するリレー記録、2つのCFカードに同時に映像を記録するダブルスロット記録が可能です。

リレー記録：	カードの空き容量がなくなると、自動的にもう一方のスロットに切り換わり、映像が途切れることなく連続して記録する機能。CFA⇔CFB両方向で連続記録が可能です。 Other Functionsメニュー ➤「Relay Rec」で「On」を選ぶ ➤ SETを押す。
ダブルスロット記録：	A、B両方のCFカードに対し、同時に映像を記録して映像をバックアップする機能。 Other Functionsメニュー ➤「Double Slot Rec」で「On」を選ぶ ➤ SETを押す。

- ビットレート（□ 55）を「50Mbps」に設定しているとスローモーション撮影時にリレー記録されません。
- ダブルスロット記録中、記録容量の少ないCFカードがフルになると、両カードへの記録を停止します。また、一方のCFカードに書き込みエラーが発生した場合、他方のCFカードへの記録は継続します。
- ダブルスロット記録はリレー記録、スロー＆ファーストモーション記録との併用はできません。

撮影可能時間を確認する CAMERA MEDIA

カメラモードのときは、各スロットに入っているCFカードの撮影可能時間（分単位）*と、選択されているスロットを画面で確認できます（📖 52）。また、メディアステータス画面（📖 199）を表示すると、各カードの総容量、使用量、記録可能時間（SDカードの場合は静止画枚数）を確認できます。

* 撮影可能時間は、現在設定しているビットレート（📖 55）を元に算出します。

CFカードを修復する CAMERA MEDIA

記録中に停電する、記録中にカード取り出すなどの原因によって、CFカードに記録したデータに異常が発生することがあります。このときは、CFカードを修復することによってカード内のデータを正常な状態に戻すことができます。修復が必要なCFカードをスロットに入れると、修復するかどうかを確認するエラーメッセージが画面に表示されます。

1 「CF A（CF B）は修復が必要です 修復しますか？」が表示されたとき 修復を行う

① 「はい」を選ぶ ＞ SETを押す。
● CFカードの修復が行われる。

② 修復が終了すると「修復が終了しました。クリップを確認してください」が表示される ＞ SETを押す。

記録中に修復が必要な状態になったカードを修復した場合

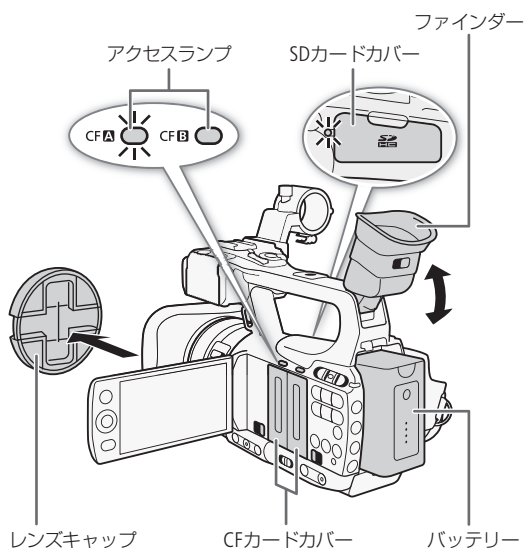
- 10秒未満のクリップは消去される。
- クリップの末尾のデータが、最大約10秒間消去される。

- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステム（FAT32）が壊れているとき、またはカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- 記録中、選択されていないスロットに、修復が必要なCFカードを入れたときも修復を行うことができます。

撮 影

動画を撮影する CAMERA MEDIA

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については、94ページをご覧ください。

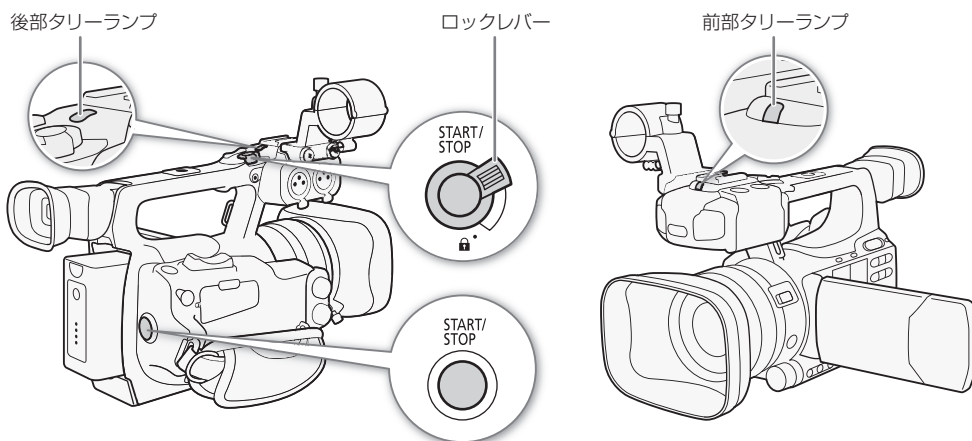
準備する

1 充電したバッテリーパックを取り付ける（📖 23）

2 CFカードを入れる（📖 39）
- リレー記録（📖 44）、ダブルスロット記録（📖 44）を行うときは、カードを2枚入れる。

3 レンズキャップをはずす

4 ファインダーを調整する（📖 32）

- 記録されるクリップに、撮影者名や撮影場所、撮影内容などの情報をユーザーメモとして付加することができます。ユーザーメモを付加するときは、撮影前に設定してください（📖 101）。
- ハンドル上部の1/4インチハンドルネジに、市販のアクセサリーを取り付けることができます。

撮影する

1 POWER(電源)スイッチを押しながら「CAMERA」側にする(📖 26)

- 本機がカメラモードで起動し、撮影一時停止状態(STBY)になる。
- 記録先として選択されているCFカードスロットのアクセスランプが赤く点灯したあと、緑色に点灯する。

2 START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す

- 撮影が始まる。前後のタリーランプが点灯し、画面に●RECが表示される。
- グリップのSTART/STOPボタン、ハンドルのSTART/STOPボタンのいずれを押しても撮影開始できる。
- リモコン(付属)で操作するときは、START/STOPボタンと誤操作防止ボタンを同時に押す。

3 撮影を停止するとき もう一度START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す

- 撮影が終了してクリップ*がCFカードに記録され、撮影一時停止状態(STBY)になる。タリーランプは消灯する。

* 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。クリップには、映像・音声のほかに、カスタムピクチャーやメタデータが含まれることがあります。

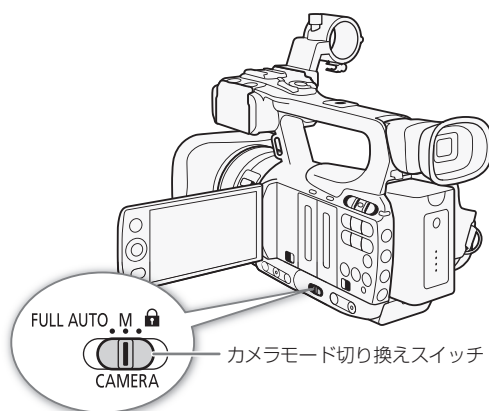
ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - アクセスしているCFカードスロットのカードカバーを開けて、CFカードを取り出さない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

- ハンドルのSTART/STOPボタンには、誤操作防止用のロックレバーがあります。使用しないときや撮影状態を保持したままにしたいときは、ロックレバーを🔒側にしてください。レバーを元の位置に戻すとロックは解除されます。
- レックレビュー機能（🕮 107）を使うと、カメラモードのまま、最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。
- アサインボタンに「Add OK Mark」または「Add ☑ Mark」を割り当て、アサインボタンを押すと、最後に記録したクリップにOKマーク／チェックマークを付加できます（🕮 118）。
- Other Functionsメニュー ➤「Clips」の「Delete Last Clip」で、最後に記録したクリップを消去できます（🕮 193）。アサインボタンに「Delete Last Clip」を割り当てて操作することもできます（🕮 118）。ダブルスロット記録をOnに設定しているときは、操作することはできません。
- XF105 Other Functionsメニューの「SDI Rec Command」を「On」にして、本機と他機をHD/SD SDI端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（START/STOPボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。この機能の動作確認情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
- 本機は長時間の使用で底面の三脚部付近が熱くなることがありますが、故障ではありません。

フルオートモードで撮影する

カメラモード切り換えスイッチをFULL AUTOにすると本機がフルオートモードになります。このときはアイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスがすべてオートに設定され、明るさとホワイトバランスが常に自動で調整されます*。ただし、フルオートモードにしてもAF(オートフォーカス)はONになりません。

* 測光方式(□ 73)は「Standard」に、AEレベル(□ 72)は「±0」に、AGCリミット(□ 65)は「Off/24 dB」に、それぞれ設定されます。

ロックする

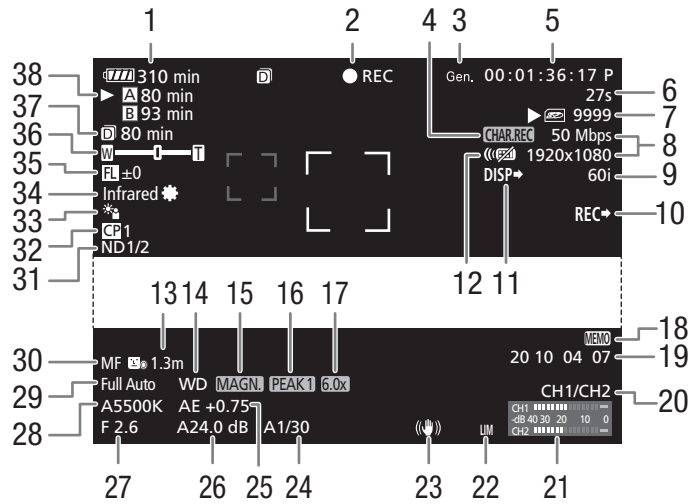
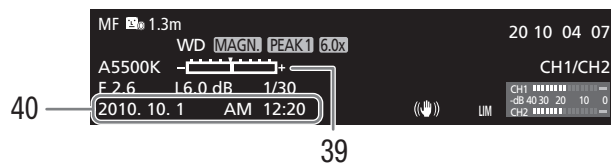
カメラモード切り換えスイッチをロック(🔒)にすると、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス、AFはマニュアル時の設定が保持されます。また、これらのボタン操作は無効になります。

クリップについて

記録されるクリップには、「AA0001」のような6文字のクリップ名(2桁の大文字英字+4桁の数字)が自動的に付けられます。4桁の数字は記録のたびにカウントアップされます。2桁の英字と数字の初期値は、Other Functionsメニューの「Clips」であらかじめ任意の文字列に設定できます(□ 193)。記録後に変更することはできません。

- 撮影中にリレー記録が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のクリップとして記録されます。
- カスタムピクチャーやメタデータを設定して撮影すると、それらのデータが動画と一緒にクリップ内に記録されます。それぞれのデータの詳細については、「カスタムピクチャー」(□ 120)または「メタデータを操作する」(□ 101)をご覧ください。
- クリップ内の映像ファイル(ストリーム)は、約2GB毎に分割して記録されます(本機で再生したときは、連続して再生されます)。

撮影時の画面表示

ここでは、カメラモードのときの画面表示について説明します。ほとんどの項目は、カスタムディスプレイ（□ 188）で表示／非表示を選択できます。表示／非表示を選択できる項目には、C が付いています。

「日時表示」を表示したときの画面

1 C バッテリー残量の目安
→ → → → (赤色)
バッテリー残量アイコンと撮影／再生可能時間（分単位）を表示します。が表示されたらバッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容とが一致しないことがあります。

2 C 撮影状態
ダブルスロット記録時（44）は先頭にⒹが表示されます。（スローアンドファーストモーション撮影を除く）

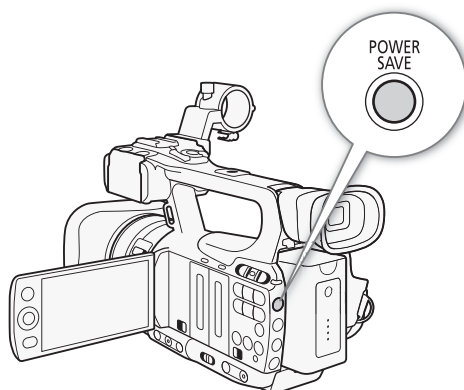
● REC	撮影中
STBY	撮影一時停止中
● INT REC	インターバルRec撮影中
INT STBY（INTが点滅）	インターバルRec撮影一時停止中
● FRM REC	フレームRec撮影中
● FRM STBY	フレームRec撮影一時停止中（撮影開始後）
FRM STBY（FRMが点滅）	フレームRec撮影一時停止中（撮影開始前）
● S&F REC	スローアンドファーストモーション撮影中
S&F STBY	スローアンドファーストモーション撮影一時停止中
● PRE REC	プレRec撮影中
PRE REC STBY	プレRec撮影一時停止中

3 C ゲンロック ▶▶ 91
4 C 表示文字記録 ▶▶ 132
5 C タイムコード ▶▶ 87
6 C インターバルカウンター ▶▶ 108
7 C SDカード状態 ▶▶ 172
8 C ビットレート／解像度 ▶▶ 55
9 C フレームレート ▶▶ 55
10 C SDI記録コマンド状態 ▶▶ 193
11 C 画面表示出力 ▶▶ 159
12 C リモコン ▶▶ 189
13 C 被写体距離 ▶▶ 59
14 C コンバージョンレンズ装着状態 ▶▶ 83
15 C 拡大表示 ▶▶ 60
16 C ピーキング ▶▶ 59
17 C テレコンバーター ▶▶ 78
18 C ユーザーメモ ▶▶ 101
19 C ユーザービット ▶▶ 90
20 C 音声出力チャンネル ▶▶ 160
21 オーディオレベルメーター ▶▶ 98
22 オーディオリミッター ▶▶ 99
23 C 手ブレ補正 ▶▶ 64
C 光軸調整 ▶▶ 115
24 C シャッタースピード ▶▶ 68
25 AEレベル ▶▶ 72
26 C ゲイン ▶▶ 65
27 C アイリス／ F値 ▶▶ 71
28 C ホワイトバランス ▶▶ 74
29 C フルオートモード ▶▶ 51
C ロック ▶▶ 51
30 C フォーカスモード ▶▶ 58
31 C NDフィルター ▶▶ 184
32 C カスタムピクチャー ▶▶ 120
33 C 測光方式 ▶▶ 73
バックライト
スタンダード
スポットライト
34 C Infraredモード、InfraredライトOn/Off ▶▶ 114
35 C 焦点距離ガイド ▶▶ 116
36 C ズーム位置 ▶▶ 79
37 C ダブルスロット記録残量表示 ▶▶ 44
38 C CFカード状態／撮影可能時間（分）
CFカード状態
A ・・・カードに記録可能
・・・カードなし／記録不可能
選択中のメディアに▶が付く。
撮影可能時間（分）
39 C 露出バー ▶▶ 67
40 C 日時表示 ▶▶ 27

撮影

DISP.（ディスプレイ）／ BATT.（バッテリー情報）ボタンを押すと、画面表示を消すことができます。もう一度押すと再び表示されます。

■ パワーセーブモードで待機する

本機をパワーセーブモードにすると画面が消え、バッテリーの消耗を軽減することができます。撮影するときは、ボタンを押すだけですぐに撮影一時停止状態（STBY）に戻ります。

1 パワーセーブモードに入る

① POWER SAVE（パワーセーブ）ボタンを2秒以上押す。
- 画面が消え、本機がパワーセーブモードに入り、電源ランプがオレンジに点灯します。
- パワーセーブ中は、前後のタリーランプが約3秒に一度2回点滅する。各種の設定やタイムコードは保持される。

2 パワーセーブモードから復帰する

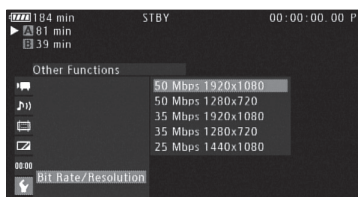
① POWER SAVE（パワーセーブ）ボタンを押す。
- 画面が表示され、本機が撮影一時停止状態（STBY）になる。

映像の信号形式を選ぶ CAMERA MEDIA

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、ビットレート、解像度、フレームレートと撮影時のスキャン方式の組み合わせからなります。

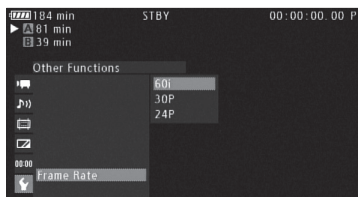
記録信号形式一覧

ビットレート	解像度	フレームレート			
		60i	60P	30P	24P
50 Mbps（CBR 4:2:2）	1920×1080	○	—	○	○
	1280×720	—	○	○	○
35 Mbps（VBR 4:2:0）	1920×1080	○	—	○	○
	1280×720	—	○	○	○
25 Mbps（CBR 4:2:0）	1440×1080	○	—	○	○

（ ）内は、ビットレートの方式とカラーサンプリング方式です。

1 ビットレートと解像度を選ぶ

① Other Functionsメニュー ➤「Bit Rate/Resolution」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

● 選んだビットレートと解像度が画面に表示される。

2 フレームレートを選ぶ

① Other Functionsメニュー ➤「Frame Rate」を順に選ぶ。

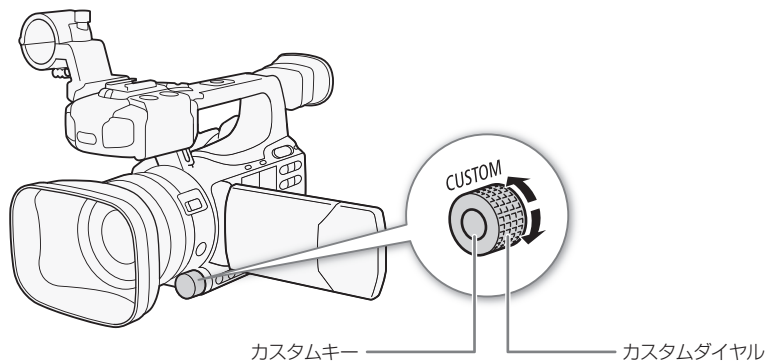
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

● 選んだフレームレートが画面に表示される。

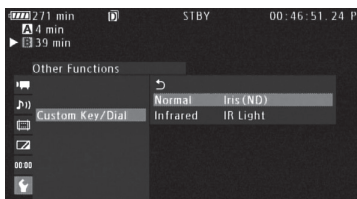
各種出力端子からの信号については、「出力信号形式」（📖 156）をご覧ください。

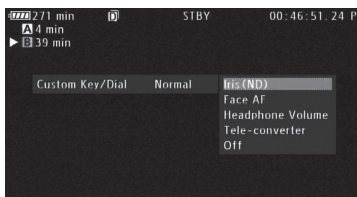
よく使う機能を設定する

カスタムキー／ダイヤル

よく使う機能を選んで設定しておくと、その機能を簡単に切り換えられます。割り当てる機能はメニューまたは専用メニューで設定します。

機能を設定する

カスタムキー／ダイヤルに割り当てられる機能は、NormalモードまたはIRモードによって異なります（57、191）。

メニューで設定する

① Other Functionsメニュー ➤「Custom Key/Dial」➤ SETを押す。
② 「Normal」または「Infrared」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ ジョイスティックを上下に操作して設定を選択する ➤ SETを押す。

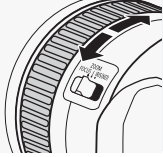
専用メニューで設定する

① カスタムキーを長押しする（約2秒）。
② 専用メニューが開いたらカスタムダイヤルまたはジョイスティックを上下に操作して、設定を選択する。
③ カスタムキー、またはSETを押して設定を決定する。

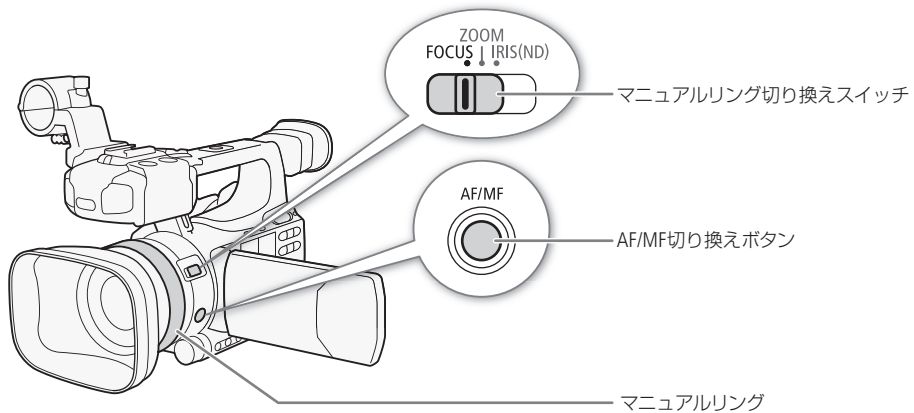
カスタムキー／ダイヤルの操作

設定	カスタムキー	カスタムダイヤル
Iris (ND)*1（📖 71）	オート／マニュアル	Iris（ND）調整
Face AF*1（📖 62）	Face Pri./Pace Only/Off	顔枠の移動
IR Light*2（📖 114）	On/Off	—
Headphone Volume（📖 100、140）	—	ヘッドホン音量調整
Tele-converter（📖 78）	On/Off	1.5x⇔3.0x⇔6.0x
Off	—	—

*1 Normalモード時
*2 IRモード時（[Camera Setup]-[Infrared]-[Light]-[Toggle]に設定しているとき）（📖 185）

フォーカスを調整する CAMERA MEDIA

フォーカス調整のしかたには、次の2種類があります。マニュアルフォーカス使用時は、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うとピントを合わせやすくなります。

MF（マニュアルフォーカス）： マニュアルリングを回してフォーカスを調整する。

AF（オートフォーカス）： 常にフォーカスを自動調整する。AFモードには、ハイスピードAF、ミディアムAF、ノーマルAFがある。マニュアルリング操作も有効。

MF（マニュアルフォーカス）で調整する

フォーカスリングを回して、手動でフォーカス調整を行います。フォーカスリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。

1 マニュアルリング切り換えスイッチをFOCUSにする

2 AF/MF切り換えボタンを押す

● 画面にMFが表示される。

3 マニュアルリングを回してピントを合わせる

被写体との距離情報について

数値：有限距離 ∞：　無限 ∞－：超無限	AFモードから切り換えたときとフォーカスリングで操作したときに、被写体との距離情報*が画面に表示（約3秒間）されますので、目安として使用できます。距離の単位（メートル／フィート）は、Other Functionsメニュー ➤「Custom Function」の「Obj. Dist. Unit」で設定できます（📖 132）。なお、コンバージョンレンズ（別売）を取り付けると、正しく表示されません。 * 距離情報の精度が低いズーム域では、灰色で表示されます。

- ズーム操作中に、リングによるフォーカス調整を行うことができます。AFモードのときは、フォーカス調整後にオートフォーカスに戻ります。
- マニュアルリングの敏感度を、Other Functionsメニュー ➤「Custom Function」の「F. Ring Control」で設定できます（📖132）。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

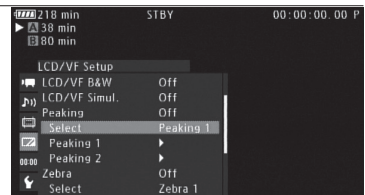
フォーカスアシスト機能を使う

MFモードでフォーカスを調整する場合、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。両方を同時に使うこともできます。また、Other Functionsメニュー ➤「Custom Function」の「F. Assist. B&W」で、フォーカスアシスト機能を使用中のみ、画面を自動的にモノクロ表示にするように設定できます（📖 132）。

ピーキング

ピーキングには、ピーキング1とピーキング2があり、メニューで切り換えて使用します。

1 ピーキング1またはピーキング2を選ぶ

① LCD/VF Setupメニュー ➤「Select」を順に選ぶ。
②「Peaking 1」、「Peaking 2」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
③ LCD/VF Setupメニューの「Peaking」でピーキング表示を「On」、「Off」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

- ピーキング表示は画面にのみ表示され、各出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。
- ピーキングの色、ゲイン、周波数は、LCD/VF Setupメニューの「Peaking 1」または「Peaking 2」でそれぞれ設定できます。
- MFモードでフォーカスを調整する場合、エッジモニター（🕮 105）を表示してピントを合わせやすくすることもできます。
- アサインボタンに「Peaking」を割り当てると、アサインボタンを押してピーキングのOn/Offを切り換えられます（🕮 118）。

拡大表示

1 MAGN.（拡大）ボタンを押す

- 画面に MAGN. が表示され、画面の中心部が約2倍*に拡大される。
  * 倍率は液晶画面とファインダーで異なる。また、記録信号形式の解像度によっても異なる。
- もう一度MAGN.ボタンを押すと解除される。

拡大表示は画面にのみ表示され、各出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。

■ AF（オートフォーカス）で調整する

TTL方式のオートフォーカスとなり、ファインダーの中央部にある被写体にピントが合うように、フォーカスを常に自動調整します。2cm（ワイド端のとき、レンズ先端から）～∞（無限遠）まで自動的にピント合わせが可能です。オートフォーカス中でもマニュアルリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。

1 AF/MF切り換えボタンを押す

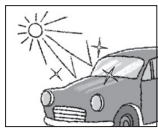
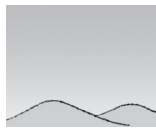
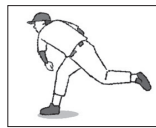
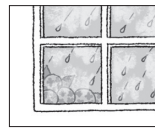
- 画面にS.AFが表示される。

AFのピントの合いかたを選ぶ

ハイスピードAF（High）：　もっとも高速でAF動作を行います。高輝度、夜景などでも効果的です。外部センサーを併用します。
ミディアムAF（Medium）：ハイスピードAFに比べてより滑らかなAF動作を行います。
ノーマルAF（Normal）：　安定したAF動作を行います。

① Camera Setupメニュー ➤「AF Mode」➤「Speed」を順に選ぶ。
② 「High」「Medium」または「Normal」を選ぶ ➤ SETを押す。

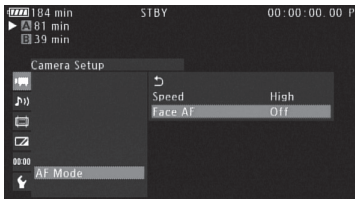
- 晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます（被写体が小さく撮影されるため）。このときは、NDフィルターを「Automatic」にしてください（📖 184）。
- 別売のコンバージョンレンズを装着すると、ハイスピードAF／ミディアムAFは使用できません。
- フレームレートを30Pまたは24Pに設定していると、60iよりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。

オートフォーカスでピントが合いにくい場合

強い光が反射

画面中央に明暗差がない

動きが速い

水滴が付いたガラス越しの撮影

夜景

撮影

顔を検出してフォーカスを合わせる（顔検出AF）

AFモード時、人物の顔を検出して自動的にピントを合わせ、被写体が動いても追尾します。複数の人物を検出したときは、主な被写体を自動的に決定し、その人物にピントを合わせます。アサインボタン（📖 118）に「Select Face」を割り当てると、主な被写体を選ぶことができます。カスタムキー／ダイヤルで操作することもできます（📖 56）。

1 顔検出AFをONにする

① Camera Setupメニュー ＞「AF Mode」＞「Face AF」を順に選ぶ。
②「Face Pri.」または「Face Only」を選ぶ ＞ SETを押す。

Face Pri.： 顔優先AF。検出した顔に対してフォーカスと追尾を行う。対象とする顔がない場合は、画面中央の被写体に対してフォーカスする。

Face Only： 検出した顔に対してフォーカスと追尾を行う。顔がない場合はマニュアルモードになる。

2 アサインボタンに「Select Face」を割り当てる（📖 118）

3 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

複数の人物から特定の人を選ぶとき

操作2で「Select Face」を割り当てたアサインボタンを押して選ぶ。

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。そのときは「Face AF」を「Off」にしてください。

顔が検出されない主な例

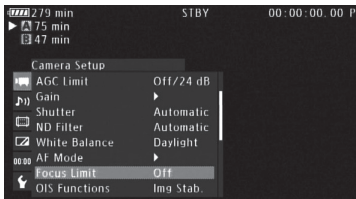
- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

顔検出AFが使用できない場合

- シャッタースピードを1/30秒未満にしているとき（フレームレートが24Pのときは、1/24秒未満）。
- スロー &ファーストモーション記録モードで、撮影フレームレートが24P未満のとき。
- Other Functionsメニュー ＞「Custom Function」の「Scan Reverse Rec」が「Off」以外のとき。
- IRモードを設定しているとき。

- 撮影中、人物の顔を検出すると、そのときの映像（フレーム）に自動的にマークが付加されます（イベントマーク）。イベントマークが付加されたフレームは、付属のソフトウェアCanon XF Utilityで確認することができます。
- アサインボタンに「Face AF」を割り当てると、アサインボタンを押してFace Pri./Face Only/Offを切り換えられます（📖 118）。

フォーカスリミットとマクロ撮影

フォーカスリミットをONにすると60cm ～∞（テレ～ワイド全域）の範囲でフォーカス操作ができます。マクロ撮影を行うときは、フォーカスリミットをOFFにします。OFFにすると2cm（ワイド側）～∞の範囲でマクロ領域を含むフォーカス操作ができます。

① Camera Setupメニュー ＞「Focus Limit」を順に選ぶ。
② 「On」を選ぶ ＞ SETを押す。

- アサインボタンに「Focus Limit」を割り当てると、アサインボタンを押してOn/Offを切り換えられます（118）。

手ブレ補正を使う CAMERA MEDIA

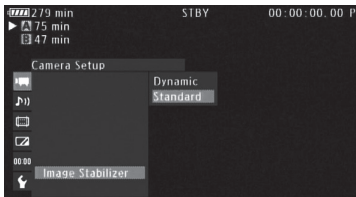
手持ちで撮影するときに手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。補正方式は次の3種類があり、撮影のしかたによって選べます。なお、三脚を使って撮影するときは手ブレ補正を「Off」にします。

パワードIS（Powered）：　静止して望遠撮影するときの手ブレを補正。ズームを望遠側にするほど補正効果が大きい。パンやチルトなどカメラを動かす撮影には向かない。

ダイナミックIS（Dynamic）：　歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど補正効果が大きい。

スタンダードIS（Standard）：　静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。

ダイナミックIS、スタンダードISはメニューで、パワードISはアサインボタンで設定します。

ダイナミックISとスタンダードIS

① Camera Setupメニュー ➤「OIS Functions」➤「Img Stab.」を順に選ぶ。
② Camera Setupメニュー ➤「Image Stabilizer」➤「Dynamic」、「Standard」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に、のいずれかが表示される。
- 手ブレ補正を使用しないときは①で「Off」を選ぶ。

パワードIS

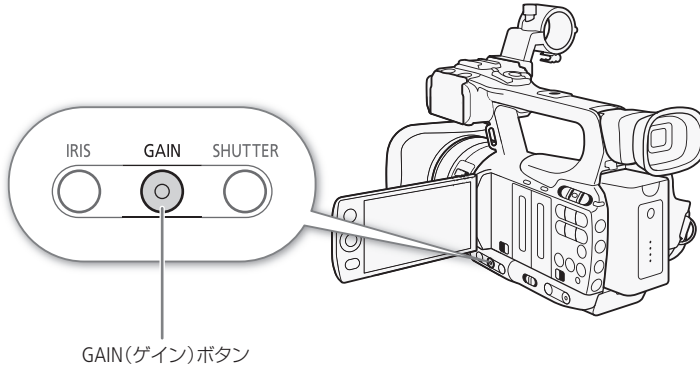
初期設定でアサイン1ボタンに「Powered IS」が割り当てられていますので、パワードISを使うときは、このボタンを押して操作します。
- 画面にが表示される。

- アサインボタンに「Img Stab.」を割り当てると、アサインボタンを押してDynamicまたはStandardのON/OFFを切り換えられます（🕮 118）。
- 手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- Dynamic（ダイナミックIS）を選んだ場合、大きな手ブレを補正すると画像の周辺の画質が劣化（ゴースト、ひずみ、暗くなるなど）することがあります。
- 手ブレ補正を「Off」に設定している場合でも、「POWERED IS」ボタンの操作によりパワードISは有効になります。

ゲインを調整する CAMERA MEDIA

被写体の明るさに応じて映像アンプのゲイン（増幅量）を設定できます。設定のしかたには次の2種類があります。

オート（AGC* ON）： 被写体の明るさに応じてゲインを自動調整する。* Auto Gain Control

マニュアル（AGC OFF）：ゲインを手動で設定する。

オートで調整する

本機をフルオートモード（📖 51）にすると、ゲインはオート（AGCがON）になります。また、ゲインボタンを押してAUTOに設定することができます。

ゲインの最大値を設定する（AGCリミット）

ゲインをオートで調整するとき、AGCリミットを設定してゲインの最大値を制限することができます。本機をフルオートモード（📖 51）にすると、「Off/24 dB」になります。

① Camera Setupメニュー ＞「AGC Limit」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ＞ SETを押す。

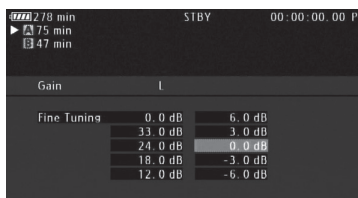
マニュアルで調整する

ゲインを手動で設定します。次の表に示す値を設定可能です。0 ～ 24 dBの範囲は、0.5 dB刻みで設定することもできます（ファインチューニング）。

－6 dB、－3 dB	室内、低照度の場所、コントラストの低いシーンで、ノイズの少ない撮影をしたいとき。
0 dB	夜景撮影などで、ノイズが少なく色のりのよい撮影をしたいとき。
3 dB、6 dB、12 dB、18 dB、24 dB、33 dB	絞りを開放にしても暗いとき、室内や低照度のシーンを明るく撮影したいとき。
Fine Tuning: 0 ～ 24 dB（0.5 dB刻み）	Fine Tuning（ファインチューニング）を選ぶと、0.5dB刻みで調整できる。

GAIN（ゲイン）を設定する

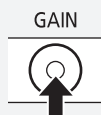
1 GAIN（ゲイン）の値を設定する

① Camera Setupメニュー ＞「Gain」を順に選ぶ。
② 「L」、「M」、「H」のいずれかを選ぶ ＞ SETを押す。

2 ゲインを選ぶ

① いずれかの値を選ぶ ＞ SETを押す。

「Fine Tuning」を選んだとき

いずれかの値を選ぶ ＞ SETを押す。

設定したゲインを選ぶ

1 ゲイン（GAIN）ボタンを押す

- 割り当てられたゲイン値が設定され、画面に表示される。
  ゲインボタンを押すごとにAGC→L→M→H→AGCに切り換わる。

露出バーを目安に調整する

ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外のときは、画面に露出バー *が表示され、露出調整の目安に使用できます。

* −2段～ +2段まで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。

露出バー

- ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。特に+33 dBは超高感度ですので、画面全体にノイズが現れます。また画面に色むら、白い点、縦線などが現れることがあります。
- GAIN（ゲイン）スイッチでゲインを切り換えたときの値が変化する速さを、Other Functionsメニュー ＞「Custom Function」の「Shockless Gain」で設定できます（📖 132）。

シャッタースピードを調整する

CAMERA MEDIA

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。シャッタースピードの調整には、次の6種類のモードがあります。

OFF： 各フレームレートの基準シャッタースピードを使用する。

オート： 映像の明るさに応じて、シャッタースピードを無段階で自動調整する。スロー＆ファーストモーション記録のときは選択できない。

スピード： 秒数でシャッタースピードを設定する。

アングル： 開角度でシャッタースピードを設定する。

クリアスキャン： 周波数でシャッタースピードを設定する。モニター画面に黒い帯が出ないようにするときなど。

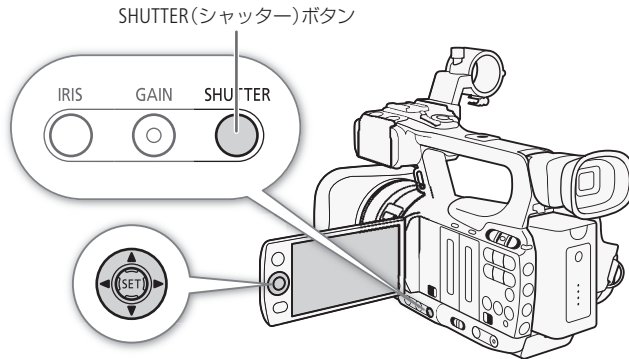
スローシャッター： フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で設定する。低照度の場所で撮影するときなど。スロー＆ファーストモーション記録のときは選択できない。

設定可能なシャッタースピード

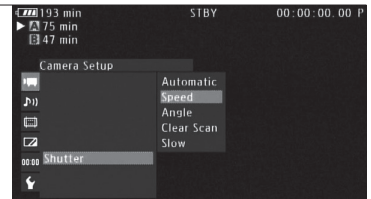
選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

		フレームレート		
		60i	30P	24P
シャッタースピードのモード	OFF*[1]	1/60秒	1/30秒	1/24秒
	オート*[2]	1/60 ～ 1/500秒	1/30 ～ 1/500秒	1/24 ～ 1/500秒
	スピード	1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒	1/30、1/34、1/40、1/48、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒	1/24、1/25、1/30、1/34、1/40、1/48、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒
	アングル	360°、240°、216°、180°、120°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	360°、240°、216°、180°、120°、108°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	360°、345.6°、288°、240°、180°、172.8°、144°、120°、90°、86.4°、72°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°
	クリアスキャン	59.94 Hz ～ 251.13 Hz	29.97Hz ～ 251.13 Hz	23.97 Hz ～ 251.13 Hz
	スローシャッター *[2]	1/4、1/8、1/15、1/30秒	1/4、1/8、1/15秒	1/3、1/6、1/12秒
	Infrared（IR）モード	1/60 ～ 1/100	1/30 ～ 1/100	1/24 ～ 1/100
	Infrared（IR）モード時スローシャッター *[2]	1/30 ～ 1/100	1/15 ～ 1/100	1/12 ～ 1/100

*[1] スロー＆ファーストモーション記録のときは、選択した撮影フレームレートのシャッタースピードになる。
*[2] スロー＆ファーストモーション記録のときは使用できない。

シャッタースピードのモードを切り換えて調整する

1 モードを選ぶ

① Camera Setupメニュー ＞「Shutter」を順に選ぶ。
② モードを選ぶ ＞ SETを押す。
各モードの表示例は以下のとおり。

オート：	A1/60
スピード：	1/60
アングル：	180°
クリアスキャン：	59.94Hz
スローシャッター：	1/30

2 オート以外の場合 値を調整する

① SHUTTERボタンを押す。
● 画面のシャッタースピードの背景がオレンジ色になる（オート以外のとき）。
② ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
● クリアスキャンのときは、画面上に黒い帯が出ないように周波数を選ぶ。
③ SETを押す。
● シャッタースピードの設定値が決定され、オレンジ色の表示が解除される。

スローシャッターによる撮影について

スローシャッターを使うと、明るさが不足している場所で被写体を明るく撮影できます。また、動いている被写体をパンするときに背景を流す、ズームに残像効果を加えるなどの特殊効果として使用することもできます。
● 通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
● オートフォーカスではピントが合いにくいことがあります。

小絞りによるボケを防ぐには

■ アイリスを「オート」にしていると、晴天下などの明るい場所で撮影するときに絞りが自動的に絞られ、小絞りによるボケが発生することがあります。この現象は、シャッタースピードを1/100秒以上の高速にすることによって防止できます。

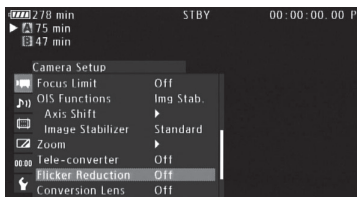
- 本機をフルオートモード（📖 51）にすると、シャッタースピードはオートになります。（スロー＆ファーストモーション設定時を除く）
- ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外のときは、画面に露出バーが表示され、露出調整の目安に使用できます（📖 67）。

■ フリッカーを抑える

人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

■ 蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーが気になるときは、「スピード」モードで1/50秒*または1/100秒を選んでください。

* フレームレートによっては選択できます。

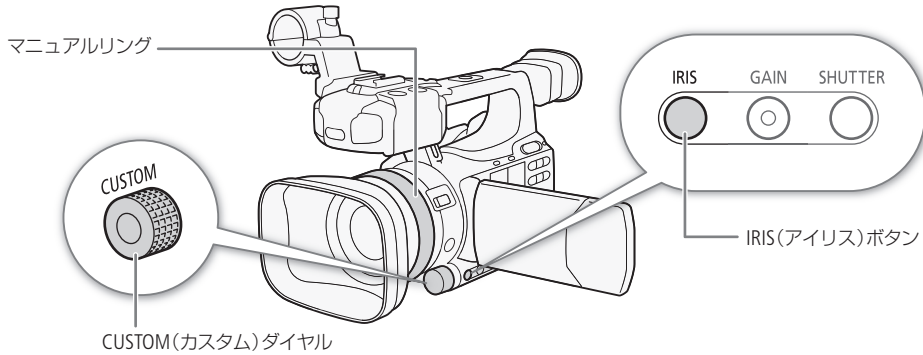
蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正することもできます。

① Camera Setupメニュー ➤「Flicker Reduction」を順に選ぶ。
② 「Automatic」を選ぶ ➤ SETを押す。

アイリスを調整する CAMERA MEDIA

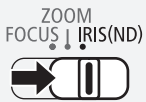
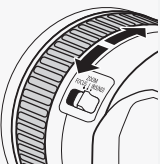
被写体の明るさに応じてアイリス（絞り）を調整します。被写界深度を変えて背景や周囲をぼかし、被写体を引き立たせたいときは絞り値を小さくします。近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときは、絞り値を大きく（F8）設定します。設定のしかたには、次の2種類があります。

オート：　被写体の明るさに応じてアイリスを自動調整する。
マニュアル：マニュアルリングまたはカスタムダイヤル（□ 56）を回して、アイリスを手動で調整する。

メニューでNDフィルターをAutomaticに設定するとNDフィルターは自動調整されます（□ 184）。

撮影

オートで調整する

本機をフルオートモード（□ 51）にすると、アイリスはオートになります。また、マニュアルモード時、IRIS（アイリス）ボタンを押してAUTOに設定することができます（画面のF値の左に「A」が表示されます）。

マニュアルで調整する

1 マニュアルリング切り換えスイッチをIRIS（ND）にする

2 マニュアルリングまたはカスタムダイヤルを回して調整する

- 画面に1/4段刻みでF値が表示されます。

F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11、F12、F14、F15、F16、F17、F19、F21、F22、CLOSE

F8.7 ～ F22とCLOSEは、Other Functionsメニュー ➤「Custom Function」の「Iris Limit」を「Off」にしたときのみ設定可能です。

- ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外のときは、画面に露出バーが表示され、露出調整の目安に使用できます（📖 67）。
- アイリスをオート（フルオートモードを除く）に切り換えるとき、手動で設定したF値は記憶されません。オートからマニュアルに切り換えたときは、オートのF値が引き継がれます。
- NDフィルターを使用しているときに、アイリスを絞り込むと画面が暗くなることがあります。このときは、NDフィルターをOFFにして、アイリスを再調整してください。
- マニュアルリングの操作方向は、Other Functionsメニュー ➤「Custom Function」の「I. Ring Direction」で設定できます（📖 132）。
- ズームリモートコントローラー ZR-2000（別売）からアイリスを調整するときは、Other Functionsメニュー ➤「Custom Function」の「ZR-2000 AE Shift」を「Iris」に設定してください（📖 132）。

アイリスに絞り制限をつける（アイリスリミット）

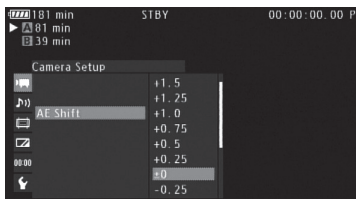
Other Functionsメニュー ➤「Custom Function」の「Iris Limit」（📖 132）で、絞り（設定可能F値）の最大値を制限することができます。

On： 小絞り回折F値*（F8.0）まで絞れる。
Off： CLOSEまで絞れる。F値が小絞り回折F値を超えると、画面のF値が灰色になる。

* 小絞り回折F値を超えると、小絞りによるボケが発生します。

AEレベルを調整する

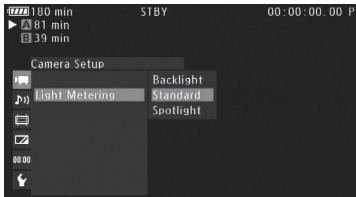
AEの制御目標レベル（AEレベル）を設定すると、明るめや暗めに撮影できます。AEレベルは15段階で設定できます。

－2.0、－1.5、－1.25、－1.0、－0.75、－0.5、－0.25、±0、＋0.25、＋0.5、＋0.75、＋1.0、＋1.25、＋1.5、＋2.0

① Camera Setupメニュー ➤「AE Shift」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

- 本機がフルオートモードのときは使用できません。
- ズームリモートコントローラーZR-2000（別売）からAEレベルを調整するときは、Other Functionsメニュー ➤「Custom Function」の「ZR-2000 AE Shift」を「AE Shift」に設定してください（📖 132）。

測光方式を設定する

スポットライトが当たった被写体を撮影するときや逆光のシーンを撮影するときは、撮影シーンに合わせて測光方式を設定すると、より適正な明るさで撮影できます。測光方式には次の3種類があります。

Backlight（逆光）：　画面中の暗部をより明るく制御する。
Standard（スタンダード）：　画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。
Spotlight（スポットライト）：　スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。

① Camera Setupメニュー ＞「Light Metering」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ＞ SETを押す。
- Backlight（逆光）を選んだときは画面に が、Spotlight（スポットライト）を選んだときは画面に が表示される。

- 本機をフルオートモード（ 51）にすると、測光方式は「Standard」になります。
- アサインボタンに「Backlight」または「Spotlight」を割り当てると、アサインボタンを押してON/OFFを切り換えられます（ 118）。

ホワイトバランスを調整する CAMERA MEDIA

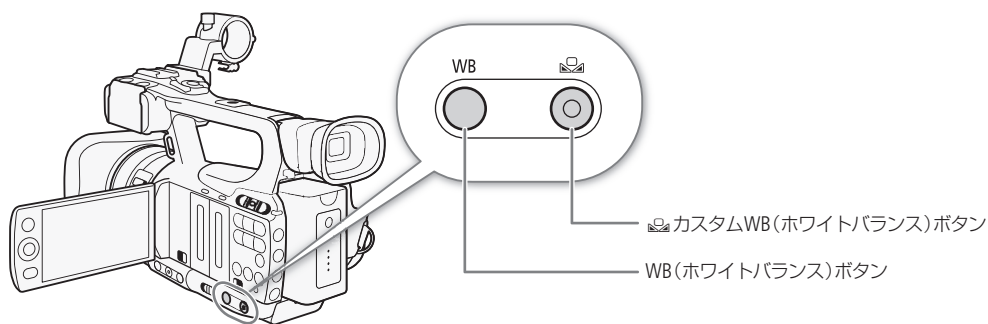
照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。設定のしかたには次の4種類があります。

オートホワイトバランス(AWB)*： 常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。
*Auto White Balance

プリセット設定： 「Daylight（太陽光、5400K）」または「Tungsten（電球、3200K）」のいずれかを選ぶ。

色温度設定： 2000K ～ 15000Kの範囲で色温度を設定する。

ホワイトバランスセット： 実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セットA」または「セットB」として登録する。

蛍光灯下で撮影するときは、オートホワイトバランスを使うか、ホワイトバランスセットで調整してください。

MEMO カスタムピクチャーの「Color Matrix」または「White Balance」を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。

オートホワイトバランスで調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整し直されます。本機をフルオートモード（📖 51）にするとオートホワイトバランスになります。また、マニュアルモード時、ホワイトバランス（WB）ボタンを押してAUTOに設定することができます（画面の色温度表示の左に「A」が表示されます）。

MEMO **オートホワイトバランスでうまくいかないとき**
次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは（ホワイトバランスセット）で調整してください。
- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯の元での撮影。

■ プリセット設定で調整する

屋外（5400Kの太陽光）用、または屋内（3200Kの電球）用にプリセットされたホワイトバランスのいずれかを選択します。選択後、それぞれの設定値を微調整することもできます。

1 PRESETを「Daylight（太陽光）」または「Tungsten（電球）」に設定する

① Camera Setupメニュー ＞「White Balance」を順に選ぶ。
② 「Daylight」または「Tungsten」を選ぶ ＞ SETを押す。
Daylight（太陽光）を使うケース：
夜景や花火、朝日や夕焼けなどの撮影。
Tungsten（電球）を使うケース：
パーティ会場など照明条件が変化する場所での撮影、スタジオなどでビデオライトを使っての撮影、ナトリウムランプの照明を使っての撮影。
③ MENUボタンを押す。

2 ホワイトバランス（WB）ボタンを押す

プリセットの設定値を＋9 〜－9の範囲で微調整することができます。を押すと表示の背景がオレンジ色になりますので、ジョイスティックを上下に押して調整します。調整が終わったら、を押して調整値を決定します（オレンジ色の背景が消えます）。

色温度設定で調整する

色温度を指定してホワイトバランスを調整します。色温度の設定範囲は2000K ～ 15000Kで、100K単位で設定できます。

1 PRESETを「Kelvin（色温度）」に設定する

① Camera Setupメニュー ＞「White Balance」を順に選ぶ。
② 「Kelvin」を選ぶ ＞ SETを押す。
③ MENUボタンを押す。
- 現在設定されている色温度が表示される。

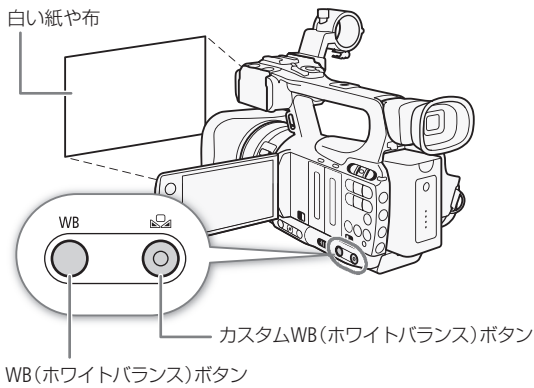
2 ボタンを押す

- 色温度の表示の背景がオレンジ色になる。

3 ジョイスティックを上下に押して色温度を選び、ボタンを押す

- 色温度が決定され、色温度表示が元に戻る。

ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で白い紙などを写して基準白色を取り込みます。「セットA」と「セットB」の2種類の設定を登録できます。

1 ホワイトバランス（WB）ボタンを押して「A」または「B」に設定する

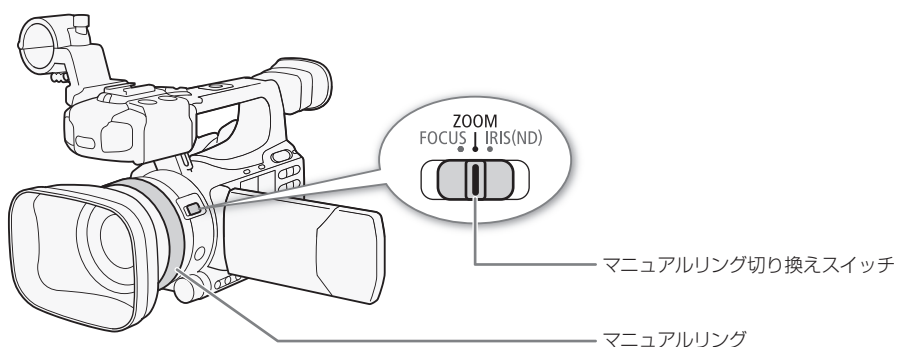
2 被写体と同じ照明条件の場所に白い紙や布などを置き、画面いっぱいに写す

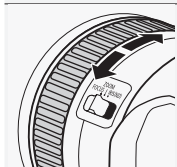
3 ⛅（ホワイトバランスセット）ボタンを押す
- 「⛅A」または「⛅B」が速く点滅する。
- 調整中は、白い紙または布などを画面いっぱいに写し続ける。
- 点滅→点灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

ホワイトバランスセットで調整するとき
- Camera Setupメニューの「Tele-converter」を「Off」にしてください（📖 185）。
- 場所や明るさが変わったときは、セットし直してください。
- 光源によっては、ごくまれに⛅が速い点滅→点灯に変わらない（速い点滅から遅い点滅に変わる）ことがありますが、その場合でもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。

ズームを操作する CAMERA MEDIA

マニュアルリングまたはズームロッカー（グリップ部／ハンドル部／リモコン）を操作して、10倍までズームできます。Camera Setupメニューの「Tele-converter」で焦点距離（約1.5倍、3倍、6倍）を選ぶことができます*。アサインボタンに「Tele-converter」を割り当てると、アサインボタンを押してOn/Offを切り換えられます（□ 118）。カスタムキー／ダイヤルで操作することもできます（□ 56）。

* 映像をデジタル処理するため、ズームの全域で映像が粗くなります。

■ ズームリングで操作する

1 マニュアルリング切り換えスイッチをZOOM（ズーム）にする

2 マニュアルリングを回して調整する

● ズームスピードは、マニュアルリングをゆっくり回すと低速になり、早く回すと高速になります。

ズーム操作を行うと、ズーム位置の目安となるズームバー *が画面に表示されます。

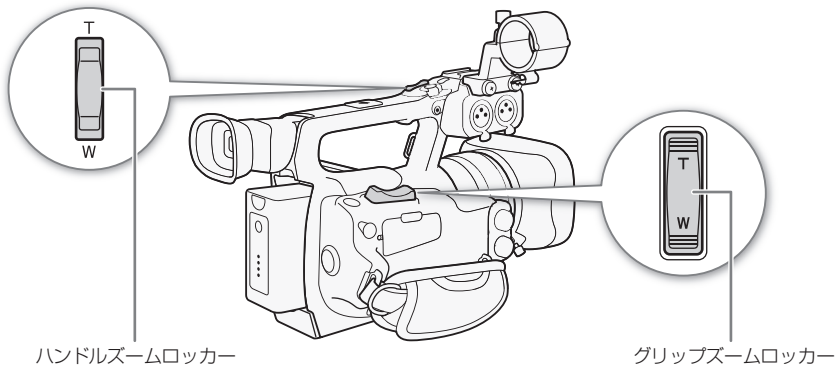
* Other Functionsメニュー ➤「Custom Function」の「Zoom Indicator」で数値表示に変更することもできます（□ 132）。

マニュアルリングをすばやく操作すると、レンズの移動が追いつかなくなることがあります。このとき、マニュアルリングの操作終了より遅れてレンズの移動が完了します。

ズームロッカーまたはリモコンで操作する

グリップ／ハンドルのズームロッカーや付属のリモコン、REMOTE（リモート）端子に接続したリモコン（別売、市販）でズームを操作します。

ズームの動作を滑らかにする（ソフトズームコントロール）

ズームスタート時の加速、ズームストップ時の減速を緩やかにします。
Camera Setupメニュー ➤「Zoom」➤「Soft Zoom Control」で設定できます。
Both：スタート／ストップ時有効にする
Stop：ストップ時のみ有効にする
Start：スタート時のみ有効にする

ズーム操作を行うと、ズーム位置の目安となるズームバー *が画面に表示されます。
* Other Functionsメニュー ➤「Custom Function」の「Zoom Indicator」で数値表示に変更することもできます（📖 132）。

グリップズームロッカーで操作する

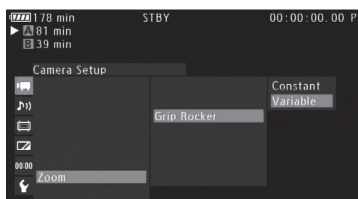
広角にするときはW（ワイド）側を押し、望遠にするときはT（テレ）側を押します。ズームロッカーの押しかた（操作量）に応じてズーム速度が変わる「可変速」と、一定の速度でズームする「固定速」とを切り換えることができ、ズームスピードはメニュー（Camera Setupメニューの「Zoom」）の設定の組み合わせで決まります。

グリップズームロッカー操作のズームスピード

Grip Rockerの設定	Constant Speedの設定（16段階）	Speed Levelの設定とワイド端→テレ端の時間		
		Slow	Normal	Fast
Constant（固定速）	速度1（最低速）	約4分45秒	約3分	約1分
	速度16（最高速）	約4.0秒	約3.0秒	約2.0秒*
Variable（可変速）	ズームロッカーの押しかたによって可変	約4.0秒～約4分45秒	約3.0秒～約3分	約2.0秒* ～約1分

* ズームスピードが約2秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがある。

1 スピードレベルを設定する

① Camera Setupメニュー ➤「Zoom」➤「Speed Level」を順に選ぶ。
②「Fast」、「Normal」、「Slow」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

2 「固定速」または「可変速」を選ぶ

① Camera Setupメニュー ➤「Zoom」➤「Grip Rocker」を順に選ぶ。
②「Constant」（固定速）または「Variable」（可変速）を選ぶ ➤ SETを押す。

3 「固定速」の場合 ズーム速度を選ぶ

① Camera Setupメニュー ➤「Zoom」➤「Constant Speed」を順に選ぶ。
②「1」から「16」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

ハンドルズームロッカーで操作する

広角にするときはW（ワイド）側を押し、望遠にするときはT（テレ）側を押します。ズームのしかたは固定速で、ズームスピードはZOOM SPEED（ハンドルズームスピード）切り換えスイッチとメニュー（Camera Setupメニューの「Zoom」）の設定の組み合わせで決まります。

ハンドルズームロッカー操作のズームスピード

	Handle Rocker H/Lの設定（16段階）	Speed Levelの設定とワイド端→テレ端の時間		
		Slow	Normal	Fast
Constant（固定速）	速度1（最低速）	約4分45秒	約3分	約1分
	速度16（最高速）	約4.0秒	約3.0秒	約2.0秒*

* ズームスピードが約2秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがある。

1 スピードレベルを設定する

参考 ▸ 前ページの操作1

2 ズーム速度を設定する

① Camera Setupメニュー ➤「Zoom」➤「Handle Rocker」を選ぶ。
② 「OFF」から「16」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

リモコンで操作する

付属のリモコンやREMOTE(リモート)端子(📖 12)に接続したリモコン(別売、市販)を使ってズームを調整します。ズームスピードは使用するリモコンによって異なります。付属のリモコンで操作するときは、ズームボタンと誤操作防止ボタンを同時に押してください。

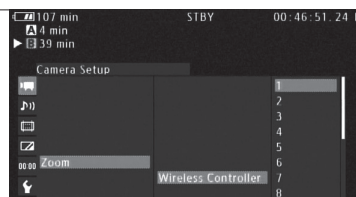
使用するリモコン	ズームスピードの動作
付属のリモコン	固定速となる。速度はCamera Setupメニューの「Wireless Controller」で設定可能。
可変速ズーム機能のないリモコン (市販のリモコンなど)	固定速となる。
可変速ズーム機能のあるリモコン (別売のZR-2000、ZR-1000)	リモコンのズームスピード設定に従う。

付属のリモコンでズームスピードを切り換えるときは、次の設定を行います。

1 スピードレベルを設定する

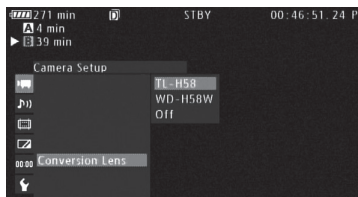
① Camera Setupメニュー ➤「Zoom」➤「Speed Level」を順に選ぶ。
② 「Fast」、「Normal」、「Slow」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

2 ズーム速度を選ぶ

① Camera Setupメニュー ➤「Zoom」➤「Wireless Controller」を順に選ぶ。
② 「1」から「16」(16段階)のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

光学アクセサリーについて CAMERA MEDIA

本体には次のコンバージョンレンズ（別売）を取り付けることができます。

- テレコンバーター（TL-H58）
- ワイドコンバーター（WD-H58W）

テレコンバーター使用時は約1.5倍の望遠撮影、ワイドコンバーター使用時は約0.8倍の広角撮影ができます。取り付け方や使い方については各アクセサリーの説明書も合わせてご覧ください。

1 設定する

① Camera Setupメニュー ➤「Conversion Lens」➤ SETを押す。

② 「TL-H58」または「WD-H58W」を選ぶ ➤ SETを押す。

- それぞれの設定に合わせて手ブレ補正のしかた、最至近撮影距離を変えます。最至近撮影距離はテレコンバーター使用時においてズーム全域で約130cm、ワイドコンバーター使用時においてズーム全域で約40cmになります。

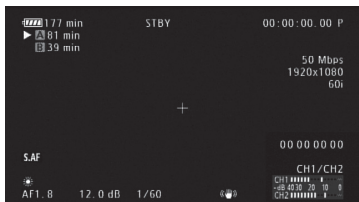
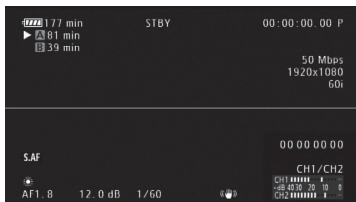
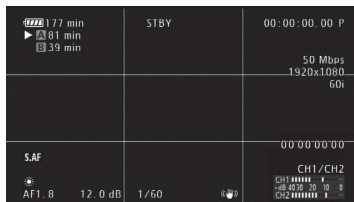
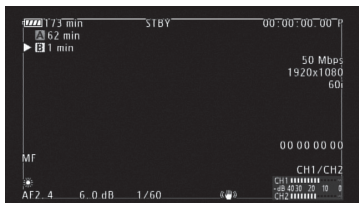
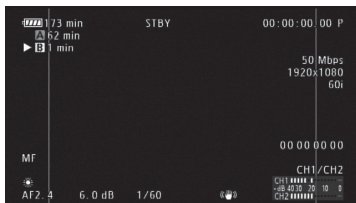
- AFモードをハイスピード、ミディアムに設定しているときはノーマルAFになります。
- テレコンバーターを使用しているとき、広角側でケラレが生じます。
- 「TL-H58」または「WD-H58W」の設定に応じて、距離表示が適正になるように距離情報を変更しています。コンバージョンレンズを装着してない場合には設定を「Off」にして下さい。
- アサインボタンに「TL-H58」、「WD-H58W」を割り当てると、アサインボタンを押してそれぞれTL-H58/OFF、WD-H58W/OFFを切り換えられます（📖 118）。

マーカー／ゼブラパターンを表示する

CAMERA MEDIA

撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示は記録される映像には影響しません。

マーカーを表示する

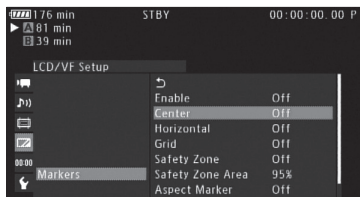
構図を決める際のガイドとして、次の5種類のマーカーを表示することができます。

センターマーカー

水平マーカー

グリッド

セーフティーゾーンマーカー *1

アスペクトマーカー *2

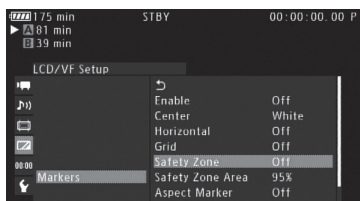
*1 セーフティーゾーンの領域（セーフティーゾーンエリア）を「95%」、「92.5%」、「90%」、「80%」の4つの中から選択できます。

*2 アスペクト比を「2.35:1」、「1.85:1」、「1.75:1」、「1.66:1」、「14:9」、「13:9」、「4:3」の7つの中から選択できます。

表示したいマーカーを選ぶ

異なるマーカーを同時に表示することができます。ここでまず、表示したいマーカーを選択し、表示条件があればそれも設定しておきます。

例：センターマーカーとセーフティーゾーンマーカーを選択する場合

1 表示するマーカー（センターマーカー）を選ぶ

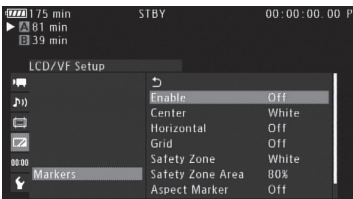
① LCD/VF Setupメニュー ＞「Markers」＞「Center」を順に選ぶ。
② 「White」または「Gray」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 指定した色のセンターマーカー表示が選択される。
- センターマーカー表示を解除するときは、ここで「Off」を選ぶ。

2 表示するマーカー（セーフティーゾーンマーカー）を選ぶ

① LCD/VF Setupメニュー ＞「Markers」＞「Safety Zone」を順に選ぶ。
② 「White」または「Gray」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 指定した色のセーフティーゾーンマーカー表示が選択される。
- セーフティーゾーンマーカーを表示しないときは、ここで「Off」を選ぶ。

3 マーカー（セーフティーゾーンマーカー）の表示条件（セーフティーゾーンエリア）を設定する

① LCD/VF Setupメニュー ➤「Markers」➤「Safety Zone Area」を順に選ぶ。
② セーフティーゾーンの領域を「95%」、「92.5%」、「90%」、「80%」の中から選ぶ ➤ SETを押す。

選んだマーカーを表示する

マーカー表示を有効にします。ここで有効にしないと、マーカーを選んだだけでは表示されません。

① LCD/VF Setupメニュー ➤「Markers」➤「Enable」を順に選ぶ。
② 「On」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだマーカーが表示される。
- マーカー表示をしないときは、ここで「Off」を選ぶ。

アサインボタンに「Markers」を割り当てると、アサインボタンを押してマーカー表示のON/OFFを切り換えられます（🕮 118）。

ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびする恐れがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。ゼブラパターンには「ゼブラ1」と「ゼブラ2」の2種類があり、2つを同時に表示することもできます。

ゼブラ1
設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターン1を表示する。輝度レベルは6段階（70±5%、75±5%、80±5%、85±5%、90±5%、95±5%）あり、いずれか1つを選択する。

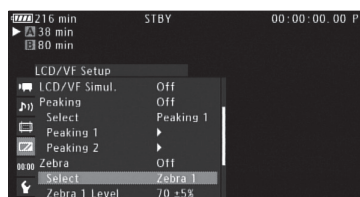
ゼブラ2
設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターン2を表示する。輝度レベルは7段階（70%、75%、80%、85%、90%、95%、100%）あり、いずれかを1つを選択する。

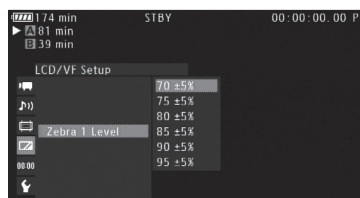
ゼブラ1+ゼブラ2
ゼブラ1とゼブラ2を同時に表示する。両者の表示条件が重なる領域では、ゼブラ1を優先して表示する。

ゼブラパターン表示をON/OFFする

LCD/VF Setupメニューの「Zebra」で設定して、ゼブラパターン表示をON/OFFする。

ゼブラパターンを選ぶ

表示するゼブラパターンを選び、輝度レベルを設定します。

1 ゼブラパターンを選ぶ

① LCD/VF Setupメニュー ➤「Select」を順に選ぶ。
② 「Zebra 1」、「Zebra 2」、「Zebra 1&2」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

2 ゼブラパターンの輝度レベルを設定する

① LCD/VF Setupメニュー ➤「Zebra 1 Level」または「Zebra 2 Level」を順に選ぶ。
② 輝度レベルを選ぶ ➤ SETを押す。

- ゼブラパターンは、HD/SD SDI端子（XF105）、HDMI OUT端子、HD/SD COMPONENT OUT端子に出力することもできます（HD出力時のみ）。端子からの出力は、LCD/VF Setupメニューの「HD Output」メニューでON/OFFできます（📖 188）。
- HD/SD COMPONENT OUT端子からの出力をSDに設定している場合、これらの端子にゼブラパターンを出力するように設定すると、HD出力になります。
- アサインボタンに「Zebra」を割り当てると、アサインボタンを押してゼブラパターン表示のON/OFFを切り換えられます。
- 「Zebra 1&2」設定時、ビューファインダーにはゼブラ表示されません。

タイムコードを設定する CAMERA MEDIA

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともに記録メディアに記録されるほか、HD/SD SDI端子（XF105）またはGENLOCK/TC端子（XF105、🕮 91）に出力できます。また、HDMI OUT端子、HD/SD COMPONENT OUT端子、AV端子に出力される映像にも表示されます。再生時は、記録メディアから読み出したタイムコードを撮影時と同じ各出力端子に出力できます。

タイムコードのカウントアップ方式には次の3種類があります。外部のタイムコードジェネレーターに同期することもできます（XF105、🕮 91）。また、フレームレートが「24P」以外のときは、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

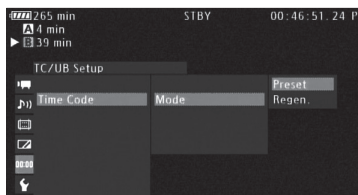
Rec Run（レックラン）： タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。同一のメディアに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

Free Run（フリーラン）： タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。

Regen.（リジェネ）： タイムコードは記録時に歩進する。記録メディアに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。

撮影

カウントアップ方式を選ぶ

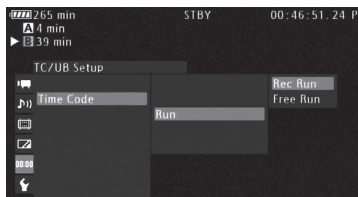
カウントアップ方式は、歩進モード（Mode）で「Regen.」または「Preset」を選びます。「Preset」を選んだときは、歩進方法（Run）で「Rec Run」または「Free Run」を選び、任意の初期値を設定します。

1 歩進モードを選ぶ

① TC/UB Setupメニュー ➤「Time Code」➤「Mode」を順に選ぶ。

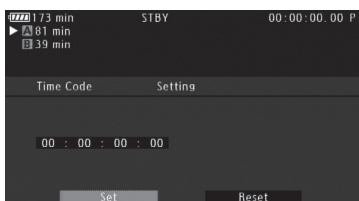
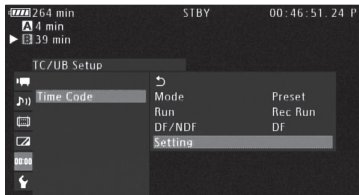
② 「Preset」または「Regen.」を選ぶ ➤ SETを押す。

Preset： 「Setting」で設定した任意のタイムコードから歩進する。

Regen.： 記録メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。

● 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。

2 「Preset」を選んだ場合 歩進方法を選ぶ

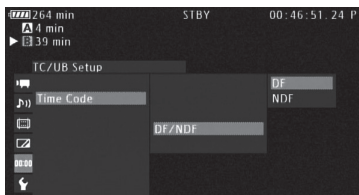
① TC/UB Setupメニュー ➤「Time Code」➤「Run」を順に選ぶ。

② 「Rec Run」または「Free Run」を選ぶ ➤ SETを押す。

3 「Preset」を選んだ場合　任意の初期値を設定する

① TC/UB Setupメニュー ➤「Time Code」➤「Setting」を順に選ぶ。
② 「Set」を選ぶ ➤ SETを押す。
- タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
- 「Reset」を選びSETを押すと、タイムコードが「00:00:00:00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、この時点からタイムコードが歩進する。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

③ ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ ➤ SETを押す。
④ ③の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ➤「Set」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える

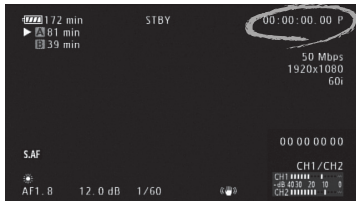
ドロップフレーム（DF）またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換えることができます。フレームレートが「24P」のときはNDFに固定されます。

① TC/UB Setupメニュー ➤「Time Code」➤「DF/NDF」を順に選ぶ。
② 「DF」または「NDF」を選ぶ ➤ SETを押す。
- DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
  DFのとき　　00：00：00.　00
  NDFのとき　00：00：00：00

タイムコードを保持する（タイムコードホールド）

アサインボタン（🕮 118）に「Time Code Hold」を割り当て、割り当てたアサインボタンを押すと画面に表示されるタイムコードを保持できます*。タイムコード保持中は、画面に「**H**」が表示されます。なお、保持中でもタイムコードは歩進し、保持を解除すると歩進していたタイムコードが表示されます。

* GENLOCK/TC端子（XF105）、HD/SD SDI端子（XF105）に出力されるタイムコードはホールドされません。その他の端子の出力映像に重畳されるタイムコードはホールドされます。

撮影

タイムコードの表示について

R：　Regen.（リジェネ）設定時
P：　Rec Run（レックラン）設定時
F：　Free Run（フリーラン）設定時
E：　タイムコード外部入力時
H：　タイムコードホールド時
表示なし：再生時

- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが24Pのときは0～23、それ以外は0～29となります。
- XF105 フレームレートが24Pの場合、HD/SD SDI端子またはGENLOCK/TC端子に出力されるタイムコードは0～29に振り直されます。
- インターバルRec、フレームRec、スロー＆ファーストモーション記録のときは、「Free Run」は使用できません。また、プレRecのときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーパックなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。
- アサインボタンに「Time Code」を割り当てると、アサインボタンを押してTC/UB Setupメニュー ➤「Time Code」メニューを表示することができます（🕮 118）。

ユーザービットを設定する CAMERA MEDIA

8桁の16進数（0 ～ 9、A ～ Fの英数字）をユーザービットとして設定し、映像と一緒に記録メディアに記録できます。ユーザービットには、撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、外部機器からタイムコードと同時にユーザービットを入力しているときは、外部入力したユーザービットを記録することもできます（XF105）。

① TC/UB Setupメニュー ＞「User Bit」＞「Type」＞「Setting」を順に選ぶ。
- 「Time」または「Date」を選んだ場合、操作②以降は不要です。

② 「Set」を選ぶ ＞ SETを押す。
- ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- 「Reset」を選びSETを押すと、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

③ ジョイスティックを上下に押して英数字を選ぶ ＞ SETを押す。

④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の英数字を選ぶ ＞「Set」を選ぶ ＞ SETを押す。

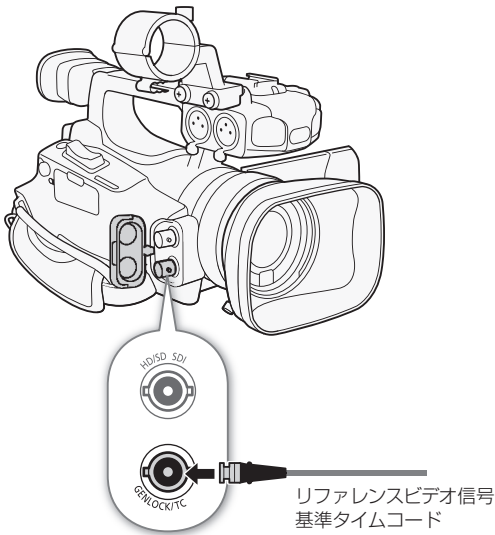
外部機器と同期をとる XF105

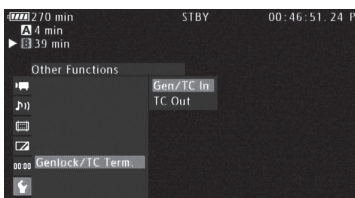
ゲンロック（GENLOCK）によって、外部の映像機器と本機の映像信号を同期させることができます。また、本機のタイムコードを外部入力のタイムコードに同期させることもできます。同じジェネレーターのタイムコードを複数のカメラに入力すれば、マルチカメラ撮影を行うことができます。本機のタイムコードを他のカメラに出力してマルチカメラ撮影を行うこともできます。さらに、撮影／再生時にHD/SD SDI端子の出力を編集機などに入力して、編集機で同一タイムコードの映像を記録することもできます。
ゲンロック端子とタイムコード端子は兼用です。

撮影

接続のしかた

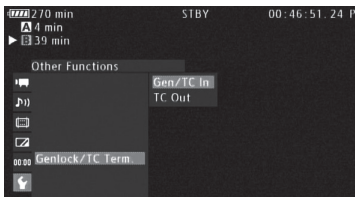
GENLOCK/TC端子には次のように接続します。外部の信号にロックさせるときは、GENLOCK/TC端子にリファレンスビデオ信号*を入力するか、タイムコード信号を入力します。GENLOCK/TC端子の入力／出力はメニュー（後述）で切り換えます。
* リファレンスビデオ信号としてHD三値信号の他にアナログ・ブラックバースト信号も入力可能です。

GENLOCK/TC端子に接続する

外部のリファレンスビデオ信号に同期する（GENLOCK） CAMERA MEDIA

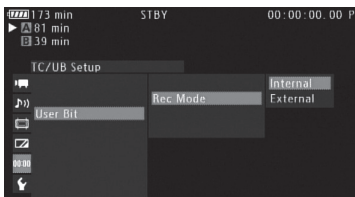
同期信号（アナログ・ブラックバースト信号または三値信号）をGENLOCK/TC端子に入力すると、自動的に内部のV同期／H同期の位相を合わせます。なお、位相差0を中心として、約±0.4H（HD換算）の範囲でH位相を調整することもできます。

① Other Functionsメニュー ➤「Genlock/TC Term.」➤ SETを押す。
② 「Gen/TC In」を選ぶ ➤ SETを押す。

③ Other Functionsメニュー ➤「Genlock Adjust.」を順に選ぶ。
④ －1023から1023の範囲で調整値を選ぶ ➤「Set」を選ぶ ➤ SETを押す。

■ 外部のタイムコード信号に同期する（タイムコード入力） CAMERA MEDIA

GENLOCK/TC端子に入力されるLTC規格の信号を、タイムコードとして記録メディアに記録します。同時に入力されるユーザービットも記録できます。なお、GENLOCK/TC端子は、メニューで入力モードに切り換えます。本機のタイムコードのカウントアップ方式（📖 87）が「Free Run（フリーラン）」のときのみ、タイムコードを入力できます。

① Other Functionsメニュー ➤「Genlock/TC Term.」➤ SETを押す。
② 「Gen/TC In」を選ぶ ➤ SETを押す。

外部入力したユーザービットを記録する

タイムコードと一緒に入力されるユーザービットを記録することができます。

① TC/UB Setupメニュー ➤「User Bit」➤「Rec Mode」を順に選ぶ。
② 「External」を選ぶ ➤ SETを押す。

- GENLOCK信号が入力されると約10秒後に同期が安定します。
- SDのGENLOCK信号が入力されてもGENLOCKできます。
- 本機の映像信号形式が1080iで、入力信号が720PのときはGENLOCKできません。
- GENLOCK入力がない、または不正な入力状態になっているときは、入力されるタイムコードの記録が乱れることがあります。
- DF/NDFは、外部入力されるタイムコードのdropped frame bitになります。
- タイムコードが入力されると本機のタイムコードが同期します。GENLOCK/TC端子からケーブルを外しても、外部ロック状態は保持されます。

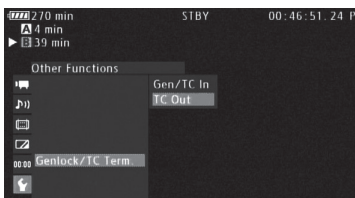
タイムコードの同期が乱れる場合

ケーブルを外した状態で次の操作を行うと、タイムコードの同期が乱れます。ケーブルを再度接続すると、正しいタイムコードに復帰します。

- 電源の入／切、メディアモードへの切り換え
- 記録信号形式の変更
- フレームレートの変更

- タイムコードが入力されない、または不正な値が入力されているときは、TC/UB Setupメニュー ➤「Time Code」の「Mode」と「Run」で設定した内部タイムコードが記録されます。

タイムコードを出力する CAMERA MEDIA

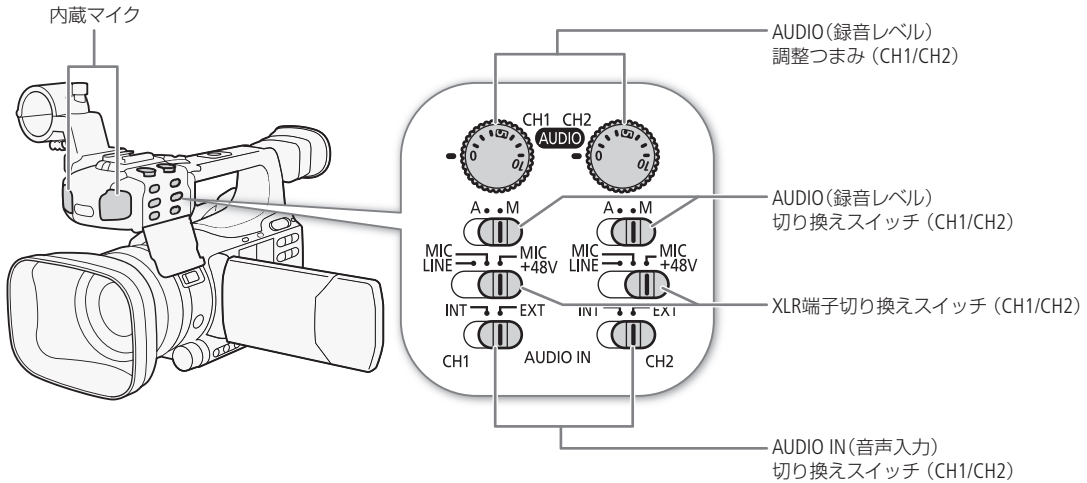
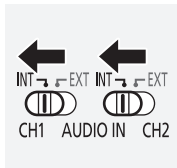
本機のタイムコードを、LTC規格の信号でGENLOCK/TC端子から出力します。その際、ユーザービットも同時に出力されます。なお、GENLOCK/TC端子は、メニューで出力モードに切り換えます。また、Video Setupメニューの「SDI Output」でSDI出力を「HD」または「SD」にすると、HD/SD SDI端子にエンベデッドタイムコードが出力されます。

① Other Functionsメニュー ➤「Genlock/TC Term.」➤ SETを押す。
② 「TC Out」を選ぶ ➤ SETを押す。

ユーザービットの出力について

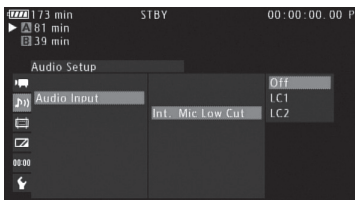
撮影時は設定されているユーザービットが出力され、再生時は映像と一緒に記録されているユーザービットが出力されます。フレームレートが24Pの場合、TC/UB Setupメニューの「User Bit」➤「Output Mode」を「Pulldown」にすると、ユーザービットが2:3プルダウン情報*になります。

* フレームレートが24Pの映像は、HD/SD SDI端子に出力するときに2:3プルダウン方式で60iに変換されます。このときの変換情報（2:3プルダウン情報）を出力することにより、入力側の機器はこれを利用して1080/24Pに変換することが可能になります。

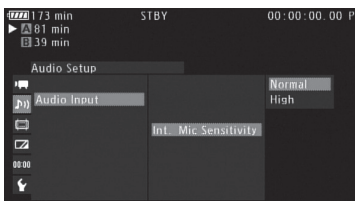
音声を記録する CAMERA MEDIA

本機では、2チャンネルのリニアPCM記録方式の音声を記録／再生できます。サンプリング周波数は48kHzです。収録する音声は、内蔵マイク、Φ3.5mmマイク、外部マイク（XLR端子）、外部ライン入力（XLR端子）から選びます。チャンネル1 ／チャンネル2の音声入力はそれぞれ個別に選択できます。

内蔵マイク／Φ3.5mmマイクの音声を選択する

AUDIO IN（音声入力）切り換えスイッチのCH1/CH2をINTに切り換えます。
Φ3.5mmマイク端子にマイクを接続すると内蔵マイクからΦ3.5mmマイクへ自動的に切り換ります。

内蔵マイクの特性を選ぶ

収録する音に合わせて最適な特性で録音できます。

① Audio Setupメニュー ➤「Audio Input」➤「Int. Mic Low Cut」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
OFF： 一般的な音を録音するとき。
LC1： 人の声を中心に録音するとき。
LC2： 海辺やビルの近くなど風の強いところ、常に風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ボコボコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減される。

内蔵マイクの感度を選ぶ

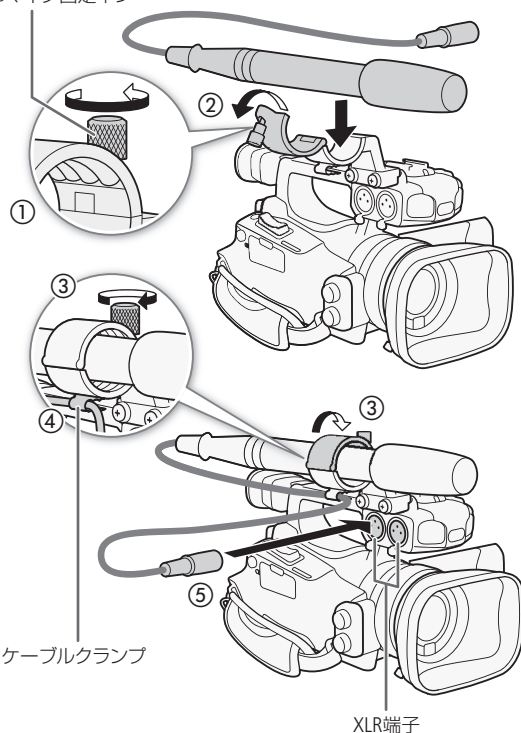
収録する音に合わせて最適な感度で録音できます。

① Audio Setupメニュー ➤「Audio Input」➤「Int. Mic Sensitivity」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
Normal： 通常のレベルの音を録音するとき。
High： より大きな音量（+6 dB）で録音するとき。

内蔵マイク／Φ3.5mmマイクのアッテネーターを使う

必要に応じてアッテネーターを使用できます（Att.：Attenuator）。

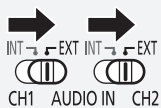
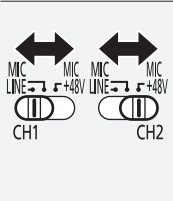
① Audio Setupメニュー ➤「Audio Input」➤「Int. Mic Att.」を順に選ぶ。
② 「On」を選ぶ ➤ SETを押す。
- マイク信号にアッテネーター（内蔵マイク：12dB、Φ3.5mmマイク：20dB）がかかる。

XLR端子入力の音声を選択する

XLR端子マイクを使用する

1 マイクのとき 外部マイク固定ねじをゆるめ（①）、外部マイクホルダーを開く（②）

2 マイクのとき 外部マイクを取り付けて固定し（③）、ケーブルをクランプにとめる（④）

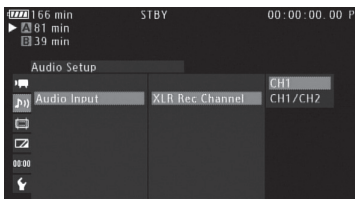
3 外部マイクまたは外部オーディオ機器のケーブルをXLR端子に接続する（⑤）

外部マイクまたは外部ライン入力を選ぶ

1 AUDIO IN（音声入力）切り換えスイッチのCH1/CH2をEXTにする

2 XLR端子切り換えスイッチのCH1/CH2をLINE(ライン)またはMIC(マイク)にする

- ファンタム電源が必要なマイクを使うときは「MIC＋48V」に切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。
- XLR端子を1チャンネルのみ使用するときはCH1端子を使用し、XLR端子切り換えスイッチのCH1を「LINE」、「MIC」、「MIC＋48V」のいずれかに設定する。

撮影

録音するチャンネルを割り当てる

CH1入力の音声をチャンネル1に録音するか、チャンネル1とチャンネル2の両方に録音するかを選びます。

① Audio Setupメニュー ➤「Audio Input」➤「XLR Rec Channel」を順に選ぶ。
② 「CH1」または「CH1/CH2」を選ぶ ➤ SETを押す。
CH1： CH1/CH2入力をそれぞれチャンネル1／チャンネル2として録音する。
CH1/CH2：CH1入力をチャンネル1／チャンネル2の両方に録音する。

外部マイク(XLR端子)の入力感度を調整する

XLR端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。

① Audio Setupメニュー ➤「Audio Input」➤「XLR1 Mic Trimming」または「XLR2 Mic Trimming」を順に選ぶ。
② 下記のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
+12 dB、+6 dB、0 dB、－6 dB、－12 dB

外部マイク（XLR端子）のアッテネーターを使う

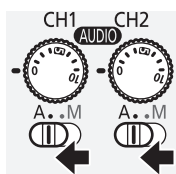
XLR端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。

① Audio Setupメニュー ＞「Audio Input」＞「XLR1 Mic Att.」または「XLR2 Mic Att.」を順に選ぶ。
② 「On」を選ぶ ＞ SETを押す。
  ● マイク信号にアッテネーター（20 dB）がかかる。

● ＋48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、必ずLINEまたはMICを使用してください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。
● 「XLR Rec Channel」を「CH1/CH2」にすると、CH2入力の音声は録音されません。

■ 録音レベルを調整する

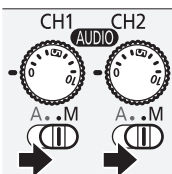
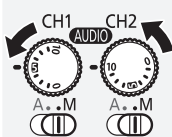
録音レベルはチャンネルごとにオート／マニュアルを個別に設定できます。CH1/CH2ともに内蔵マイクを選択しているときは、CH1の設定（オート／マニュアル、録音レベル）が自動的にCH2に反映されます。

オートで調整する

AUDIO（録音レベル）切り換えスイッチをA（オート）にすると、そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。CH1/CH2の音声入力にいずれも内蔵マイクを選択している場合、CH1の録音レベルをオートにすると、CH2も自動的にオートになります。

XLR端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させる

XLR端子のCH1/CH2が同じ音声入力（外部ライン入力または外部マイク）に設定されている場合、録音レベルをオートに設定すると、CH1とCH2のレベル調整を連動させることができます。Audio Setupメニュー ＞「Audio Input」の「XLR ALC Linc」（📖 186）で設定します。

マニュアルで調整する

CH1/CH2の録音レベルをそれぞれ個別に手動調整できます。調整は－∞～ +18 dBの範囲で行うことができます。

1 AUDIO（録音レベル）切り換えスイッチをM（マニュアル）にする

2 AUDIO（録音レベル）調整つまみを回して、調整する

- つまみの0（－∞）～ 5（0 dB）～ 10（+18 dB）の範囲でレベルを調整できる。
- 液晶画面に表示されるオーディオレベルメーターの-18dB（-20dBのひとつ右隣り）より右が時々点灯するように調整する。

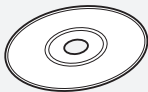
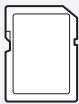
音声信号レベルを制限する

過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力レベルが－4 dBFSを超えると自動的に信号レベルを制限してひずみを防止します。CH1とCH2のいずれかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、Audio Setupメニュー ➤「Audio Input」の「Limiter」（🕮 186）で行います。

録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。レベルメーター上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。

■ ヘッドホンでモニターする

ヘッドホンを (ヘッドホン) 端子に接続して、収録される音声をモニターできます。音量はメニューまたはカスタムダイヤル (56)で調整します。

モニターする際、音声を映像に同期させるか、リアルタイムの音声をモニターするかをAudio Setupメニュー ➤「Audio Output」の「Monitor Delay」で設定できます。なお、リアルタイムの音声をモニターすると、映像と音声に少しズレが生じます。記録される映像と音声は、設定にかかわらず同期されます (160)。

メタデータを操作する CAMERA MEDIA

本機で記録したクリップには、メタデータが付加されます。メタデータには、付加する文字列を変更できる「ユーザーメモ」と、シャッタースピード、露出、フォーカスなど撮影時に自動的に記録される情報とがあります。付加されたメタデータは、付属のソフトウェアCanon XF Utility（以下、XF Utility）で表示して確認したり、検索に使用したりすることができます。ユーザーメモに設定できる情報は、クリップタイトル（最大100文字）、撮影者名（最大100文字）、撮影場所（最大100文字）、撮影内容（最大1000文字）があります。

ユーザーメモを選ぶ

はじめにXF Utilityでユーザーメモの情報を入力してSDカードに保存します。次に、本機でSDカード内のユーザーメモを選んで撮影すると、記録されるクリップにユーザーメモの情報が付加されます。XF Utilityのインストールについては「クリップをパソコンに保存する」（📖 162）を、使いかたについては使用説明書*をご覧ください。

* 使用説明書は、ソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。使用説明書の見かたは168ページをご覧ください。

1 XF UtilityでユーザーメモをSDカードに保存する

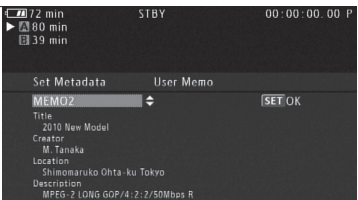
参考 ▸▸ XF Utilityの使用説明書

2 ユーザーメモが保存されているSDカードを本機のSD CARDスロットに入れる

3 ユーザーメモファイルを選ぶ

① Other Functionsメニュー ➤「Set Metadata」➤「User Memo」を順に選ぶ。

② SDカードに保存されているユーザーメモのファイル名のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

- 画面に MEMO が表示される。
- 「Off」を選ぶと、ユーザーメモはクリップに記録されない。

MEMO

- ユーザーメモの設定は撮影前に行ってください。CFカードに記録されたクリップのユーザーメモを本機で変更することはできません*。

  * XF Utilityを使用して変更することができます。

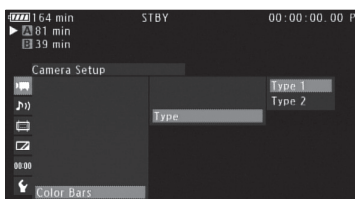
- メタデータには、UMIDの所有権情報として国コード、組織コード、ユーザーコードを記録でき、それぞれ任意の4文字を設定することができます（📖 193）。これらの情報はXF Utility で表示したり確認したりすることはできません。
- ユーザーメモを設定して撮影するときは、SDカードを抜かないでください。SDカードを抜くとユーザーメモはクリップに付加されません。

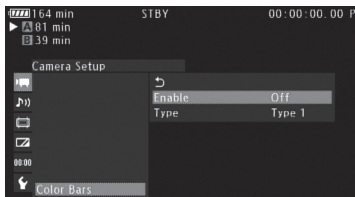
カラーバー／テストトーンを記録する CAMERA MEDIA

測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うために、カラーバーを出力／記録することができます。また、同時に1 kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	カラーバー	1 kHzテストトーン
HD/SD SDI端子 XF105	●	●
HDMI OUT端子	●	●
HD/SD COMPONENT OUT端子	●	—
AV端子	●	●
(ヘッドホン)端子	—	●

カラーバーを記録する

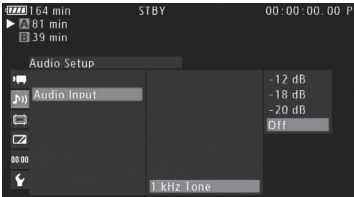
出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠（Type 1）とARIB準拠（Type 2）のいずれかをメニューで選べます。

1 カラーバーのタイプを選ぶ

① Camera Setupメニュー ＞「Color Bars」＞「Type」を順に選ぶ。
② 「Type 1」（SMPTE）または「Type 2」（ARIB）のいずれかを選ぶ ＞ SETを押す。

2 カラーバーを表示する

① Camera Setupメニュー ＞「Color Bars」＞「Enable」を順に選ぶ。
② 「On」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 画面にカラーバーが表示される。
- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。
- 電源を切るかメディアモードに切り換えると、自動的に「Off」になる。

アサインボタンに「Color Bars」を割り当てると、アサインボタンを押してOn/Offを切り換えられます（118）。

テストトーンを記録する

カラーバーとともに1 kHzのテストトーンを出力／記録することができます。本機を他機につないで再生する場合、本機のテストトーンを使って接続した機器のレベルを調整することができます。テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて－12 dB、－18 dB、－20 dBから選ぶことができます。

① Audio Setupメニュー ➤「Audio Input」➤「1 kHz Tone」を順に選ぶ。

② 「－12 dB」、「－18 dB」、「－20 dB」、「Off」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

- 選択したレベルのテストトーンが出力される。
- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

波形モニターを表示する CAMERA MEDIA

カメラモードのとき、画面に波形モニター（WFM*[1]）を簡易表示できます。また、エッジモニター（Edge Monitor*[2]）を表示することもできます。なお、これら各種モニターは液晶画面のみに表示され、ファインダーや各出力端子からの映像には表示されません。

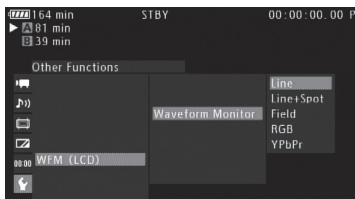
*1 WFM : Waveform Monitor
*2 エッジモニター（Edge Monitor）：映像全体の合焦度合いを波形で表示する機能。カメラモードのみ。

モニター表示を選ぶ

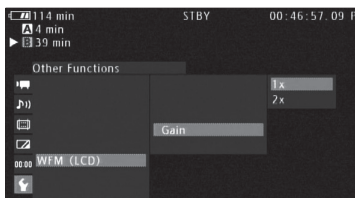
WFM（波形モニター）ボタンを押すたびにモニター表示が次の順に切り換わります。Other Functionsメニューの「WFM（LCD）」➤「Setting」でもモニター表示を選ぶことができます。

OFF → 波形モニター（WFM）→ エッジモニター（Edge Monitor）→ OFF

波形モニター（WFM）のタイプを選ぶ

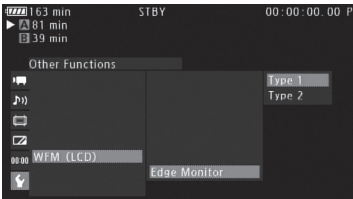
波形モニターは5種類のタイプから選ぶことができます。また、波形のゲインを1倍と2倍から選択できます。

1 波形モニターのタイプを選ぶ

① Other Functionsメニュー ➤「WFM（LCD）」➤「Waveform Monitor」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

Line：　Line表示する。
Line+Spot：Line表示に重ねて、赤枠内の波形を赤色で表示する。
Field：　Field表示する。
RGB：　R、G、B信号をパレード表示する。
YPbPr：　Y、Pb、Pr信号をパレード表示する。

2 波形のゲインを選ぶ

① Other Functionsメニュー ➤「WFM（LCD）」➤「Gain」を順に選ぶ。
② 「1x」または「2x」を選ぶ ➤ SETを押す。

エッジモニターのタイプを選ぶ

エッジモニターは2種類のタイプから選ぶことができます。MF（マニュアルフォーカス）でフォーカスを調整するときに使うと、ピントが合わせやすくなります。

① Other Functionsメニュー ➤「WFM（LCD）」➤「Edge Monitor」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
Type 1： 合焦度合いを示す波形を緑色で表示し、さらに画面上の3箇所に表示した赤枠内で検出した波形を赤色で重ねて表示する。
Type 2： 波形モニター（Line+Spot）とエッジモニターを同時に表示する。エッジモニターは、画面全体の合焦度合いを示す波形を青色で、それに重ねて、画面中央赤枠内の合焦度合いを示す波形を赤色で表示します。

ショットマークを付加する CAMERA MEDIA

撮影中、重要なシーンにショットマークを付加できます。ショットマークを付加しておくと、撮影終了後にメディアモードにおいて、マークをつけたシーンだけをインデックス表示して、目的のシーンをすばやく探すことができます。ショットマークには、ショットマーク1とショットマーク2があり、それぞれ独立して付加できます。メディアモードで、ショットマークを付加／消去することもできます（📖 152）。

撮影中にショットマークを付加する

撮影中にショットマークを付加するには、あらかじめ、いずれかのアサインボタンにショットマーク1またはショットマーク2を割り当てる必要があります。ショットマーク1は、リモコンのSHOT 1ボタンを押して付加することもできます。

例：◀◀／アサイン 5ボタンにショットマーク1を割り当てて、ショットマークを付加する場合

1 アサイン5ボタンに「Shot Mark 1」を割り当てる

参考 ▸「アサインボタンの機能を変更する」（📖 118）。

2 撮影中 ショットマーク1を付加する

① ショットマークを付加したいシーンで、◀◀／アサイン 5ボタンを押す。
- 「Shot Mark 1」が表示され、ショットマーク1が付加される。

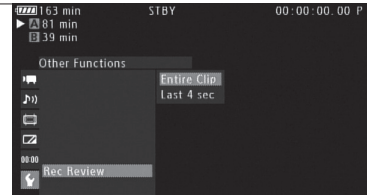
- 1つのクリップに付加できるショットマークは、ショットマーク1とショットマーク2を合わせて100個までです。
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大0.5秒程度ずれることがあります。
- インターバルRecモードまたはフレームRecモードで撮影中は、ショットマークを付加できません。

レックレビューで確認する CAMERA MEDIA

カメラモードで最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。また、映像をすべて再生するか、最後の4秒のみを再生するかを選択できます。

直前に撮影した映像を確認する

1 レックレビューの再生範囲を設定する

① Other Functionsメニュー ➤「Rec Review」を順に選ぶ。
② 「Entire Clip」または「Last 4 sec」を選ぶ ➤ SETを押す。
Entire Clip： クリップの先頭からすべて再生する。
Last 4 sec： クリップの最後の4秒間のみを再生する。

2 撮影が終了したあと 映像を再生して確認する

① ボタンを押す。
- 画面に「▶REVIEW」が表示される。
- 操作1で設定した再生範囲に応じて、直前に撮影した映像が再生される。このとき、映像と一緒に記録された音声は再生されない。

レックレビューを中止するとき

CANCELを押す。

- レックレビューが終了すると、自動的に撮影一時停止状態（STBY）に戻る。

- 特殊記録（インターバルRec、フレームRec、スロー＆ファーストモーション記録、プレRec）の各モードのときは、レックレビューは行えません。
- 撮影中に記録先のメディアが自動的に切り換わった場合、直後にレックレビューを行うと、新たに記録先となったメディア内のクリップが再生されます。

撮影

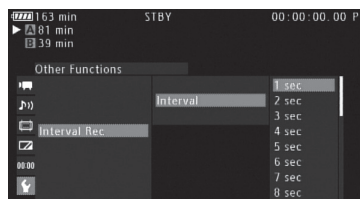
特殊記録を行う CAMERA MEDIA

次の4種類の特殊記録を行うことができます。

インターバルRec：	あらかじめ設定した記録間隔とフレーム数で、間欠的に記録を行う。自然や植物など動きの少ない被写体を撮影するときに有効。
フレームRec：	あらかじめ設定したフレーム数分の映像を記録する。クレイアニメを撮影するときなどに有効。
スロー &ファーストモーション記録：	再生時と異なるフレームレートで記録することにより、再生時にスローモーションやファーストモーションの効果を得る。
プレRec：	撮影開始時点の約3秒前から記録することで、撮影開始操作が遅れたときの撮り逃がしを防ぐ。

■ インターバルRecを行う

記録間隔と記録フレーム数をあらかじめ設定して撮影を行うと、間欠的に映像を自動記録できます。記録中、音声は記録されません（ミュート）。

設定する

1 記録間隔を設定する

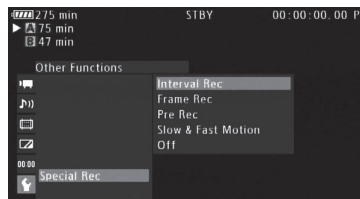
① Other Functionsメニュー ➤「Interval Rec」➤「Interval」を順に選ぶ。
② 次のいずれかの時間を選ぶ ➤ SETを押す。

1 ～ 10秒*、15秒、20秒、30秒、40秒、50秒、1 ～ 10分*

*メニュー上、秒は「sec」、分は「min」と表示する。

2 記録フレーム数を設定する

① Other Functionsメニュー ➤「Interval Rec」➤「Rec Frames」を順に選ぶ。
② 次のいずれかの記録フレーム数を選ぶ ➤ SETを押す。

記録信号形式のフレームレート	記録フレーム数
60i、30P	1、3、6、9
60P、24P	2、6、12

3 インターバルRecを有効にする

① Other Functionsメニュー ➤「Special Rec」を順に選ぶ。
② 「Interval Rec」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に「INT STBY」（INTが点滅）が表示され、インターバルRecモードになる。

インターバルRecモードで撮影する

1 START/STOPボタンを押す

- 設定した記録間隔おきに、設定したフレーム数分のフレームが、自動的に記録される。
- 前後のタリーランプが点灯し、画面に「●INT REC」が表示される。

2 撮影を停止するとき　もう一度START/STOPボタンを押す

- 撮影が終了する。この間に撮影したフレームは、すべて結合して1つのクリップとして記録される。
- 画面に「INT STBY」（INTが点滅）が表示され、前後のタリーランプは消灯する。
- Other Functionsメニューの「Special Rec」で、他の特殊記録を選ぶか「Off」を選ぶとインターバルRecモードが終了する。

タイムコードについて

カウントアップ方式と歩進

インターバルRec中のタイムコードは、レックランまたはリジェネで記録され、記録フレーム数ずつ歩進します。フリーランまたはタイムコード入力（XF105）している状態でインターバルRecモードにすると、強制的にレックランに設定され、インターバルRecモードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

タイムコード出力 XF105

タイムコードは、GENLOCK/TC端子またはHD/SD SDI端子のいずれからも出力されません。

- フレームRec、スロー &ファーストモーション記録、プレRecと同時に使用することはできません。
- インターバルRecモードで撮影中に、記録間隔やフレーム数を変更することはできません。
- クリップの末尾に、インターバルRecモードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- Other Functionsメニューの「Bit Rate/Resolution」または「Frame Rate」を変更すると、インターバルRecモードは解除されます。

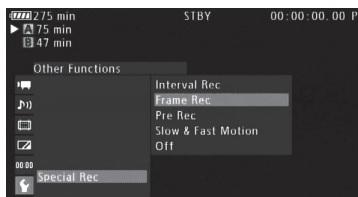
■ フレームRecを行う

記録フレーム数をあらかじめ設定して撮影を行うと、設定したフレーム数分の映像を記録します。記録中、音声は記録されません（ミュート）。撮影時は、本体を三脚などに固定してリモコンで操作することをおすすめします。

設定する

1 記録フレーム数を設定する

① Other Functionsメニュー ＞「Frame Rec」＞「Rec Frames」を順に選ぶ。
② 次のいずれかの記録フレーム数を選ぶ ＞ SETを押す。

記録信号形式のフレームレート	記録フレーム数
60i、30P	1、3、6、9
60P、24P	2、6、12

2 フレームRecを有効にする

① Other Functionsメニュー ＞「Special Rec」を順に選ぶ。
② 「Frame Rec」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 画面に「FRM STBY」（FRMが点滅）が表示され、フレームRecモードになる。

撮影する

1 フレームRecモードで撮影する

① START/STOPボタンを押す。
- フレームRec記録モードになり、画面に「●FRM REC」が表示されて前後のタリーランプが点灯する。
- 設定したフレーム数分のフレームが記録され、画面の表示が「●FRM STBY」に変わる。

② 撮影したいシーンで①の操作を繰り返し行う。

2 撮影を停止するとき　フレームRecを無効にする

① Other Functionsメニューの「Special Rec」を「Off」にする。
- フレームRecモードが終了する。この間に撮影したフレームは、すべて結合して1つのクリップとして記録される。
- 画面に「STBY」が表示され、前後のタリーランプは消灯する。

- インターバルRec、スロー &ファーストモーション記録、プレRecと同時に使用することはできません。
- フレームRecモードで撮影中に、記録フレーム数を変更することはできません。
- フレームRecモードで撮影中のタイムコードは、インターバルRec中と同じ扱いです（📖 109）。
- クリップの末尾に、フレームRecモードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- Other Functionsメニューの「Bit Rate/Resolution」または「Frame Rate」を変更すると、フレームRecモードは解除されます。

スロー &ファーストモーション記録を行う

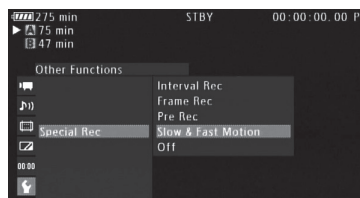
プログレッシブ方式の記録信号形式に設定しているときは、再生時のフレームレート*と異なるフレームレート（撮影フレームレート）で記録することができます。再生時のフレームレートより高いフレームレートで撮影し、再生するとスローモーション効果が得られ、再生時のフレームレートより低いフレームレートで撮影し、再生するとファーストモーション効果が得られます。なお、記録中、音声は記録されません（ミュート）。

* 記録信号形式で設定しているフレームレート。

設定する

1 撮影フレームレートを設定する

① Other Functionsメニュー ➤「Slow & Fast Motion」➤「S&F Frame Rate」を順に選ぶ。
② 次のいずれかの撮影フレームレートを選ぶ ➤ SETを押す。

記録信号形式の解像度	撮影フレームレート
1080	12、15、18、20、21、22、24、25、26、27、28、30
720	12、15、18、20、21、22、24、25、26、27、28、30、32、34、36、40、44、48、54、60

2 スロー &ファーストモーション記録を有効にする

① Other Functionsメニュー ➤「Special Rec」を順に選ぶ。
② 「Slow & Fast Motion」を選ぶ ➤ SETを押す。
- スロー &ファーストモーション記録モードになる。
- 画面に「S&F STBY」と、設定されているフレームレート（撮影フレームレート／再生フレームレート）が表示される。

スロー &ファーストモーション記録モードで撮影する

START/
STOP

1 START/STOPボタンを押す

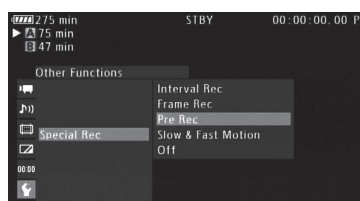
- 設定した撮影フレームレートで記録される。
- 画面に「●S&F REC」が表示され、前後のタリーランプが点灯する。

2 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す

- 撮影が終了し、クリップとして記録される。
- 画面に「S&F STBY」が表示され、前後のタリーランプは消灯する。
- Other Functionsメニューの「Special Rec」で、他の特殊記録を選ぶか「Off」を選ぶとスロー &ファーストモーション記録モードが終了する。

- インターバルRec、フレームRec、プレRec、ダブルスロットRecと同時に使用することはできません。
- スロー &ファーストモーション記録モードで撮影中に、撮影フレームレートを変更することはできません。
- スロー &ファーストモーション記録モードで撮影中のタイムコードは、インターバルRec中と同じ扱いです（□ 109）。
- 撮影フレームレートの値が小さいと、記録停止に約1秒程度の時間がかかることがあります。
- Other Functionsメニューの「Bit Rate/Resolution」を変更すると、スロー &ファーストモーション記録モードは解除されます。
- Other Functionsメニューの「Bit Rate/Resolution」を「50 Mbps 1920x1080」または「50 Mbps 1280x720」に設定しているときは、スローモーション撮影時にCFカードの空き容量がなくなっても、リレー記録されません。

プレRecを行う

プレRecモードでは、START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押して撮影を開始する約3秒前からの映像と音声を記録することができます。

① Other Functionsメニュー ＞「Special Rec」を順に選ぶ。
② 「Pre Rec」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 画面に「PRE REC STBY」が表示され、プレRecモードになる。

③ START/STOPボタンを押す。
- 撮影が開始される。
- 画面に「●PRE REC」が表示されて、前後のタリーランプが点灯する。

④ 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押して、撮影を行う。
- 撮影開始約3秒前からの映像が記録される。
- 画面に「PRE REC STBY」が表示され、前後のタリーランプは消灯する。

プレRecのタイムコードについて

プレRec中のタイムコードは、フリーランまたは外部入力タイムコード（XF105）で記録されます。タイムコードの記録は、撮影開始操作の約3秒前から行われます。レックランまたはリジェネに設定しているときにプレRecモードにすると、強制的にフリーランに設定されるか、または外部のタイムコードにロックしているときは、外部入力タイムコードになります。プレRecを解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

- スロー &ファーストモーション記録、インターバルRec、フレームRecと同時に使用することはできません。
- Other Functionsメニューの「Bit Rate/Resolution」または「Frame Rate」を変更すると、プレRecモードは解除されます。

撮影

赤外撮影（INFRARED）を行う

CAMERA MEDIA

INFRAREDスイッチをONにすると赤外撮影になります。また、高輝度部分色を白と緑から選択することができます。また、赤外ライト（IR ライト）を発光できます。赤外ライトはカスタムキーおよびアサインボタンに「IR Light」を割り当てることでOn/Off操作できます*。

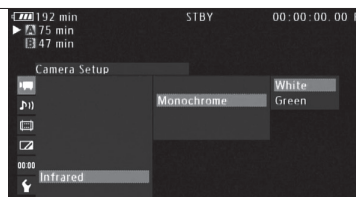
* [Camera Setup]-[Infrared]-[Light]-[Toggle]に設定しているとき（📖 114）。

設定する

1 赤外撮影を設定する

- INFRARED切り換えスイッチをONにする。

2 色を選択する

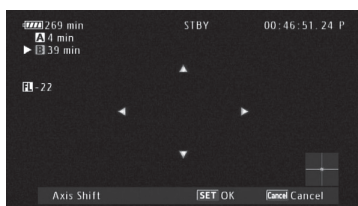
① Camera Setupメニュー ＞「Infrared」＞「Monochrome」を順に選ぶ。
② 「White」または「Green」を選ぶ ＞ SETを押す。

- ゲイン、シャッタースピード、アイリスはオート、AFはノーマルAF、測光方式、AEレベル、AGCリミット、ホワイトバランス、カスタムピクチャーの設定はできません。NDフィルターは退避状態で固定になります。
- INFRARED切り換えスイッチをONにすると、強制的にAFに切り換わります。赤外撮影中のAF/MFの切り換えは可能です。
- 光源の種類によっては、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。
- 赤外撮影時は近赤外光の感度を大幅にアップしているため、赤外撮影に切り換える際には強い光、熱源をレンズに向けないでください。強い光、熱源が被写体内にある状態で赤外撮影に切り換える際には、レンズを遮光した状態での切り換えを推奨します。
- アサインボタンに「IR Monochrome」を割り当てると、アサインボタンを押してWhite/Greenを切り換えられます（📖 118）。

光軸調整を使う CAMERA MEDIA

本機を2台使用して3D撮影を行う際のアシスト機能です。防振用のシフトレンズの位置を移動させせることによって2台の撮影画面の微調整を行うことができます。

1 設定する

① Camera Setupメニュー ➤「OIS Functions」➤「Axis Shift」➤ SETを押す。
画面にAxisが表示される。

② Camera Setupメニュー ➤「Axis Shift」➤「Adjust」➤ SETを押す。

2 調整する

① 画面上に画面調整方向を示す4つの矢印が表示され、ジョイスティックまたはリモコンで操作できる。
- 移動限界位置に達すると矢印はグレー表示される。
- 矢印の色は「Axis Shift」の「GUI Colorで緑と黄色から選択できる。
- 右下の座標でレンズが可動範囲のどの位置にあるかを表示する。

3 確定する

調整位置を確定し、SETを押す。CANCELボタンで移動前の位置に戻す。

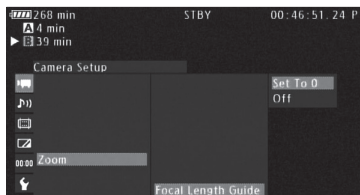
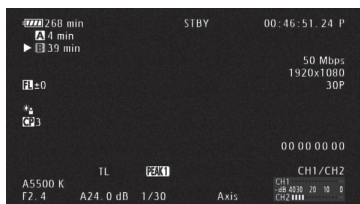
リセットする

Camera Setupメニュー ➤「Axis Shift」➤「Reset」➤ OKを選択するとレンズの位置を可動範囲の中心に戻す。

- ズーム倍率によってレンズの可動範囲が変化します。
- レンズの移動量を大きくするとズーム動作時に画像の中心のずれが大きくなります。テレ端で目印となる被写体と画面の中心を合わせて、ワイド端で両者のずれを光軸調整機能を使用して補正することで画像中心ずれを軽減することができます。

撮影

焦点距離ガイドを使う CAMERA MEDIA

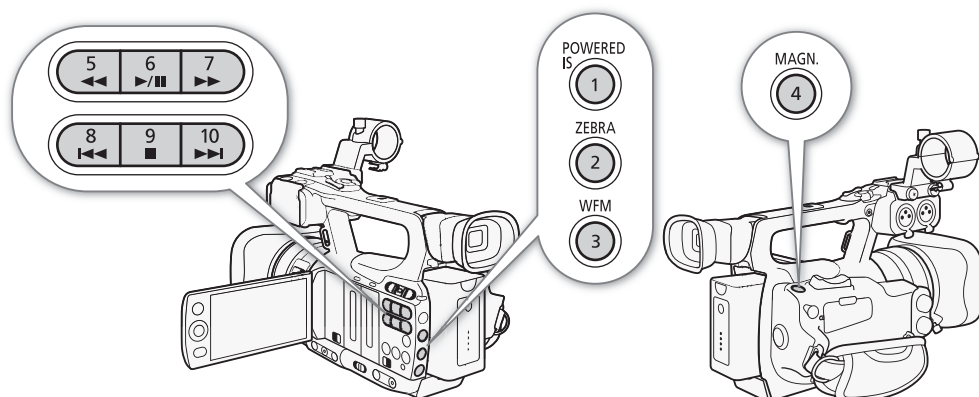
本機を2台使用して3D撮影を行う際のアシスト機能です。0にセットしたズーム位置を基準とし、ズーム操作した焦点距離位置を数値として表示する機能で、全焦点距離位置を154ステップで表示します。

1 ① 2台のカメラを平行に並べ、画角を揃える。
② Camera Setupメニュー ➤「ZOOM」➤「Focal Length Guide」を順に選ぶ ➤ SETを押す。

2 ①「Set To 0」➤ SETを押す。
- 画面にFLと初期設定数値が表示される。
- ズームを操作して、2台のカメラが同じ値になるように設定することで焦点距離が保持される。
- 「Set To 0」はテレ側で行うとより正確なガイド表示が行われる。

焦点距離ガイドは3D撮影アシスト機能です。撮影時は目視での画角の確認も合わせて行ってください。

4 カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する

CAMERA | MEDIA

本機には10個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。

アサインボタンの番号とボタン名、初期設定は次のとおりです。No.5～No.10のアサインボタンはカメラモードのときのみ使用できます。

アサインボタンNo.	ボタン名	初期設定	アサインボタンNo.	ボタン名	初期設定
1	POWERED IS	Powered IS	6	▶/❚❚	NONE
2	ZEBRA	Zebra	7	▶▶	NONE
3	WFM	WFM (LCD)	8	❙◀◀	NONE
4	MAGN.	Magnification	9	■	NONE
5	◀◀	NONE	10	▶▶❙	NONE

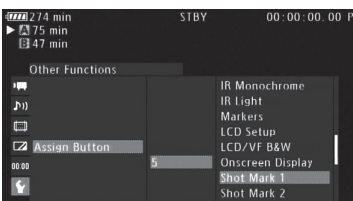
アサインボタンには次の機能を割り当てることができ、カメラモードとメディアモードでそれぞれ個別に設定できます。使用可能な機能は、下表のようにモードによって異なります。

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
Img Stab.	手ブレ補正（スタンダードIS、ダイナミックIS）のON/OFFを切り換える。	●	
Powered IS	手ブレ補正（パワードIS）のON/OFFを切り換える。	●	
Focus Limit	フォーカスリミットのON/OFFを切り換える。	●	
Face AF	顔検出AFのFace Pri./Face Only/Offを切り換える。	●	
Select Face	顔検出AF使用時における、主な被写体の選択	●	
Backlight	測光方式（バックライト）のON/OFFを切り換える。	●	
Spotlight	測光方式（スポットライト）のON/OFFを切り換える。	●	
Tele-converter	テレコンバーターのON/OFFを切り換える。押すたびに1.5x → 3.0x → 6.0x → OFFが切り換わる。	●	
Peaking	ピーキングのON/OFFを切り換える。	●	
Zebra	ゼブラパターン表示のON/OFFを切り換える。	●	
WFM (LCD)	モニター表示を切り換える。押すたびに、波形モニター → エッジモニター → OFFが切り換わる。	●	●
Magnification	拡大表示のON/OFFを切り換える。	●	
TL-H58	Conversion Lensの設定を、TL-H58/OFFに切り換える。	●	
WD-H58W	Conversion Lensの設定を、WD-H58W/OFFに切り換える。	●	
Color Bars	カラーバーのON/OFFを切り換える。	●	
IR Monochrome	Infraredモード時、MonochromeのWhite/Greenを切り換える。	●	
IR Light	Infraredモード時のIRライトのON/OFFを切り換える。（[Camera Setup]-[Infrared]-[Light]-[Toggle]に設定しているとき）	●	

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
Markers	マーカーのON/OFFを切り換える。	●	
LCD Setup	LCDセットアップメニューを表示する。	●	●
LCD/VF B&W	画面のモノクロ表示のON/OFFを切り換える。	●	●
Onscreen Display	画面表示を重畳する／しないを切り換える。HD出力／SD出力を同時に切り換える。	●	●
Shot Mark 1	ショットマーク1を付加する。	●	●
Shot Mark 2 *	ショットマーク2を付加する。	●	●
Add OK Mark	OKマークを付加する。	●	●
Add ☑ Mark	チェックマークを付加する。	●	●
Time Code	タイムコードメニューを表示する。	●	
Time Code Hold *	画面に表示されるタイムコード値を保持／保持解除を切り換える。	●	●
Audio Output CH	音声出力（AV端子、🎧（ヘッドホン）端子）から出力されるチャンネルを切り換える。押すたびに出力チャンネルが切り換わる。	●	●
Audio Level	オーディオレベルメーター表示のON/OFFを切り換える。	●	●
Wireless Controller	リモコン（付属）のON/OFFを切り換える。	●	●
Photo	静止画を記録する。	●	●
Delete Last Clip	最後に記録したクリップを消去する。	●	
Status *	ステータス画面を表示する。	●	●

* アサインボタンのみの機能

機能を変更する

例：アサインボタン5にショットマーク1（Shot Mark 1）を割り当てる場合

① Other Functionsメニュー ＞「Assign Button」＞「5」を順に選ぶ。
② 「Shot Mark 1」を選ぶ ＞ SETを押す。

アサインボタンに割り当てた機能を使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押すと、画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、ジョイスティックを上下に押して項目を選び、SETを押します。

- アサインボタンに割り当てられた機能は、ステータス画面で確認できます（📖 197）。
- Other Functionsメニュー ＞「Reset」の「Assignable Buttons」でアサインボタンの割り当てを初期状態に戻すことができます（📖 190）。

カスタムピクチャーを使用する CAMERA MEDIA

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整するためのさまざまな設定を行うことができます。調整した設定値はカスタムピクチャーとして本機やSDカードに保存し、必要に応じて再利用できます。また、カスタムピクチャーを設定して撮影すると、クリップと一緒にCFカードに保存したり、静止画と一緒にSDカードに保存したりすることができます*。カスタムピクチャーを本機とSDカードまたはCFカードとの間で相互にコピーすることもできます。カスタムピクチャーの操作は、メニューで行います。

* クリップや静止画と一緒に保存しないようにすることもできます（□ 125）。

機能分類	機能	設定項目	□
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	126
	ブラックガンマ	Black Gamma	127
	マスターペデスタル	Black － Master Pedestal	126
	マスターブラック	Black － Master Black	126
	ニー	Knee	128
	セットアップ	Other Functions － Setup Level	131
	100%クリップ	Other Functions － Clip At 100%	131
輪郭やノイズに関わるグループ	シャープネスレベル	Sharpness － Level	128
	シャープネス水平帯域	Sharpness － H Detail Freq.	128
	シャープネスHVバランス	Sharpness － HV Detail Bal.	129
	シャープネスリミット	Sharpness － Limit	129
	ニーアパーチャー	Sharpness － Knee Aperture	129
	輝度適応シャープネス	Sharpness － Level Depend	129
	コアリングレベル	Sharpness － Coring － Level	128
	輝度適応コアリング	Sharpness － Coring － D-Ofst/ D-Curve/D-Depth	128
	イングリーディエント・レシオ	Sharpness – Ingredient Ratio	129
	NR	Noise Reduction	129
	スキンディテール	Skin Detail	129
	セレクティブNR	Selective NR	130
色の方向性、強さ、変換に関するグループ	ローキーサチュレーション	Low Key Satur.	127
	ニーサチュレーション	Knee － Saturation	128
	カラーマトリックス	Color Matrix	130
	カラーゲイン	Color Matrix －Gain	130
	色相	Color Matrix － Phase	130
	ホワイトバランス	White Balance	130
	カラーコレクション	Color Correction	130

MEMO　SDカードまたはCFカードに保存したカスタムピクチャーは、XF100/105のみで使用可能です。

カスタムピクチャーを登録する

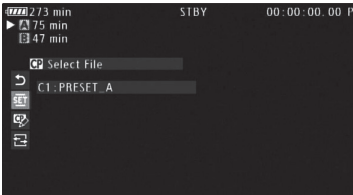
撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーとして登録しておくと、次に使用するときに、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に再現できます。カスタムピクチャーは、本機に9セット（C1 ～ C9）、SDカードに20セット（SD1 ～ SD20）保存できます。

1 登録するカスタムピクチャーを選ぶ

例：「C3 : PRESET_C」を選ぶ場合

① Camera Setupメニュー ＞「Custom Picture」を順に選ぶ。 ＞ SETを押す。
- CPメニューが表示され、さらに現在選択されているカスタムピクチャー名が表示される。

② ジョイスティックでカーソルを上下に移動させて SET（Select File）を選ぶ ＞ SETを押す。
- 本機とSDカードに保存されているカスタムピクチャーが表示される。

③「C3 : PRESET_C」を選ぶ ＞ SETを押す。

2 画質調整の設定を行う

参考 ▸「カスタムピクチャーの設定項目」（📖 126）

例：Gammaを「Cine 1」に設定する場合

①（Edit File）＞「Gamma」を順に選ぶ。

②「Cine 1」を選ぶ ＞ SETを押す。

設定を初期設定に戻すとき

「Reset」＞「OK」を順に選ぶ。

カスタマイズ

3 カスタムピクチャーの名前を設定する

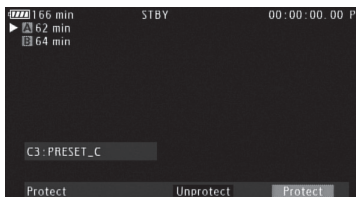
① 「Rename」を選ぶ ➤ SETを押す。
- Rename（名前変更）画面が表示され、一番左の文字の背景がオレンジ色になる。

② ジョイスティックを上下に押して文字を選ぶ ➤ SETを押す。
- 文字は、英数字、記号が使用できる。

③ ②の操作を繰り返して、すべての文字を設定する ➤ 「Set」を選ぶ ➤ SETを押す。
- カスタムピクチャーの名前が決定される。

④ MENUボタンを押す。
- CPメニューが消え、画面に選んだカスタムピクチャーの番号（CP3）が表示される

カスタムピクチャーをプロテクトする

必要に応じて、カスタムピクチャーをプロテクトすることができます。

① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ プロテクトするカスタムピクチャーを順に選ぶ。
② CPメニュー ➤ CP（Edit File）➤ 「Protect」を順に選ぶ。
③ 「Protect」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 編集中のカスタムピクチャーがプロテクトされ、「Select File」のカスタムピクチャー一覧画面に🔑が表示される。

プリセットされたカスタムピクチャーについて

初期状態では、C7 ～ C9にシーン設定値がプリセットされています。これらのカスタムピクチャーは、プロテクトされているため、変更するときはプロテクトを解除する必要があります。

	用途
C7：VIDEO.C	民生用の薄型テレビで再生するとき。
C8：CINE.V	テレビモニター再生時にシネマライクな映像にしたいとき。シネマライクなテレビ番組を制作するとき。
C9：CINE.F	Cine 2 Gamma、Cine 2 Color Matrixの組み合わせにより、CINE.Vとは異なったテイストのシネマライクな表現をするとき。

撮影に使用するカスタムピクチャーを選ぶ

カスタムピクチャーを登録しておくと、リストから選ぶだけで希望の画質に調整することができます。

① CPメニュー ➤ SET（Select File）を選ぶ。
- 本機とSDカードに保存されているカスタムピクチャーが表示される。

② いずれかのカスタムピクチャーを選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだカスタムピクチャーに登録されている設定に調整される。

カスタムピクチャーを使用しないとき

「Off」を選ぶ ➤ SETを押す。

③ MENUボタンを押して、CPメニューを閉じる。

カスタマイズ

カスタムピクチャーをコピーする

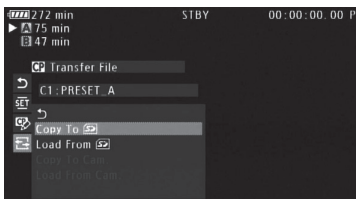
カスタムピクチャーを本機とSDカードとの間で相互にコピーすることができます。コピーの方法は、現在選んでいるカスタムピクチャーが本機かSDカードかによって異なります。

Copy To SD： 現在のカスタムピクチャー（本機）をSDカードにコピーする。新規に追加するか、既存のカスタムピクチャーを上書きするかを選ぶことができる。

Load From SD： 現在のカスタムピクチャー（本機）にSDカードのカスタムピクチャーを上書きする。

Copy To Cam.： 現在のカスタムピクチャー（SDカード）を本機にコピーする。コピー先として選んだ既存のカスタムピクチャーに上書きされる。

Load From Cam.：現在のカスタムピクチャー（SDカード）に本機のカスタムピクチャーを上書きする。

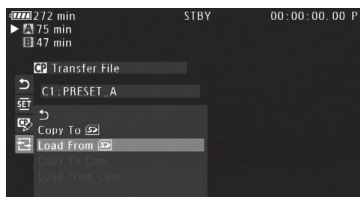
現在のカスタムピクチャー（本機）をSDカードにコピーする

① CPメニュー ➤ SET（Select File） ➤ いずれかのカスタムピクチャーを選ぶ。

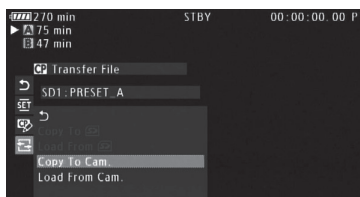
② （Transfer File） ➤「Copy To SD」を順に選ぶ。

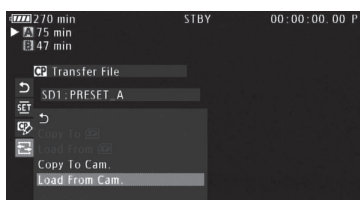
③ SDカード内のコピー先となるカスタムピクチャーを選ぶ ➤ SETを押す。
- カード内のカスタムピクチャーが20セット未満のときは、「New File」が表示される。

④「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 現在のカスタムピクチャー（本機）がSDカードにコピーされる。
- 「New File」を選んだときは、自動的に最後に追加される。

⑤ MENUボタンを押して、CPメニューを閉じる。

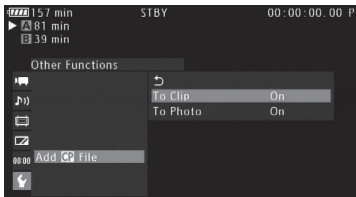
現在のカスタムピクチャー（本機）をSDカードのカスタムピクチャーで置き換える

① CPメニュー ＞ SET（Select File）＞ いずれかのカスタムピクチャーを選ぶ。
② （Transfer File）＞「Load From SD」を順に選ぶ。
③ SDカード内のコピー元となるカスタムピクチャーを選ぶ ＞ SETを押す。
④「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
● 現在のカスタムピクチャーが置き換わる。
⑤ MENUボタンを押して、CPメニューを閉じる。

現在のカスタムピクチャー（SDカード）を本機にコピーする

① CPメニュー ＞ SET（Select File）＞ いずれかのカスタムピクチャーを選ぶ。
② （Transfer File）＞「Copy To Cam.」を順に選ぶ。
③ 本機内のコピー先となるカスタムピクチャーを選ぶ ＞ SETを押す。
④「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
● 現在のカスタムピクチャー（SDカード）が本機にコピーされる。
⑤ MENUボタンを押して、CPメニューを閉じる。

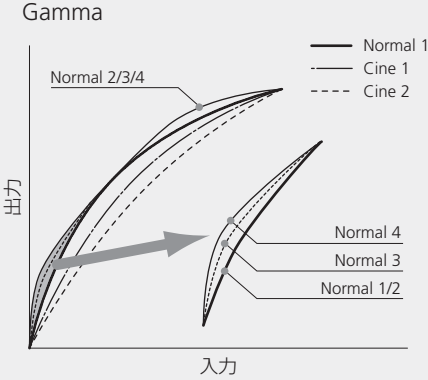
現在のカスタムピクチャー（SDカード）を本機のカスタムピクチャーで置き換える

① CPメニュー ＞ SET（Select File）＞ いずれかのカスタムピクチャーを選ぶ。
② （Transfer File）＞「Load From Cam.」を順に選ぶ。
③ 本機内のコピー元となるカスタムピクチャーを選ぶ ＞ SETを押す。
④「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
● 現在のカスタムピクチャーが置き換わる。
⑤ MENUボタンを押して、CPメニューを閉じる。

記録したクリップと一緒に保存されているカスタムピクチャーを、本機にコピーすることもできます（149）。

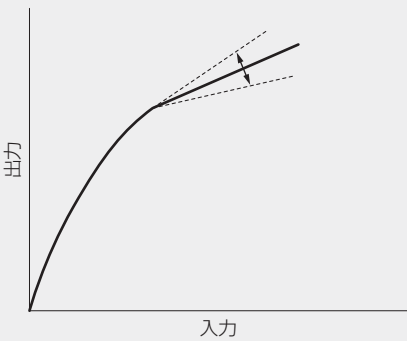
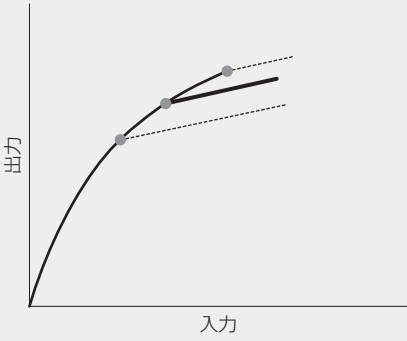
■ カスタムピクチャーをクリップ／静止画と一緒に保存する

調整を行った画質設定で撮影して、クリップや静止画と一緒にカスタムピクチャーを保存することができます。また、クリップや静止画と一緒に保存したカスタムピクチャーを本機にコピーして再利用することもできます（📖 149、179）。画質設定の内容をあらわす静止画とカスタムピクチャーを一緒に保存すれば、カスタムピクチャーの管理に役立ちます。

① Other Functionsメニュー ＞「Add CP File」を順に選ぶ。
② 「To Clip」または「To Photo」を選ぶ ＞ SETを押す。
③ 「On」を選ぶ ＞ SETを押す。

「To Clip」を選んだとき

クリップ記録時、一緒にカスタムピクチャーが保存される。

「To Photo」を選んだとき

静止画記録時、一緒にカスタムピクチャーが保存される。

カスタマイズ

カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーで設定できる項目について説明します。初期設定は太字*で記載しています。

* カスタムピクチャーの選択（CPメニュー ➤ Select File）で「Off」を選んだときも太字の内容に設定されます。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Rename	カスタムピクチャー名		カスタムピクチャーの名前を英数字8文字で設定する。
Protect	—	Protect、 Unprotect	現在のカスタムピクチャーのプロテクト設定・解除を行う。
Reset	—	OK、Cancel	現在のカスタムピクチャーの設定を、初期設定に戻す。
Gamma（ガンマ） ガンマカーブを選択する	—	**Normal 1**、 Normal 2、 Normal 3、 Normal 4、 Cine 1、 Cine 2	画面全体のテイストを決めるガンマカーブを6種類から選択する。Normal 1 ～ Normal 4は、TVモニターで見ることを前提にしたガンマ。Normal 2は、Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影でき、Normal 3（ITU-R BT.709）とNormal 4は、順にNormal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。Cine 1は映画に近い質感や階調が得られるようなガンマ。Cine 2 はCine 1に対してさらにソフトなコントラストで、映画表現に適したガンマ。
Black（ブラック） 黒のレベル、黒の色かぶりを調整する	Master Pedestal	±50（**0**）	黒のレベルを調整する。値を高くするほど画像の暗い部分が明るくなり、コントラストが弱くなる。マイナスの値にすると、黒が沈む。
	Master Black Red Green Blue	 ±50（**0**） ±50（**0**） ±50（**0**）	黒の色かぶりをRGB個別に補正する。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Black Gamma （ブラックガンマ） 低輝度部のガンマを補正する	Level	±50（**0**）	低輝度部のガンマを補正する。Level（基準ガンマからの高さ）、Range（幅）、Point（頂点の位置）の調整があり、各設定値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。 Black Gamma 出力 POINT 入力
	Range	−5 ～ 50（**0**）	
	Point	−1 ～ 50（**0**）	
Low Key Satur. （ローキーサチュレーション）	Enable	On、**Off**	Onにすると、低輝度領域で色の濃い／薄いを調整できる。
	Level	±50（**0**）	EnableがOnのとき、低輝度領域の色の濃さ・薄さを設定する。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Knee（ニー） ニー（高輝度部に圧縮をかける機能）を調整する ※ Gammaで「Cine 1」／「Cine 2」を選択時は無効。	Enable	**On**、Off	高輝度部分に圧縮をかけて、とびの発生を抑える。AutomaticをOnにすると、白とびを抑えるように自動的にニーをかけ、Offにするとニーのかけかたを手動で調整できる。手動調整するときは、Slope（ニーの傾き）、Point（ニーポイント）、Saturation（ニーポイントより上の高輝度部における色の濃さ・薄さ）の各設定値を調整する。 Knee Slope 出力 入力 Knee Point 出力 入力
	Automatic	**On**、Off	
	Slope	−35 〜 50（**0**）	
	Point	50 〜 109（**95**）	
	Saturation	±10（**0**）	
Sharpness（シャープネス） 出力信号、記録信号の輪郭強調を設定する	Level	−10 〜 50（**0**）	輪郭強調のレベルを調整する。
	H Detail Freq.	±8（**0**）	水平の輪郭強調の中心周波数を設定する。値を大きくするほど周波数が高くなり、輪郭強調は細くなる。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Sharpness（シャープネス） 出力信号、記録信号の輪郭強調を設定する	Coring Level D-Ofst D-Curve D-Depth	 −30 ～ 50（**0**） **0** ～ 50 **0** ～ 8 ±4（**0**）	輪郭強調によって発生するノイズ成分を低減する（コアリング）。Level（コアリングのレベル）を大きくすると、微小な輪郭が強調されなくなり、ノイズを低減できる。また、輝度に応じてコアリングのレベルを変えることもできる（輝度適応コアリング）。最低輝度のコアリングレベルをD-Ofst（レベルディペンド-オフセット）で、LevelからD-Ofstまでの変化のしかたをD-Curve（レベルディペンド-カーブ）で設定する。D-Depth（レベルディペンドデプス）は倍率で、D-Ofstに掛け合わせることで輝度適応コアリングのレベルが決定される。D-Depthをプラスにすると、低輝度部のコアリングレベルが上がり、マイナスにすると低輝度部のコアリングレベルが下がる。
	HV Detail Bal.	±8（**0**）	輪郭強調の水平成分と垂直成分の比率を調整する。値を大きくすると垂直成分が大きくなり、値を小さくすると水平成分が大きくなる。
	Limit	±50（**0**）	輪郭強調の大きさを制限するレベルを調整する。
	Knee Aperture Gain Slope	 **0** ～ 9 0 ～ 3（**1**）	ニーポイントより輝度が高い領域だけに輪郭強調をかける。Gainは輪郭強調の強さを、Slopeは輪郭強調の傾きを0（なし）、1（急）～ 3（なだらか）の4段階で設定する。Gammaで「Cine 1」／「Cine 2」を選択時は無効。
	Level Depend Level Slope Offset	 **0** ～ 50 **0** ～ 3 **0** ～ 50	低輝度部分の輪郭強調を弱める。Levelは処理対象の低輝度部分の輝度を設定する。Slopeは低輝度と高輝度部との間の傾きを0（なし）、1（急）～ 3（なだらか）の4段階で設定する。Offsetは低輝度部の輪郭強調のレベルを設定し、値を大きくするほど低輝度部の輪郭強調が弱められる。
	Ingredient Ratio	±50（**0**）	輪郭強調信号の混合比率を変えることでジャギーの抑圧と解像度のバランスをとることができる。値を大きくすると解像感重視、値を小さくするとジャギー抑圧重視の設定となる。
Noise Reduction（ノイズリダクション） 一般的なノイズを低減する回路の設定を変更する	—	**Automatic**、 Off、 1 ～ 8	ノイズを低減するノイズフィルタを選択する。自動調整（Automatic）と手動調整（1 ～ 8）がある。手動調整は、数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。
Skin Detail（スキンディテール） 肌色部分のノイズを低減して肌を美しく撮影するための設定を行う	Effect Level	**Off**、Low、 Middle、High	肌色を検出して、きれいな肌を演出するためのフィルターを調整する。調整のレベルは、3段階で設定でき、Highがもっとも強く調整される。
	Hue	±16（**0**）	検出する肌色の設定は、Hue（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ調整する。調整中、設定した肌色部分を検出すると、液晶画面にゼブラパターンで表示する。ビューファインダーには表示されない。
	Chroma	0 ～ 31（**16**）	
	Area	0 ～ 31（**16**）	
	Y Level	0 ～ 31（**16**）	

カスタマイズ

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Selective NR （セレクティブNR） 特定の色域を検出してノイズを低減する設定を行う	Effect Level	**Off**、Low、Middle、High	特定の色を検出して、その色の範囲を美しく演出するためのフィルターを調整する。調整のレベルは、3段階で設定でき、Highがもっとも強く調整される。
	Hue	0～31（**16**）	検出する色の設定は、Hue（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ調整する。調整中、設定した色部分を検出すると、液晶画面またはファインダー上にゼブラパターンで表示する。
	Chroma	0～31（**16**）	
	Area	0～31（**16**）	
	Y Level	0～31（**16**）	
Color Matrix （カラーマトリックス） 映像の色調を調整する	Select	**Normal 1**、Normal 2、Normal 3、Normal 4、Cine 1、Cine 2	色調をNormal 1～4、Cine 1～2の6種類から選択する（通常はGammaと同じ設定にする）。選択した色調をより細かく調整するために、カラーゲイン、色相、マトリックスを設定できる。
	Gain	±50（**0**）	色の濃さを調整する。
	Phase	±18（**0**）	色相を調整する。
	R-G	±50（**0**）	シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。
	R-B	±50（**0**）	シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。
	G-R	±50（**0**）	マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。
	G-B	±50（**0**）	マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。
	B-R	±50（**0**）	イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。
	B-G	±50（**0**）	イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。
White Balance （ホワイトバランス） ホワイトバランスのシフト量を調整する	R Gain	±50（**0**）	赤色の濃淡を調整する。
	G Gain	±50（**0**）	緑色の濃淡を調整する。
	B Gain	±50（**0**）	青色の濃淡を調整する。
Color Correction （カラーコレクション） 特定の範囲の色調を補正する	Select Area	**Off**、Area A、Area B、Area A&B	補正する色の範囲をAエリアとBエリアの2種類設定できる。補正は、「Aエリアのみ」、「Bエリアのみ」、「Aエリア／Bエリア両方」を選択できる。
	Area A Setting Phase Chroma Area Y Level	 **0**～31 0～31（**16**） 0～31（**16**） 0～31（**16**）	補正する色の範囲（Aエリア）を設定する。Phase（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ設定する。
	Area A Revision Level Phase	 ±50（**0**） ±18（**0**）	Aエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Color Correction（カラーコレクション） 特定の範囲の色調を補正する	Area B Setting Phase Chroma Area Y Level	 **0**～31 0～31（**16**） 0～31（**16**） 0～31（**16**）	補正する色の範囲（Bエリア）を設定する。Phase（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ設定する。
	Area B Revision Level Phase	 ±50（**0**） ±18（**0**）	Bエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。
Other Functions（その他） 上記のカテゴリーに属さないものを調整する	Setup Level Level Press	 ±50（**0**） On、**Off**	BlackのMaster Pedestalで設定した黒レベルに付加するセットアップを設定する。Levelはセットアップの調整量を設定する。Pressは、セットアップを付加することによって映像信号が100%を超えないように全体を圧縮する。
	Clip At 100%	On、**Off**	Onにすると、映像出力が100%を超えるときに白レベルを100%でクリップする。

機能や表示をカスタマイズする CAMERA MEDIA

カメラモードで使用する機能をカスタマイズする「カスタムファンクション」と、撮影中の画面の表示項目をカスタマイズする「カスタムディスプレイ」とがあります。撮影スタイルや目的に合わせて、より使いやすいように設定することができます。設定した内容は、他のメニュー設定とともに設定データとしてカードに保存したり、カードから読み出して再利用したりすることができます（📖 133）。設定のしかたは通常のメニュー操作と同じです。

カスタムファンクションで設定できる項目

設定内容の詳細は、メニュー一覧のOther Functionsメニュー ➤「Custom Function」（📖 194）をご覧ください。

設定項目	内容
Shockless Gain	ゲインを切り換えたときのゲイン変化の速さを設定する。
Shockless WB	ホワイトバランスを切り換えたときの色温度変化をなめらかにする。
AE Response	AEの応答性を設定する。
Iris Limit	絞り（設定可能F値）の最大値を制限する。
I. Ring Direction	マニュアルリング（アイリス）の操作方向を設定する。
F. Ring Direction	マニュアルリング（フォーカス）の操作方向を設定する。
Z. Ring Direction	マニュアルリング（ズーム）の操作方向を設定する。
F. Ring Control	マニュアルリング（フォーカス）の敏感度を設定する。
Z. Ring Control	マニュアルリング（ズーム）の敏感度を設定する。
F. Assist B&W	フォーカスアシスト機能（ピーキング、拡大表示）を使うときに、画面を自動的にモノクロにするかどうかを設定する。
Obj. Dist. Unit	マニュアルフォーカス時に表示する被写体との距離情報の単位を設定する。
Zoom Indicator	ズーム表示のしかた（ズームバー、数値）を設定する。
ZR-2000 AE Shift	ズームリモートコントローラー ZR-2000（別売）からの操作で、AEレベル調整を行うかアイリス調整を行うかを設定する。
Scan Reverse Rec	記録する映像を上下左右反転、上下反転、左右反転させるかどうかを設定する。
Character Rec	画面上に表示させている文字やアイコンなどを映像と一緒に記録（表示文字記録）するかどうかを設定する。

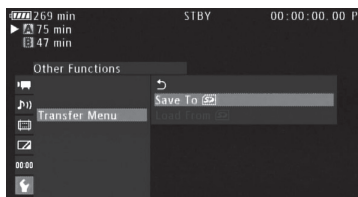
カスタムディスプレイで設定できる項目

カスタマイズ可能な表示項目については、「撮影時の画面表示」（📖 52）を、設定内容の詳細は、LCD/VF Setupメニュー ➤「Custom Display 1」または「Custom Display 2」（📖 188）をご覧ください。

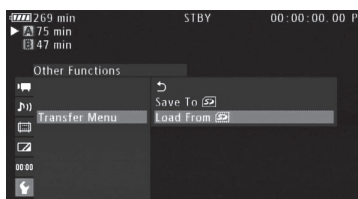
設定データの保存と読み出し CAMERA MEDIA

メニューで行った各種の設定情報を設定データとしてSDカードに保存することができます。設定データは、必要に応じて本機に読み出して再利用できます。複数のカメラを同じ設定にするときに便利です。

設定データをSDカードに保存する

メニュー設定を設定データとしてSDカードに保存します。

① Other Functionsメニュー ➤「Transfer Menu」➤「Save To [SD]」を順に選ぶ。
②「OK」を選び、SETを押す。
● 現在のメニュー設定が、設定データとしてSDカードに保存される。
③ SETを押す。

設定データをSDカードから読み込む

SDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。

① Other Functionsメニュー ➤「Transfer Menu」➤「Load From [SD]」を順に選ぶ。
②「OK」を選び、SETを押す。
● メニュー設定が、SDカードから読み込んだ設定データの内容に設定される。
● 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニューは消える）。

設定データの内容を確認する
設定データには、メニューの設定内容を記述したテキストファイルが含まれます。設定データを保存したSDカードを、パソコンに接続したカードリーダー（市販）などに入れて、「CAMSET ￥CAMSET2.TXT」を開くと、設定内容を確認することができます。

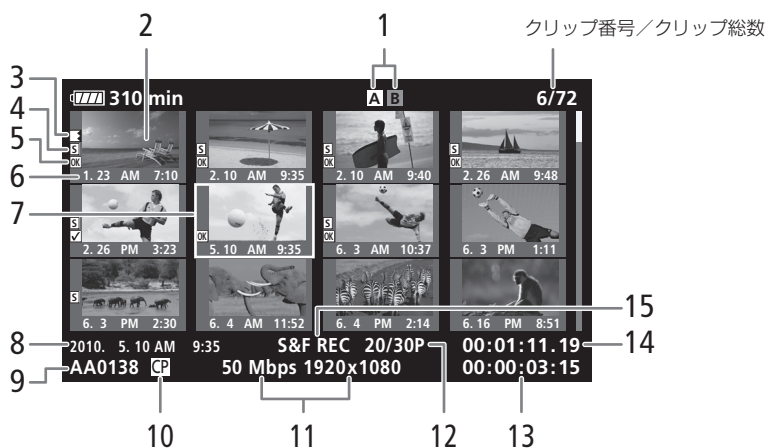
● 設定データは、XF100とXF105の間で相互に読み込んで使用することができます。
● 設定データをSDカードから読み込むとき、本機にプロテクトされたカスタムピクチャーがあっても、上書きされます。
● XF300/XF305の設定データは、読み込むことはできません。

5 再　生

クリップを再生する CAMERA MEDIA

ここでは、撮影した映像（クリップ）の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」（□ 157）をご覧ください。

インデックス画面

POWER（電源）スイッチを押しながら「MEDIA」側にする（□ 26）と本機がメディアモードで起動し、CFカードに記録されているクリップのサムネイル（縮小画）がインデックス画面に表示されます（オリジナルインデックス画面）。

8 ～ 15には、選択しているクリップの情報が表示されます。

1 現在選択しているCFカード（ハイライト表示）

2 クリップのサムネイル
- サムネイルとしてクリップの代表画が表示される。代表画は変更することもできる（□ 153）。

3 リレー記録マーク
- 記録中にメディアが切り換わった場合、切り換わり前後のクリップに表示される。

4 ショットマーク
- ショットマーク1またはショットマーク2が付加されているときに表示される。

5 OKマーク／チェックマーク
- OKマークまたはチェックマークが付加されているときに表示される。

6 収録日（月日）と記録開始時間

7 カーソル（オレンジ色の枠）

8 収録日（年月日）と記録開始時間

9 クリップ名

10 カスタムピクチャー
- カスタムピクチャーが一緒に記録されているときのみ表示される。

11 ビットレートと解像度

12 フレームレート

13 記録時間

14 代表画のタイムコード

15 特殊撮影情報
- 特殊撮影（インターバルRec、フレームRec、スロー&ファーストモーション記録、プレRec）で記録されたクリップのときに、そのモード名が表示される。
- スロー &ファーストモーション記録で記録されたクリップのときは、「撮影フレームレート／再生フレームレート」が表示される。

CFカードを切り換える

両方のCFカードスロットにCFカードを入れているときは、SLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押して、再生するCFカードを切り換えることができます（□ 44）。

インデックス画面を切り換える

インデックス画面に表示する内容を選んで、インデックス画面を切り換えることができます。次の3種類のインデックス画面に切り換えることができます。

OK Mark Index（OKマークインデックス画面）：
選択中のCFカードに記録されているクリップのうち、OKマークが付加されたクリップのみを表示する。

☑ Mark Index（チェックマークインデックス画面）：
選択中のCFカードに記録されているクリップのうち、チェックマークが付加されたクリップのみを表示する。

Photo Index（静止画インデックス画面）：
SDカードに記録されている静止画のみを表示する。

1 INDEX（インデックス）ボタンを押す

- インデックスメニューが表示される。

2 ジョイスティックを上下に押して、切り換えたいインデックス画面を選ぶ ＞ SETを押す

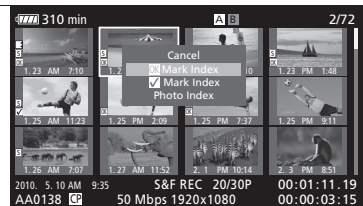
- 選んだインデックス画面に切り換わる。

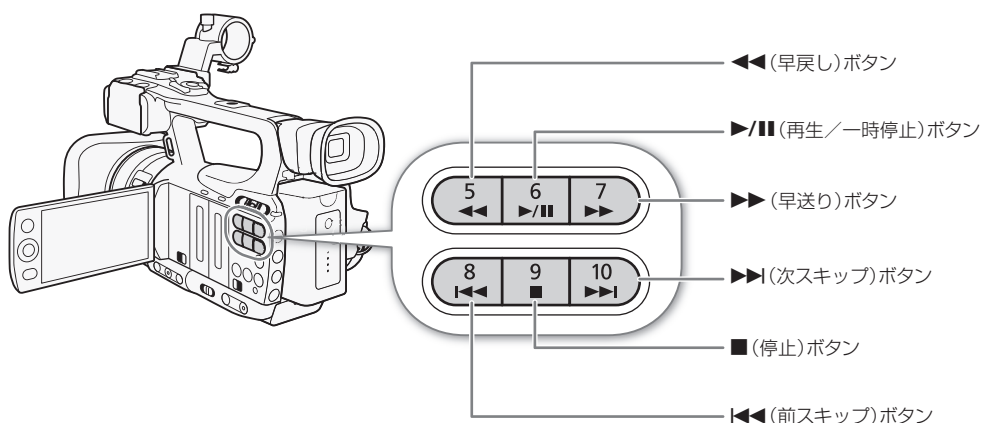
切り換えを中止するとき

CANCELを押す。

オリジナルインデックス画面に戻るとき

INDEX（インデックス）ボタンを押す。

再生

■ 再生する

インデックス画面で選んだクリップを再生します。再生には再生ボタンを使用します。

1 ジョイスティックを上下左右に押して、再生するクリップを選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したいクリップに合わせる。

2 ▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押す

- 再生が始まる。
- 再度、▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押すと再生一時停止となる。
- 選んだクリップの再生が終わると、自動的に次のクリップが再生される。最後のクリップの再生が終わると、最後のクリップの最終フレームで再生一時停止となる。

再生を終えるとき

■（停止）ボタンを押す。

アクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているCFカードスロットのカードカバーを開けない。

クリップが切り換わるときに映像と音声が途切れることがあります。

再生時の画面表示

1 バッテリー残量の目安 ⏩ 📖 53

2 再生状況

▶ PLAY	再生中
❚❚ PAUSE	再生一時停止中
❚❚▶	コマ送り
◀❚❚	コマ戻し
F FWD x5 ▶▶	早送り（5倍速）
F FWD x15 ▶▶	早送り（15倍速）
F FWD x60 ▶▶	早送り（60倍速）
◀◀F REV x5	早戻し（5倍速）
◀◀F REV x15	早戻し（15倍速）
◀◀F REV x60	早戻し（60倍速）

3 CFカード ⏩ 📖 44

4 リレー記録 ⏩ 📖 44
リレー記録が発生したクリップに表示される。リレーが発生したときの位置によって、◧（先頭）、◧（中間）、◧（終端）がある。

5 タイムコード ⏩ 📖 87

6 クリップ番号／クリップ総数

7 ビットレートと解像度 ⏩ 📖 55

8 フレームレート ⏩ 📖 55

9 カスタムピクチャー ⏩ 📖 120
カスタムピクチャーが一緒に記録されているクリップのとき表示される。

10 画面表示出力 ⏩ 📖 159

11 リモコン ⏩ 📖 189

12 ユーザービット ⏩ 📖 90

13 音声出力チャンネル ⏩ 📖 160

14 レベルメーター

15 OKマーク／チェックマーク ⏩ 📖 145

16 収録日と記録開始時間*1

17 ゲイン*2 ⏩ 📖 65

18 F値*2 ⏩ 📖 71

19 シャッタースピード*2 ⏩ 📖 68

*1 LCD/VF Setupメニュー ➤「Metadata Display」の「Date/Time」が「On」のときに表示される。
*2 LCD/VF Setupメニュー ➤「Metadata Display」の「Camera Data」が「On」のときに表示される。

さまざまな再生

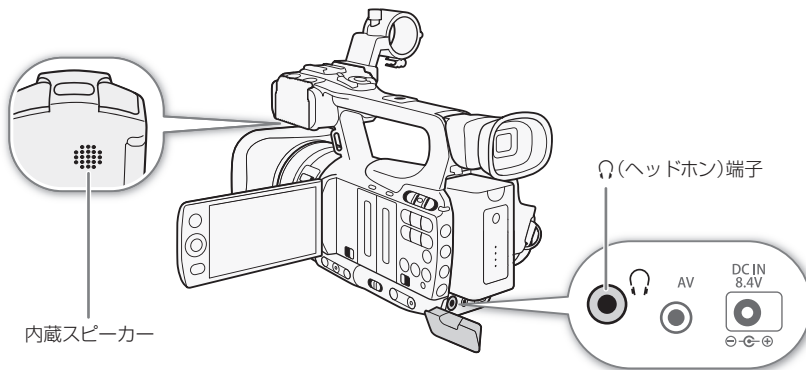
早送りや早戻し、スロー再生、コマ送り、スキップ再生などの再生方法があります。

機　能	操　作			説　明
		本体	リモコン	
早送り*1	再生中に	▶▶		押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。*2
早戻し*1	再生中に	◀◀		
コマ送り	一時停止中に	—		押すたびに1コマ進む。押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し*3	一時停止中に	—		押すたびに1コマ戻る。押し続けると連続してコマごとに戻る。
スキップ再生	再生中に	▶▶I	▷	次のクリップの先頭から再生。
	再生中に	I◀◀	◁	現在のクリップの先頭から再生。
	再生中に 2回押す	I◀◀	◁	前のクリップの先頭から再生。

*1 操作中、画面が乱れることがあります。
*2 画面に出る倍速表示は目安です。
*3 コマの間隔はコマ送りのときより長くなり、解像度／フレームレートが720/60Pまたは720/24Pのときは0.2秒、それ以外のときは0.5秒です。

- 特殊再生中は音声が聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶/II ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く

通常の再生中は、音声を内蔵スピーカー（モノラル）またはヘッドホンで聞くことができます。🎧（ヘッドホン）端子にヘッドホンを接続すると内蔵スピーカーはOFFになります。

ヘッドホンの音量を調整する

ヘッドホンの音量はAudio Setupメニュー ➤「Audio Output」の「Headphone Volume」または、カスタムダイヤル（📖 56）で調整できます。

内蔵スピーカーの音量を調整する

内蔵スピーカーの音量は、Audio Setupメニュー ➤「Audio Output」の「Speaker Volume」で調整できます。

モニターするチャンネルの選択については、「音声出力を選択する」（📖 160）をご覧ください。

再生中にショットマークを付加する

再生中や再生一時停止中にショットマーク（1または2）を付加することができます。アサインボタンに「Shot Mark 1」または「Shot Mark 2」を割り当て、再生中または再生一時停止中に押します。ショットマーク1は、リモコンのSHOT1ボタンを押して付加することもできます。

例：アサイン1ボタンに「Shot Mark 1」を割り当てて、ショットマークを付加する場合

1 アサイン1ボタンに「Shot Mark 1」を割り当てる（📖 118）

2 再生中 または 再生一時停止中
ショットマークを付加したいシーンでアサイン1ボタンを押す

- 「Shot Mark 1」が表示され、ショットマーク1が付加される。
- 再生中にショットマークを付加すると再生一時停止になる。
- ショットマークを付加したクリップには、インデックス画面でⓈが表示される。

- 1つのクリップに付加できるショットマークは、ショットマーク1とショットマーク2を合わせて100個までです。
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大0.5秒程度ずれることがあります。

クリップを操作する CAMERA MEDIA

クリップ単位の操作や情報表示を行うときは、クリップメニューを使用します。クリップメニューは動画の各種インデックス画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。また、すべてのクリップに対する操作は、Other Functionsメニューから行うことができます。

クリップメニュー一覧

メニュー項目	内容	インデックス画面					📖
		オリジナル	OKマーク	チェックマーク	ショットマーク	エクスパンド	
Cancel	クリップメニューを消す。	●	●	●	●	●	—
Display Clip Info	クリップの詳細情報画面を表示する。	●	●	●			144
Add OK Mark	OKマークを付加する。	●*1					145
Delete OK Mark	OKマークを消去する。		●				146
Add ☑ Mark	チェックマークを付加する。	●*1					145
Delete ☑ Mark	チェックマークを消去する。			●			146
Copy Clip	クリップを別のCFカードにコピーする。	●	●				146
Delete Clip	クリップを消去する。	●		●			148
Shot Mark	ショットマーク1またはショットマーク2が付加されたフレームだけをショットマークインデックス画面に表示する。	●	●	●			150
Shot Mark 1	ショットマーク1が付加されたフレームだけをショットマークインデックス画面に表示する。	●	●	●			
Shot Mark 2	ショットマーク2が付加されたフレームだけをショットマークインデックス画面に表示する。	●	●	●			
Expand Clip	クリップエクスパンド画面に切り換える。	●	●	●			151
Delete User Memo	クリップに付加されているユーザーメモを消去する。	●	●	●			149
Copy CP File	カスタムピクチャーを本機にコピーする。	●	●	●			149
Add Shot Mark 1 / Del. Shot Mark 1	ショットマーク1を付加／消去する。				●*2	●*2	152
Add Shot Mark 2 / Del. Shot Mark 2	ショットマーク2を付加／消去する。				●*2	●*2	
Fewer Index Pics	エクスパンドインデックス画面で、時間間隔をより粗くする。					●	151
More Index Pics	エクスパンドインデックス画面で、時間間隔をより細かくする。					●	
Pause	選んだフレームの再生一時停止状態にする。				●	●	—
Set Index Picture	フレームをクリップの代表画に設定する。				●	●	153

*1 クリップにOKマーク／チェックマークが既に付加されているときは、「Delete」になる。
*2 ショットマークの付加状態によって、表示される項目が変わる。

クリップメニューで操作する

例：オリジナルインデックス画面でクリップにOKマークを付加する場合

1 操作するクリップを選ぶ

2 SETを押す

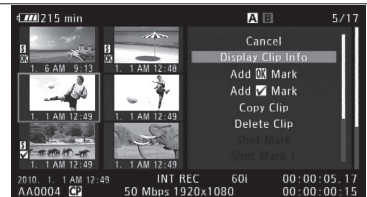
- クリップメニューが表示される。選択できる機能は、表示している画面や選択しているクリップによって変わる。

3 OKマークを付加する

① 「Add OK Mark」を選ぶ ＞ SETを押す。

② 「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。

- 選択したクリップにOKマークが付加され、サムネイルの左にOKが表示される。

再生

■ クリップの詳細情報を表示する

クリップメニューで「Display Clip Info」を選択すると、クリップの詳細情報が表示されます。クリップ詳細情報画面でジョイスティックを左右に押すと、前／次のクリップに移動します。CANCELを押すと元の画面に戻ります。

1 選択しているクリップのサムネイル（縮小画）
2 ショットマーク
3 撮影開始日時
4 クリップ名
5 ビットレートと解像度
6 特殊記録情報／フレームレート
- 特殊記録されたクリップのときは、「INT REC」、「FRM REC」、「S&F REC」、「PRE REC」のいずれかが表示される。
- スロー &ファーストモーション記録で記録したクリップのときは、フレームレートの表示が「撮影フレームレート／再生フレームレート」になる。

7 OKマーク／チェックマーク
8 カスタムピクチャー
9 記録終了フレームのタイムコード
10 収録時間
11 記録開始フレームのタイムコード
12 表示されているクリップの代表画のタイムコード
13 次のクリップのサムネイル
14 前のクリップのサムネイル

クリップに付加されているユーザーメモを表示する

クリップ詳細情報画面でジョイスティックを上に押すと、クリップに付加されているユーザーメモを表示することができます。ジョイスティックを下に押すと、クリップ詳細情報画面に戻ります。

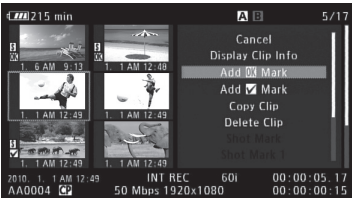
クリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーを表示する

カスタムピクチャーが一緒に記録されているクリップのときは、クリップ詳細情報画面でジョイスティックを下に押すと、カスタムピクチャーの設定内容を表示することができます。設定内容は3つの画面に分かれており、下に押すたびに「CP Data 1/3」→「CP Data 2/3」→「CP Data 3/3」→「User Memo」→「クリップ詳細情報画面」のように切り換わります。

OKマーク／チェックマークを付加する

クリップにOKマーク／チェックマークを付加しておくと、OKマーク／チェックマークが付加されたクリップだけをインデックス画面に表示することができます。また、OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止されるため、重要なクリップを保護することができます。

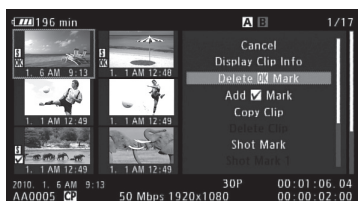
クリップにOKマーク／チェックマークを付ける

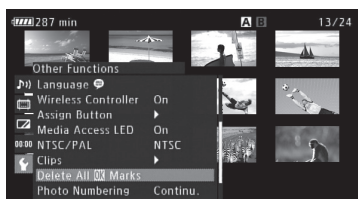
選択したクリップにOKマークまたはチェックマークを付けることができます。

① マークを付けるクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ＞「Add OK Mark」または「Add ☑ Mark」を順に選ぶ ＞ SETを押す。
③「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 選択したクリップにOKマークが付加され、サムネイルの左にOKが表示される。
- 「Add ☑ Mark」を選んだときは、チェックマークが付加され、サムネイルの左に☑が表示される。

- アサインボタンに「Add OK Mark」または「Add ☑ Mark」を割り当てれば、インデックス画面やクリップの再生中／再生一時停止中にOKマーク／チェックマークを付加することもできます。
- OKマークとチェックマークは同じクリップに同時に付加することができないため、OKマークが付加されたクリップにチェックマークを付加すると、OKマークは解除されます。チェックマークが付加されたクリップにOKマークを付加したときも同様に、チェックマークが解除されます。

OKマーク／チェックマークを消去する

1つのクリップのOKマーク／チェックマークを消去する

すでにOKマークまたはチェックマークが付加されたクリップから、OKマークまたはチェックマークを消去することができます。

① マークを消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ＞「Delete OK Mark」または「Delete ☑ Mark」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
● 選択したクリップのOKマークまたはチェックマークが消去される。

すべてのクリップのOKマークをまとめて消去する

① Other Functionsメニュー ＞「Delete All OK Marks」を順に選ぶ。
②「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
● 選択しているCFカードに記録されているすべてのクリップから、OKマークが消去される。

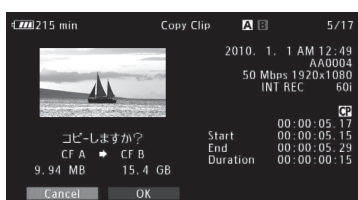
中止するとき

CANCELを押す。

③ SETを押す。

クリップをコピーする

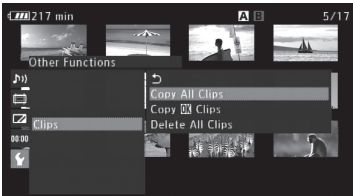
CFカードに記録されたクリップを、もう一方のスロットのCFカードにコピーすることができます。コピー先のCFカードには同じクリップ名でコピーされます。

1つのクリップをコピーする

① コピーするクリップを選ぶ
② クリップメニュー ＞「Copy Clip」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
● 選択したクリップがもう一方のCFカードスロットのCFカードにコピーされる。

中止するとき

CANCELを押す。

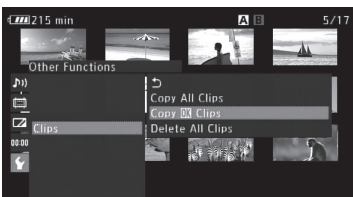
④ SETを押す。

すべてのクリップをコピーする

① Other Functionsメニュー ＞「Clips」＞「Copy All Clips」を順に選ぶ。
② 「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
● 選択しているCFカードに記録されているすべてのクリップが、もう一方のスロットのCFカードにまとめてコピーされる。

中止するとき

CANCELを押す。

③ SETを押す。

OKマークが付加されたクリップをまとめてコピーする

① Other Functionsメニュー ＞「Clips」＞「Copy OK Clips」を順に選ぶ。
② 「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
● 選択しているCFカードに記録されているクリップのうち、OKマークが付加されているクリップが、もう一方のスロットのCFカードにまとめてコピーされる。

中止するとき

CANCELを押す。

③ SETを押す。

アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているCFカードスロットのカードカバーを開けない。

- CFカードカバーが開いていると、コピーは行えません。
- コピー先のCFカードに同じクリップ番号*のクリップがあるときは、次に大きなクリップ番号のクリップ名に変更されます。* クリップ名の4桁の数字。

再生

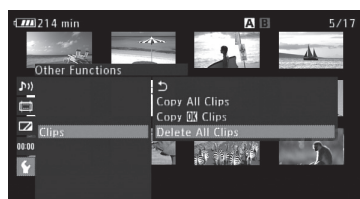
クリップを消去する

CFカードに記録されたクリップを消去することができます。OKマークが付加されたクリップは消去できません。消去するときは、先にOKマークを消去する必要があります。

1つのクリップを消去する

① 消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ＞「Delete Clip」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 選択したクリップが消去される。
- OKマークが付加されたクリップは消去されない。
- クリップの消去は中止できない。

④ SETを押す。

すべてのクリップを消去する

① Other Functionsメニュー ＞「Clips」＞「Delete All Clips」を順に選ぶ。
②「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 選択しているCFカードに記録されているすべてのクリップが消去される。
- OKマークが付加されたクリップは消去されない。

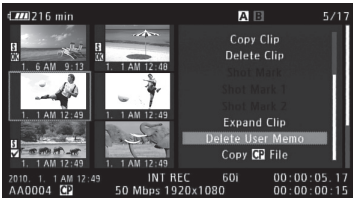
中止するとき

CANCELを押す。

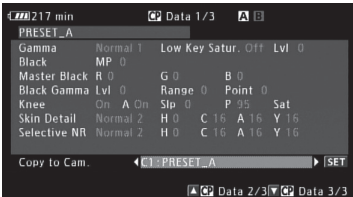
③ SETを押す。

アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているCFカードスロットのカードカバーを開けない。

クリップに付加されているユーザーメモを消去する

選択したクリップに付加されているユーザーメモを消去することができます。

① ユーザーメモを消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「Delete User Memo」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップに付加されているユーザーメモが消去される。

カスタムピクチャーをコピーする

選択したクリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーを、本機にコピーすることができます。

① カスタムピクチャーをコピーするクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「Copy CP File」を順に選ぶ。
- CP Data 1/3画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
- ジョイスティックを上下に押すと、CP Data 2/3画面またはCP Data 3/3画面に切り換わり、その他の設定内容が表示される。

③ ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーを選ぶ ➤ SETを押す。
- 「C1」～「C9」からコピー先を選ぶ。

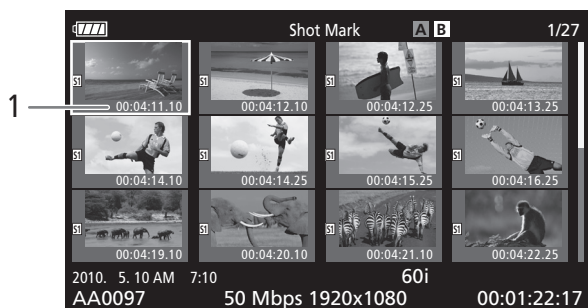
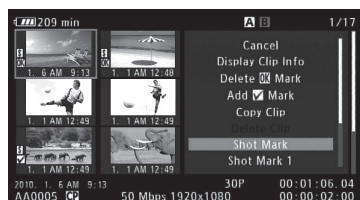
④「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーがコピーされる。

⑤ SETを押す。

- プロテクトされたカスタムピクチャーをコピー先に選択することはできません。
- カスタムピクチャーのC7 ～ C9は初期状態ではプロテクトされています。

再生

ショットマークインデックス画面を表示する

クリップにショットマーク（1または2）が1つ以上付加されている場合、ショットマークが付加されているフレームだけを抜き出して、インデックス画面に表示することができます。ショットマークインデックス画面では、選択したフレームから再生する、選択したフレームにショットマークを付加·消去する、選択したフレームをクリップの代表画に設定する、などの操作を行うことができます。ショットマーク画面インデックスには、「ショットマーク1と2の両方」、「ショットマーク1のみ」、「ショットマーク2のみ」の3種類の表示方法があります。

1 ショットマークが付加されているフレームのタイムコード

① ショットマークインデックス画面を表示するクリップを選ぶ。

② クリップメニュー ＞「Shot Mark」、「Shot Mark 1」、「Shot Mark 2」のいずれかを順に選ぶ ＞ SETを押す。

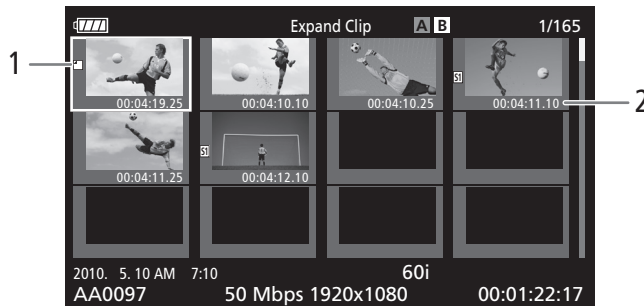
- 選んだクリップのショットマークインデックス画面が表示され、メニューで選んだショットマーク種別のフレームだけが、サムネイル表示される。

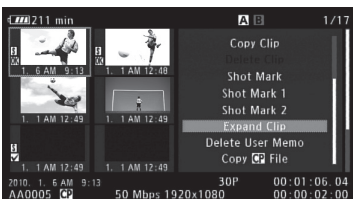
元のインデックス画面に戻るとき

INDEX（インデックス）ボタンを押す。

ショットマークインデックス画面から再生すると、ショットマークインデックス画面は解除されます。再生停止後は、ショットマークインデックス画面を表示する前のインデックス画面に戻ります。

エクスパンドインデックス画面を表示する

クリップを一定の時間ごとに分割してインデックス画面に表示することができます。収録時間の長いクリップの中から目的のシーンをすばやく探したいときに便利です。分割の時間間隔は、メニューで、「より細かく（More Index Pics）」または「より粗く（Fewer Index Pics）」を指定することで変更できます。エクスパンドインデックス画面では、選択したフレームから再生する、選択したフレームにショットマークを付加･消去する、選択したフレームをクリップの代表画に設定する、などの操作を行うことができます。

1 代表画アイコン（代表画に設定されているフレームに表示される）

2 サムネイルを表示しているフレームのタイムコード

① エクスパンドインデックス画面を表示するクリップを選ぶ。

② クリップメニュー ➤「Expand Clip」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだクリップのエクスパンドインデックス画面が表示される。

③ 必要に応じて、クリップメニュー ➤「More Index Pics」または「Fewer Index Pics」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 時間間隔が、より細かくまたはより粗くなる。

元のインデックス画面に戻るとき

INDEX（インデックス）ボタンを押す。

エクスパンドインデックス画面から再生すると、エクスパンドインデックス画面は解除されます。再生停止後は、エクスパンドインデックス画面を表示する前のインデックス画面に戻ります。

再生

ショットマークを付加／消去する

ショットマークインデックス画面またはエクスパンドインデックス画面でサムネイル表示されているフレームに、ショットマーク（1または2）を付加したり、付加されているショットマークを消去したりすることができます。

ショットマークを付加する

例：「ショットマーク2」を付加する場合

① ショットマークインデックス画面またはエクスパンドインデックス画面でフレーム（サムネイル）を選ぶ。
② クリップメニュー ➤「Add Shot Mark 2」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだフレームに対して、ショットマーク2が付加され、サムネイルの左にS2が表示される。

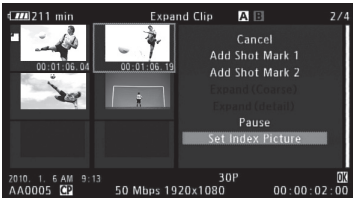
ショットマークを消去する

例：「ショットマーク1」を消去する場合

① ショットマークインデックス画面またはエクスパンドインデックス画面でフレーム（サムネイル）を選ぶ。
② クリップメニュー ➤「Del. Shot Mark 1」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだフレームに付加されているショットマーク1が消去される。
- ショットマークを消去したことにより、そのフレームが、現在表示しているショットマークインデックス画面の表示条件を満たさなくなったときは、インデックス画面に表示されなくなる（例：ショットマーク1のインデックス画面で、ショットマーク1を消去したときなど）。

- ショットマークの付加は、アサインボタンに「Shot Mark 1」または「Shot Mark 2」を割り当てて操作してもできます。また、ショットマーク1は、リモコンの「SHOT 1」ボタンを押して付加することもできます。
- 1つのクリップに付加できるショットマークは、ショットマーク1とショットマーク2を合わせて100個までです。
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大0.5秒程度ずれることがあります。

クリップの代表画を設定する

ショットマークインデックス画面またはエクスパンドインデックス画面で選択したフレームを、クリップの代表画に設定することができます。

① ショットマークインデックス画面またはエクスパンドインデックス画面でフレーム（サムネイル）を選ぶ。
② クリップメニュー ➤「Set Index Picture」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだフレームが、そのクリップの代表画に設定され、サムネイルの左に◧が表示される。

先頭以外のフレームを代表画に設定しても、オリジナルインデックス画面でクリップを再生するときは先頭フレームから再生されます。

再生

接　続

出力信号形式 CAMERA MEDIA

HD/SD SDI端子（XF105）、HDMI® OUT端子、HD/SD COMPONENT OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります*。コンポジット出力端子（AV端子）からは480/60i形式で出力されます。

* HDMI OUT端子の場合は、接続した外部モニターの能力によって変わります。

映像信号形式と出力信号形式

映像信号形式と各端子から出力される信号形式は、次の表のとおりです。映像に画面表示を重畳することもできます。

映像信号形式（解像度／フレームレート）	XF105 HD/SD SDI端子*1*2*3		HDMI OUT端子*2*3*4		HD/SD COMPONENT OUT端子*2*3*5		コンポジット出力端子*2
	HD出力	SD出力	HD出力	SD出力	HD出力	SD出力	SD出力
1080/60i 1080/30P 1080/24P 1080/S&F Frame Rate	1080/60i	480/60i*6	1080/60i	480/60P	1080/60i	480/60i	480/60i
720/60P 720/30P 720/24P 720/S&F Frame Rate	720/60P	480/60i*6	720/60P	480/60P	720/60P	480/60i	480/60i

*1 Video Setupメニューの「SDI Output」で、「HD」、「SD」、「Off」を切り換える。
*2 Video Setupメニューの「HD Onscreen Disp.」または「SD Onscreen Disp.」を「On」に設定すると、画面表示を重畳することができる。
*3 LCD/VF Setupメニュー ➤「Zebra」の「HD Output」を「On」にすると、ゼブラパターンを出力できる。HD/SD SDI端子またはHD/SD COMPONENT OUT端子の出力をSDに設定している場合、ゼブラパターンを出力すると一時的にHD出力になる。
*4 接続したモニターの能力に応じて自動的に、HD出力/SD出力が切り換わる。
*5 Video Setupメニューの「Component Output」で、「HD」、「SD」を切り換える。
*6 HDMI OUT端子がSD（480/60P）出力のときは、HD/SD SDI端子からもSD（480/60P）の信号が出力される。

XF105 HDMI OUT端子に接続していると、HD/SD SDI端子からの出力はHDMI OUT端子と同じ信号形式になります。

SD出力時の表示方式

アスペクト比が16:9のHD映像を4:3のSD映像にダウンコンバートして出力するときの表示方式は、次の3種類があり、Video Setupメニューの「SD Output」で選択します。

Squeeze（スクイーズ）	Letterbox（レターボックス）	Side Crop（サイドクロップ）
16:9の映像を左右方向に縮小して4:3にする*。	16:9の映像の上下に黒い帯を追加して4:3にする。	16:9の映像の両端を切り取って4:3にする

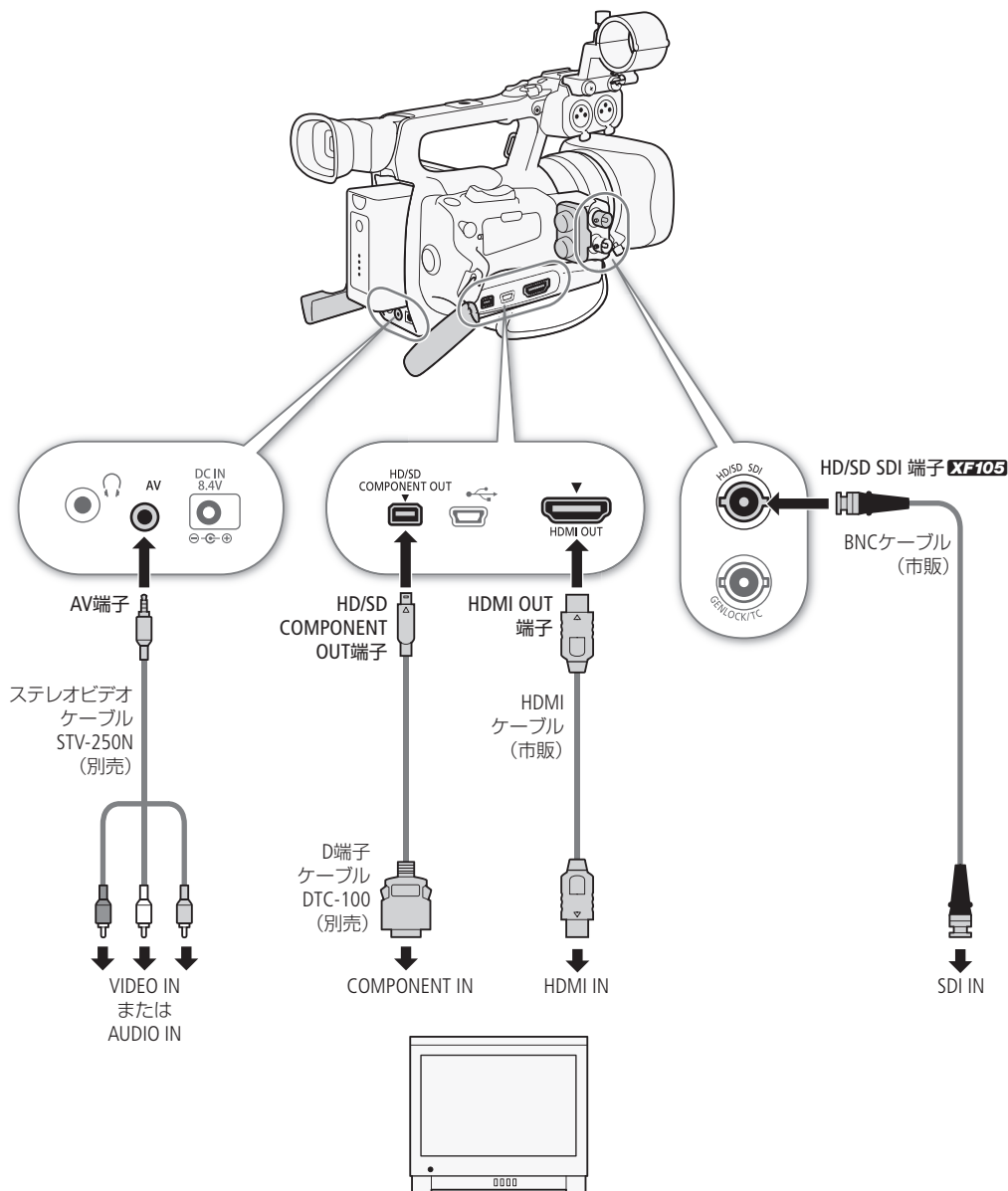
* 接続した外部モニターが16:9のときは、正常なアスペクト比で出力される。

外部モニターを接続する CAMERA MEDIA

撮影・再生映像を外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を決めて本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します（参考 »「出力信号形式」（🕮 156））。映像は、各映像出力端子に同時に出力することができます。

■ 接続のしかた

本機と外部モニターを接続します。HD/SD COMPONENT OUT端子を使用する場合、音声を出力するときは、AV端子と外部モニターの音声入力端子をステレオビデオケーブルSTV-250N（別売）で接続してください。

AV
DC IN 8.4V
HD/SD COMPONENT OUT
HDMI OUT
HD/SD SDI
GENLOCK/TC
HD/SD SDI 端子 XF105
BNCケーブル（市販）
AV端子
HD/SD COMPONENT OUT端子
HDMI OUT 端子
ステレオビデオケーブル STV-250N（別売）
HDMI ケーブル（市販）
D端子ケーブル DTC-100（別売）
VIDEO IN または AUDIO IN
COMPONENT IN
HDMI IN
SDI IN

MEMO　コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用のコンセントにつないで使うことをおすすめします。

HD/SD SDI端子を使用する XF105

HD/SD SDI端子から出力される映像信号には、オーディオ信号とタイムコード信号が重畳されます。HD/SD SDI端子を使用するときは、Video Setupメニューの「SDI Output」で、「HD」または「SD」を選びます。画面表示を重畳することもできます（📖 159）。HD/SD SDI端子を使用しないときは、Video Setupメニューの「SDI Output」を「Off」にするとバッテリーの持ちが良くなります。

① Video Setupメニュー ➤「SDI Output」を順に選ぶ。
② 「HD」または「SD」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 「SD」を選んだとき SD出力の表示方式を選ぶ

参考 ▶▶「コンポジット出力端子を使用する」（📖 159）

SDI出力を使用しないとき

②で「Off」を選ぶ。

HDMI OUT端子を使用する

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。接続した外部モニターの能力に合わせて、HD出力とSD出力が自動的に切り換わります。HDMI OUT端子の出力に画面表示を重畳することもできます（📖 159）。

- SD出力の表示方式は、「Squeeze（スクイーズ）」、「Letterbox（レターボックス）」、「Side Crop（サイドクロップ）」のいずれかをメニューで選択できます（📖 156）。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、他の端子を使って接続してください。

HD/SD COMPONENT OUT端子を使用する

HD/SD COMPONENT OUT端子は、HD映像をアナログ信号で出力することができます。使用するときは、メニューでHD出力またはSD出力を切り換えます。HD/SD COMPONENT OUT端子の出力に、画面表示を重畳することもできます（📖 159）。

HD出力またはSD出力を選ぶ

① Video Setupメニュー ➤「Component Output」を順に選ぶ。
② 「HD」または「SD」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 「SD」を選んだとき SD出力の表示方式を選ぶ

参考 ▶▶「コンポジット出力端子を使用する」（📖 159）

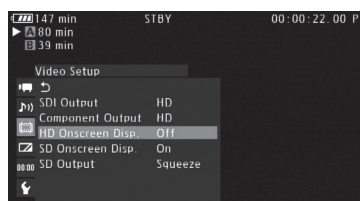
コンポジット出力端子を使用する

コンポジット出力端子（AV端子）からは、ダウンコンバートされたSDアナログコンポジット信号を出力します。コンポジット出力端子（AV端子）から出力される映像の表示方式（🕮 156）は、「Squeeze（スクイーズ）」、「Letterbox（レターボックス）」、「Side Crop（サイドクロップ）」のいずれかをメニューで選択できます。

① Video Setupメニュー ➤「SD Output」を順に選ぶ。
②「Squeeze」、「Letterbox」、「Side Crop」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

モニターがビデオID-1方式に対応していれば、自動的にワイド画面（16:9）に切り換わります。

出力映像に画面表示を重畳する

HD/SD SDI端子（XF105）、HDMI OUT端子、HD/SD COMPONENT OUT端子、コンポジット端子（AV端子）から出力される映像に画面表示を重畳することができます。重畳の設定はVideo Setupメニューで行い、HD出力とSD出力を個別に設定できます。なお、この設定は、CFカードに記録される映像には影響しません。

① Video Setupメニュー ➤「HD Onscreen Disp.」または「SD Onscreen Disp.」を順に選ぶ。
②「On」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に DISP が表示される*。

* カメラモードでは、LCD/VF Setupメニュー ➤「Custom Display 2」の「Output Display」が「On」のときのみ表示される。

SD出力時の表示方式が「Side Crop」のときは、「SD Onscreen Disp.」の設定にかかわらず、画面表示は重畳されません。

接続

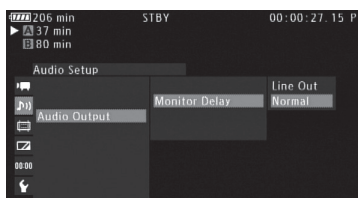
音声出力を選択する

HD/SD SDI端子（XF105）、HDMI OUT端子、AV端子、（ヘッドホン）端子から音声を出力できます。AV端子、（ヘッドホン）端子から出力される音声は、チャンネルなどを選択できます。またAV端子から出力される音声はレベルを2段階から選択できます。

エンベデッドオーディオ XF105 CAMERA MEDIA

HD/SD SDI端子から出力される映像信号に音声信号を重畳することができます。Video Setupメニューの「SDI Output」を「HD」または「SD」にすると自動的にエンベデッドオーディオがONになります。

映像と音声のタイミングを選ぶ（モニターディレイ） CAMERA MEDIA

AV端子、（ヘッドホン）端子から出力される音声について、映像とタイミングを合わせて遅延させるかどうかを設定することができます。

① Audio Setupメニュー ＞「Audio Output」＞「Monitor Delay」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ＞ SETを押す。
- Line Out： 映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。
- Normal： リアルタイム（ディレイなし）で音声を出力する。

音声出力チャンネルを選ぶ CAMERA MEDIA

AV端子、（ヘッドホン）端子から出力される音声のチャンネルを選択することができます。

① Audio Setupメニュー ＞「Audio Output」＞「Channel」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ＞ SETを押す。
- CH1/CH2： 出力音声のL chにCH1を、R chにCH 2を割り当てる。
- CH1/CH1： 出力音声のL chとR chの両方にCH 1を割り当てる。
- CH2/CH2： 出力音声のL chとR chの両方にCH 2を割り当てる。
- All/All： 出力音声のL chとR chの両方にCH 1とCH 2をミックスした信号を割り当てる。

アサインボタンに「Audio Output CH」を割り当てると、アサインボタンを押して出力チャンネルを切り換えられます（118）。

AV端子の音声出力レベルを選ぶ CAMERA MEDIA

AV端子から出力される音声の出力レベルを選択することができます。2 Vrmsにすると、出力レベルが6 dB上がります。

① Audio Setupメニュー ➤「Audio Output」➤「Level」を順に選ぶ。
② 「2 Vrms」または「1 Vrms」を選ぶ ➤ SETを押す。

(ヘッドホン)端子の出力レベルは変わりません。

クリップをパソコンに保存する

記録したクリップをパソコンに取り込むときは、付属のCanon XF Utilities Discを使用します。ディスクには、次のソフトウェアが入っています。

Canon XF Utility

パソコンへの取り込み、映像の確認・再生、クリップの管理を行う簡易ブラウザー。

ノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン

- Canon XF Plugin for Avid Media Access（Windows用／ Mac用）
  ノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer (Windows/Mac) / Avid NewsCutter (Windows)で、CFカード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。
- Canon XF Plugin for Final Cut Pro（Mac用）
  ノンリニア編集ソフトウェアApple Final Cut Proで、CFカード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

使いかたの詳細については、各ソフトウェアの説明書（後述）をご覧ください。また、ソフトウェアに関する最新の情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

必要な動作環境

Canon XF Utility

OS	Windows XP SP3（32 bit版のみ） Windows Vista SP1/SP2（32 bit版/64 bit版） Windows 7（32 bit版/64 bit版）	Mac OS X 10.5、10.6
CPU	Intel Core 相当以上* （Intel Core 2 Duo 2.66 GHz以上を推奨） * SSE2に対応していること。	Intel製CPU （Intel Core 2 Duo 2.66 GHz以上を推奨）
メモリー	1 GB以上 （Windows7 64bit版は 2 GB以上）	
ハードディスク空き容量	インストール時：80 MB以上	
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上 16 bit（High Color）以上	1024×768ピクセル以上 32000色以上

Canon XF Plugin for Avid Media Access

対応アプリケーション	Media Composer 4.0.5 / 5.0.0 ～ 5.0.3およびNewsCutter 8.0.5 / 9.0.0 ～ 9.0.3

Media ComposerおよびNewsCutterの動作環境については、メーカーのホームページなどでご確認ください。

Canon XF Plugin for Final Cut Pro

対応アプリケーション	Final Cut Pro 6.0.3 ～ 6.0.6 / 7.0.0~7.0.3

Final Cut Proの動作環境については、メーカーのホームページなどでご確認ください。

動作環境を満たした、すべてのパソコンで動作することを保証するものではありません。

インストール／アンインストールのしかた（Windows）

Canon XF Utilities Discを使うときは、はじめにインストールする必要があります。ここでは、Windowsパソコンを使用する場合について、インストールのしかた／アンインストールのしかたを説明します。

インストールする

1 付属のCanon XF Utilities Discをパソコンに入れる

● インストール画面が表示される。

インストール画面が表示されない場合

Windows Vista、Windows 7のとき

→ 自動再生ダイアログが表示されるので、「SETUP.EXEを実行」を選択する。

Windows XP、またはWindows Vista / Windows 7で自動再生ダイアログが表示されないとき

→ マイコンピュータ*でディスクを入れたドライブをダブルクリックする。

* Windows XPのとき。Windows Vistaでは「コンピュータ」、Windows7では「コンピューター」

2 「おまかせインストール」または「選んでインストール」をクリック →「OK」をクリックする

● 実行している他のソフトウェアの終了を促すメッセージが表示される。

3 実行中の他のソフトウェアを終了して、「OK」をクリックする

接続

4 「選んでインストール」を選んだときは、インストールするソフトウェアを選んで「次へ」をクリックする

5 「インストール」をクリックする

- 使用許諾画面が表示される。

6 使用許諾契約書に同意してインストールする場合は、「はい」をクリックする

- インストールが開始され、終了すると「インストールが正常に終了しました」が表示される。

7 「次へ」をクリック → 「完了」をクリックする

8 ディスクを取り出す

Canon XF Utilityをアンインストールする

1 次のメニューを選択する

スタートメニュー ➤ すべてのプログラム ➤ Canon Utilities ➤Canon XF Utility ➤ Canon XF Utility アンインストール

- アンインストールの確認画面が表示される。

2 「はい」をクリックする

- アンインストールが開始され、完了すると「アンインストールが成功しました」が表示される。

3 「OK」をクリックする

Canon XF MPEG2 Decoderをアンインストールする

1 コントロールパネルから、「プログラムの追加と削除*」をクリックする

● インストールされているプログラムが一覧表示される。

* Windows XPのとき。Windows Vista/Windows 7では「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」をクリックします(コントロールパネルの表示の仕方によって名称が異なります)。

2 「Canon XF MPEG2 Decoder」を選択する

3 [変更と削除*]をクリックする

* Windows XPのとき。Windows Vista/Windows7では「アンインストール」または「アンインストールと変更」をクリックする。

4 画面の指示に従って操作する

Canon XF Plugin for Avid Media Accessをアンインストールする

1 コントロールパネルから、「プログラムの追加と削除*」をクリックする

● インストールされているプログラムが一覧表示される。

* Windows XPのとき。Windows Vista/Windows 7では「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」をクリックします(コントロールパネルの表示の仕方によって名称が異なります)。

2 「Canon XF Plugin for Avid Media Access」を選択する

3 [変更と削除*]をクリックする

* Windows XPのとき。Windows Vista/Windows7では「アンインストール」または「アンインストールと変更」をクリックする。

4 画面の指示に従って操作する

Canon XF Plugin for Avid Media Access使用説明書をアンインストールする

1 次のメニューを選択する

スタートメニュー ➤ すべてのプログラム ➤ Canon Utilities ➤
Canon XF Plugin for Avid Media Access ➤
Canon XF Plugin for Avid Media Access 使用説明書 アンインストール

● アンインストールの確認画面が表示される。

2 「はい」をクリックする

3 「OK」をクリックする

■ インストール／アンインストールのしかた（Mac OS）

Canon XF Utilities Discを使うときは、はじめにインストールする必要があります。ここでは、Mac OSが搭載されたパソコンを使用する場合について、インストールのしかた／アンインストールのしかたを説明します。

インストールする

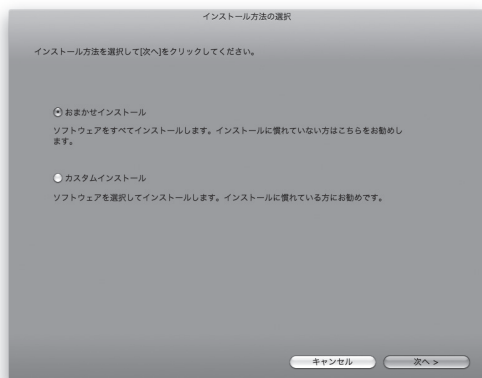
1 付属のCanon XF Utilities Discをパソコンに入れる

- デスクトップにディスクアイコン「CanonXF＊＊M」が表示される。

2 ディスクアイコン「CanonXF＊＊M」をダブルクリック → 「XFInstaller」をダブルクリックする

- インストール画面が表示される。

3 「インストール」をクリックする

- インストール方法選択画面が表示される。

4 「おまかせインストール」または「カスタムインストール」を選んで、「次へ」をクリックする

- 使用許諾画面が表示される。

5 使用許諾契約書に同意してインストールする場合は、「同意する」をクリックする

6 「カスタムインストール」を選んだときは、インストールするソフトウェアを選んで「次へ」をクリックする

7 「次へ」をクリックする

- インストールが開始され、終了すると「インストールが完了しました」が表示される。

8 「完了」をクリックして、ディスクを取り出す

Canon XF Utilityをアンインストールする

アプリケーションフォルダーの「Canon Utilities」の下の「Canon XF Utility」をゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

Canon XF MPEG2 Decoderをアンインストールする

次のファイルをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

/ Library / QuickTime / XFMpeg2Dec.component

Canon XF Plugin for Final Cut Proをアンインストールする

次のファイルをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

/ Library / Application Support / ProApps / MIO / RAD / Plugins / CanonXF.RADPlug

接続

Canon XF Plugin for Final Cut Pro 使用説明書をアンインストールする

アプリケーションフォルダーの「Canon Utilities」の下の「Canon XF Plugin for Final Cut Pro」をゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

Canon XF Plugin for Avid Media Accessをアンインストールする

次のファイルをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。
/ Library / Application Support / Avid / AVX2_Plug-ins / AMA / MVP_CanonXF.avx

Canon XF Plugin for Avid Media Access 使用説明書をアンインストールする

アプリケーションフォルダーの「Canon Utilities」の下の「Canon XF Plugin for Avid Media Access」をゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

■ ソフトウェアの使用説明書を見る

ソフトウェアの詳細な使いかたについては、各ソフトウェアの使用説明書（PDF）をご覧ください。使用説明書はソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。Windowsの場合、使用説明書を見るにはAdobe Readerが必要です。

Canon XF Utilityの使用説明書を見る

次の方法で使用説明書を見ることができます。

Windowsの場合
Windowsのスタートメニュー ➤ すべてのプログラム ➤ Canon Utilities ➤ Canon XF Utility ➤ Canon XF Utility 使用説明書 ➤「言語名」を順に選ぶ。

Macの場合
アプリケーションフォルダーの下のCanon Utilities / Canon XF Utility / Manual / [言語名のフォルダー] 内のPDFファイルをダブルクリックする。

Canon XF Utilityを起動し、ヘルプメニュー ➤「使用説明書を見る」を順に選んでも、使用説明書を見ることができます。

ノンリニア編集ソフトウェア用プラグインの使用説明書を見る

次の方法で使用説明書を見ることができます。

Canon XF Plugin for Avid Media Accessの使用説明書

Windowsの場合

Windowsのスタートメニュー ➤ すべてのプログラム ➤ Canon Utilities ➤ Canon XF Plugin for Avid Media Access ➤ Canon XF Plugin for Aivd Meida Access 使用説明書 ➤「言語名」を順に選ぶ。

Macの場合

アプリケーションフォルダーの下のCanon Utilities / Canon XF Plugin for Avid Media Access / Manual / [言語名のフォルダー] 内のPDFファイルをダブルクリックする。

Canon XF Plugin for Final Cut Proの使用説明書を見る

アプリケーションフォルダーの下のCanon Utilities / Canon XF Plugin for Final Cut Pro / Manual / [言語名のフォルダー] 内のPDFファイルをダブルクリックする。

7 静止画

静止画を記録する

カメラモードで撮影中または撮影一時停止中に、静止画をSDカードに記録することができます*。また、メディアモードで動画の再生一時停止中に、動画から静止画を切り取ることもできます。記録される静止画のサイズは次のとおりです。

カメラモードで静止画を記録する場合：　1920×1080
動画から静止画を切り取る場合：
　動画の解像度が1920×1080のとき　1920×1080
　動画の解像度が1440×1080のとき　1920×1080
　動画の解像度が1280×720のとき　1280×720

* 記録できる枚数は、1GBのSDカードに約670枚。

カメラモードで静止画を記録する　CAMERA　MEDIA

撮影中または撮影一時停止中に静止画をSDカードに記録することができます。カスタムピクチャーが選択されていると、静止画と一緒にカスタムピクチャーも記録されます*。静止画を記録するときは、アサインボタンに「Photo」を割り当てて使用するか、リモコンのPHOTOボタンを使用します。

* カスタムピクチャーを記録しないようにすることもできます（🕮 125）。

例：◀◀ ／アサイン 5ボタンに「Photo」を割り当てて、静止画を記録する場合

1　アサイン5ボタンに「Photo」を割り当てる

参考 ▸▸ 「アサインボタンの機能を変更する」（🕮 118）。

2　動画撮影中　動画撮影一時停止中　静止画を記録する

① ◀◀ ／アサイン 5ボタンを押す。
- 「SD」と記録可能枚数が表示され、静止画がSDカードに記録される。このとき、カスタムピクチャーが選択されていると、静止画と一緒にカスタムピクチャーも記録される。
- 記録中はSDカードアクセスランプが点滅する。

■ 記録した動画から静止画を切り取る CAMERA MEDIA

メディアモードで、動画の再生一時停止中に、動画から静止画を切り取ることができます。静止画を記録するときは、アサインボタンに「Photo」を割り当てて使用するか、リモコンのPHOTOボタンを使用します。

例：リモコンのPHOTOボタンを使って、静止画を記録する場合

1 クリップを再生する

① 静止画の切り取りを行うクリップを選ぶ。
② ▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押して、クリップを再生する。
③ 静止画を切り取りたいシーンで、再度▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押す。

2 静止画を記録する

① リモコンのPHOTOボタンを押す。
- シャッターを切るように画面が一度途切れ、「SD」と記録可能枚数が表示されて、静止画がSDカードに記録される。
- 記録中はSDカードアクセスランプが点滅する。

② ■ボタンを押して、クリップの再生一時停止を解除する（インデックス画面に戻る）。

SDカードアクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- SDカードを取り出さない。

- 静止画を記録するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。
- Other Functionsメニュー ➤「Custom Function」の「Scan Reverse Rec」がOff以外のときに静止画を記録しても、記録される静止画は上下左右反転、上下反転、左右反転されません。

静止画

静止画を再生する CAMERA MEDIA

SDカードに記録した静止画を再生することができます。静止画を再生するときは、メディアモードで画面を静止画インデックス画面に切り換えます。

静止画インデックス画面を表示する

静止画を再生するときは、メディアモードで静止画インデックス画面に切り換えます。

1 MEDIAモードにする

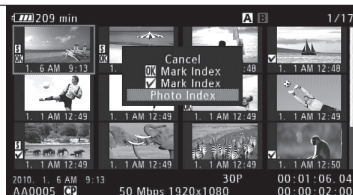
2 INDEX（インデックス）ボタンを押す

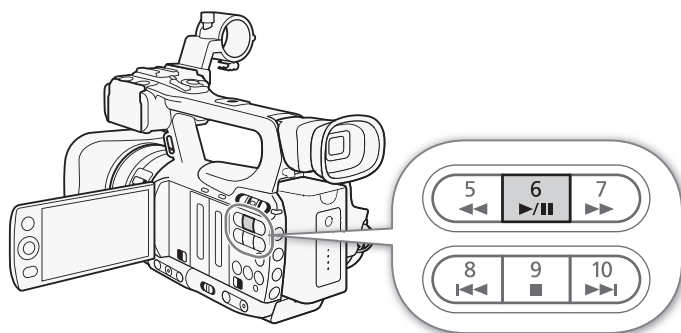
- インデックスメニューが表示される。

3 静止画インデックス画面を選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、「Photo Index」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 静止画インデックス画面に切り換わる。

元のインデックス画面に戻るとき

INDEX（インデックス）ボタンを押す。

再生する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を再生します。再生には各種再生操作ボタンを使用します。

1 ジョイスティックを上下左右に押して、再生する静止画を選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したい静止画に合わせる。

2 ▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押す。

- 静止画が再生される（1枚表示される）。

前の静止画／次の静止画に移動するとき

⏮◀を押すと前の静止画に、▶⏭を押すと次の静止画に移動する。

撮影情報の表示をON/OFFするとき

DISP.（ディスプレイ）／BATT.（バッテリー情報）ボタンを押す。

再生を終える（インデックス画面に戻る）とき

■（停止）ボタンを押す。

- SDカードアクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき。
  - パソコンで作成や加工をしたとき。
  - パソコンでファイル名を変更したとき。

静止画

静止画を操作する CAMERA MEDIA

静止画単位の操作を行うときは、静止画メニューを使用します。静止画メニューは静止画インデックス画面、静止画再生画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。

静止画メニューで操作する

例：静止画インデックス画面で静止画を消去する場合

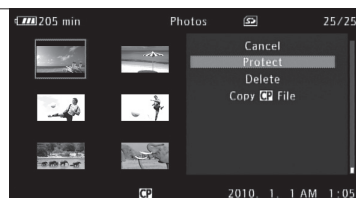
1 操作する静止画を選ぶ

- 静止画再生画面のときは、操作する静止画を再生する。

2 SETを押す

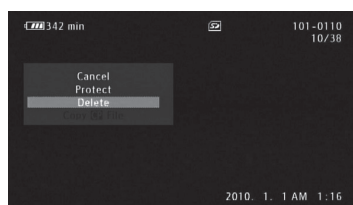
- 静止画メニューが表示される。選択できる機能は、表示している画面や選択している静止画によって変わる。

3 静止画を消去する

①「Delete」を選ぶ ➤ SETを押す。
②「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップが消去される。

静止画を消去する CAMERA MEDIA

不要な静止画を1枚ずつ消去することができます。静止画を消去すると、一緒に記録されたカスタムピクチャーも消去されます。静止画の消去は、静止画再生画面と静止画インデックス画面で行うことができます。

静止画再生中に消去する

再生中の静止画を消去します。

① 静止画再生中 静止画メニュー ➤「Delete」を順に選ぶ。
②「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 再生中の静止画が消去され、次の静止画が再生される。
- カスタムピクチャーが一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーも消去される。

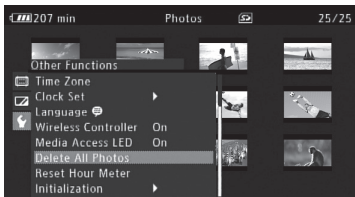
③ SETを押す。

静止画インデックス画面で静止画を消去する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を消去します。

① 消去する静止画を選ぶ。
② 静止画メニュー ＞「Delete」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 選択した静止画が消去される。
- カスタムピクチャーが一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーも消去される。

④ SETを押す。

すべての静止画を消去する

① Other Functionsメニュー ＞「Delete All Photos」を順に選ぶ。
②「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
- SDカードに記録されているすべての静止画が消去される。

中止するとき
CANCELを押す。

③ SETを押す。

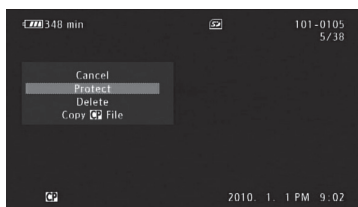
一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。

プロテクトしている静止画は消去できません。

■ 静止画をプロテクトする CAMERA MEDIA

大切な静止画を1枚ずつプロテクト（保護）することができます。プロテクトされた静止画は消去できません。静止画をプロテクトすると、同時に記録したカスタムピクチャーも保護されます。静止画の保護は、静止画再生画面と静止画インデックス画面で行うことができます。

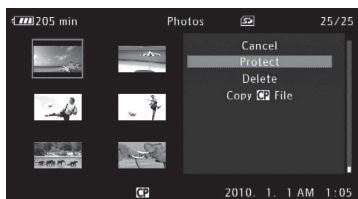
静止画再生中にプロテクトする

再生中の静止画をプロテクトします。

① 静止画再生中 静止画メニュー ＞「Protect」を順に選ぶ。
② 「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 再生中の静止画がプロテクトされ、画面左下にが表示される。
- カスタムピクチャーが一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーもプロテクトされる。

プロテクトを解除するとき

①で「Unprotect」を選ぶ。

静止画インデックス画面で静止画をプロテクトする

静止画インデックス画面で選んだ静止画をプロテクトします。

① プロテクトする静止画を選ぶ。
② 静止画メニュー ＞「Protect」を順に選ぶ。
③ 「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 選択した静止画がプロテクトされ、サムネイルの左下にが表示される。
- カスタムピクチャーが一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーもプロテクトされる。

プロテクトを解除するとき

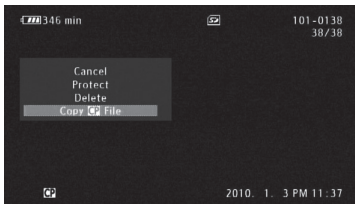
②で「Unprotect」を選ぶ。

静止画をプロテクトしても、SDカードを初期化すると、すべての静止画が消去されます。

カスタムピクチャーをコピーする　CAMERA MEDIA

静止画と一緒に記録したカスタムピクチャーの設定を本機にコピーすることができます。コピーは、静止画再生画面と静止画インデックス画面で行うことができます。

再生中の静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーをコピーする

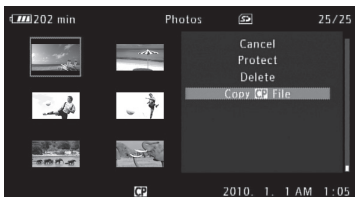
再生中の静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーを本機にコピーします。コピー先は、本機のカスタムピクチャーのうちC1 ～ C9から選択できます。

① 静止画再生中 静止画メニュー ＞「Copy CP File」を順に選ぶ。
- CP Data 1/3画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
- ジョイスティックを上下に押すと、CP Data 2/3画面またはCP Data 3/3画面に切り換わり、その他の設定内容が表示される。

② ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーを選ぶ ＞ SETを押す。
- 「C1」～「C9」からコピー先を選ぶ。

③「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 再生中の静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーがコピーされる。

④ SETを押す。

静止画インデックス画面で静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーをコピーする

静止画インデックス画面で選んだ静止画と一緒に記録されてい るカスタムピクチャーをコピーします。

① カスタムピクチャーをコピーする静止画を選ぶ。

② 静止画メニュー ＞「Copy CP File」を順に選ぶ。
- CP Data 1/3画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
- ジョイスティックを上下に押すと、CP Data 2/3画面またはCP Data 3/3画面に切り換わり、その他の設定内容が表示される。

③ ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーを選ぶ ＞ SETを押す。
- 「C1」～「C9」からコピー先を選ぶ。

④「OK」を選ぶ ＞ SETを押す。
- 選択した静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーがコピーされる。

⑤ SETを押す。

- プロテクトされたカスタムピクチャーをコピー先に選択することはできません。
- カスタムピクチャーのC7 ～ C9は初期状態ではプロテクトされています。

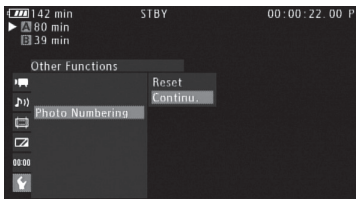
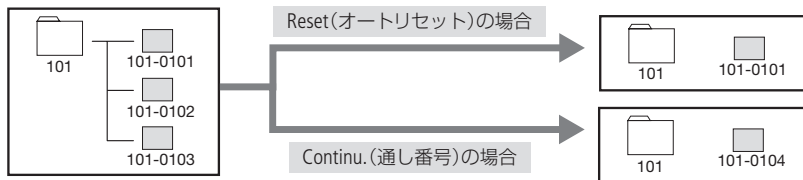
静止画番号をリセットする CAMERA MEDIA

個々の静止画に付けられる番号（静止画番号）の付けかたを選びます。撮影された静止画は、自動的に101-0101、101-0102、101-0103のように順に番号が付けられ、SDカード内のフォルダーに保存されます。静止画番号の付けかたには次の2種類があります。通常は「Continu.（通し番号）」に設定しておくことをおすすめします。

Reset（オートリセット）：初期化されたメモリーに記録する場合、静止画番号は常に101-0101から始まる。SDカード内にすでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

Continu.（通し番号）：静止画番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。ただし、SDカードに記録されている静止画番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

静止画番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号（上3桁）と静止画固有の番号（下4桁）を表しています*。1つのフォルダーには100枚までの静止画を保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。 * 静止画番号の範囲は、上3桁が101 ～ 998、下4桁が0101 ～ 9900です。

例：3枚記録したメモリーカードを、別のカードに入れ換えて記録する場合

① Other Functionsメニュー ➤「Photo Numbering」を順に選ぶ。
②「Reset」または「Continu.」を選ぶ ➤ SETを押す。

静止画が記録されたカードをパソコンで見ると、静止画番号が「101-0107」の静止画は、「DCIM￥101CANON」というフォルダーの中に「IMG_0107.JPG」というファイル名で表示されます。

8 メニュー

メニュー一覧 CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニューの階層と設定項目の詳細について説明します。メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」(□ 28)をご覧ください。

メニューの階層

MENUボタンを押すと、画面左側に次のメニューのアイコンが表示されます。

	Camera Setupメニュー：	ゲインやフォーカスなど撮影に関する設定を行う。	▶▶ □ 183
	Audio Setupメニュー：	音声の入出力に関する設定を行う。	▶▶ □ 186
	Video Setupメニュー：	映像出力に関する設定を行う。	▶▶ □ 187
	LCD/VF Setupメニュー：	液晶画面やファインダーに関する設定を行う。	▶▶ □ 187
00:00	TC/UB Setupメニュー／User Bit Setupメニュー：	タイムコードやユーザービットに関する設定を行う。	▶▶ □ 190
	Other Functionsメニュー：	その他、上記以外の設定を行う。	▶▶ □ 190

MENU
- Camera Setup *1
  - Light Metering
  - AE Shift
  - AGC Limit
  - Gain
  - Shutter
  - ND Filter
  - White Balance
  - AF Mode
  - Focus Limit
  - OIS Functions
    - Axis Shift
    - Image Stabilizer
  - Zoom
  - Tele-converter
  - Flicker Reduction
  - Conversion Lens
  - Color Bars
  - Infrared
  - Custom Picture
- Audio Setup
  - Audio Input *1
    - XLR Rec channel
    - Int. Mic Low Cut
    - Int. Mic Sensitivity
    - Int. Mic Att.
    - XLR1 Mic Trimming
    - XLR2 Mic Trimming
    - XLR1 Mic Att.
    - XLR2 Mic Att.
    - XLR ALC Link
    - Limiter
    - 1 kHz Tone
  - Audio Output*3
    - Monitor Delay *1
    - Channel
    - Level
    - Headphone Volume
    - Speaker Volume *2
- Video Setup
  - XF105 SDI Output
  - Component Output
  - HD Onscreen Disp.
  - SD Onscreen Disp.
  - SD Output
- LCD/VF Setup
  - LCD Setup
  - VF Setup
  - LCD/VF B&W
  - LCD/VF Simul.
  - Peaking *1
    - Select
    - Peaking 1
    - Peaking 2
  - Zebra *1
    - Select
    - Zebra 1 Level
    - Zebra 2 Level
    - HD Output
  - Markers *1
  - Audio Level *1
  - Custom Display 1 *1
  - Custom Display 2 *1
  - Metadata Display *4
- TC/UB Setup *1
  - Time Code
  - User Bit
- XF105 User Bit Setup *4
  - Output Mode
- Other Functions
  - Reset
  - Transfer Menu
  - Time Zone
  - Clock Set
  - WFM (LCD) *3
  - Language
  - Wireless Controller
  - Assign Button *3
  - Custom Key/Dial *1
  - Tally Lamp *1
  - Media Access LED
  - XF105 Genlock/TC Term. *1
  - XF105 Genlock Adjust. *1
  - Relay Rec *1
  - Double Slot Rec *1
  - Bit Rate/Resolution *1
  - Frame Rate *1
  - Special Rec *1
  - Interval Rec *1
  - Frame Rec *1
  - Slow & Fast Motion *1
  - Clips *3
  - Delete All OK Marks *2
  - Rec Review *1
  - Set Metadata *1
  - XF105 SDI Rec Command *1
  - Photo Numbering *3
  - Add CP File *1
  - Delete All Photos *5
  - Custom Function *1
  - Reset Hour Meter
  - Initialization
  - Firmware *1

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。
*3 メディアモードの静止画インデックス画面以外。
*4 メディアモード(静止画インデックス画面を除く)のみ。
*5 メディアモードの静止画インデックス画面のみ。

■ メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。

Camera Setupメニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Light Metering		Backlight、**Standard**、Spotlight、	測光方式を設定する。 Backlight： 逆光時の暗部をより明るく制御する。 Standard： 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 Spotlight： スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。	73
AE Shift		+2.0、+1.5、+1.25、+1.0、+0.75、+0.5、+0.25、**±0**、－0.25、－0.5、－0.75、－1.0、－1.25、－1.5、－2.0	AEレベルを15段階で調整する。	72
AGC Limit		**Off/24 dB**、21dB、18 dB、15 dB、12 dB、9 dB、6 dB、3 dB	AGCがONの場合、ゲインの最大値を制限するときの最大値を設定する。	65
Gain	L	Fine Tuning、33.0 dB、24.0 dB、18.0 dB、12.0 dB、6.0 dB、3.0 dB、**0.0 dB**、－3.0 dB、－6.0 dB	GAIN（ゲイン）スイッチをLにしたときのゲインを設定する。Fine Tuning（ファインチューニング）は、0 ～ 24 dBの範囲を0.5 dB刻みで設定できる。	66
	M	Fine Tuning、33.0 dB、24.0 dB、18.0 dB、12.0 dB、**6.0 dB**、3.0 dB、0.0 dB、－3.0 dB、－6.0 dB	GAIN（ゲイン）スイッチをMにしたときのゲインを設定する。Fine Tuning（ファインチューニング）は、0～24 dBの範囲を0.5 dB刻みで設定できる。	66
	H	Fine Tuning、33.0 dB、24.0 dB、18.0 dB、**12.0 dB**、6.0 dB、3.0 dB、0.0 dB、－3.0 dB、－6.0 dB	GAIN（ゲイン）スイッチをHにしたときのゲインを設定する。Fine Tuning（ファインチューニング）は、0 ～ 24 dBの範囲を0.5 dB刻みで設定できる。	66

設定項目	詳細項目	設定値	内容	
Shutter	**Automatic** Speed Angle Clear Scan Slow		シャッタースピードのモードを設定する。	
ND Filter	**Automatic** Off		NDフィルター制御のAuto/Offを切り換えることができる。Automaticに設定すると光量の状態を1/2、1/4、1/8で表示する。	
White Balance		**Daylight**、 Tungsten、 Kelvin	ホワイトバランスをプリセット設定で調整するか色温度設定で調整するときに、使用する調整方法を選ぶ。 Daylight： 屋外（5400Kの太陽光） Tungsten：屋内（3200Kの電球） Kelvin： 色温度設定	75
AF Mode	Speed	**High**、 Medium、 Normal	オートフォーカスのモードを設定する。 High： ハイスピードAF。外部センサーを併用して高速でAF動作を行う。 Medium： Highに比べてより滑らかなAF動作を行う。 Normal： 安定したAF動作を行う。	61
	Face AF	Face Pri.、Face Only、**Off**	顔検出AFのFace Pri./Face Only/Offを切り換える。	62
Focus Limit		On、**Off**	フォーカスリミットをOn/Offする。 On：1m ～∞（テレ～ワイド全域）の範囲でフォーカス調整できる。 Off：2cm（ワイド側）～∞の範囲でフォーカス調整できる。	63
OIS Functions		Axis Shift	光軸調整を設定する。	115
		Img Stab.	手ブレ補正を設定する。	
		Off		
Axis Shift	Reset		レンズを中心位置にリセットする。	
	Adjust		光軸調整を設定する。	
	GUI Color	Yellow、 Green	調整方向を示す矢印の色を選ぶ。	
Image Stabilizer		Dynamic、 **Standard**	手ブレ補正の方式を選ぶ。 Dynamic： 歩きながらの撮影など。 Standard：静止して手持ちで撮影するときなど。	64

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Zoom	Speed Level	Fast、 **Normal**、 Slow	ズームをハンドル／グリップのロッカーまたはリモコンで操作するときのスピードレベルを設定する。	80
	Soft Zoom Control	Both、 Stop、 Start、 **Off**	ズームスタート時の加速、ズームストップ時の減速を緩やかにする。 Both：スタート／ストップを有効にする。 Stop：ストップのみ有効にする。 Start：スタートのみ有効にする。 ズームをハンドル／グリップのロッカーまたはリモコンで操作するときに設定する。	79
	Grip Rocker	Constant、 **Variable**	グリップロッカーのズーム操作を固定速と可変速で切り換える。 Constant： 固定速 Variable： 可変速	80
	Constant Speed	1～16（**8**）	Grip RockerがConstantのときに、固定速のズームスピードを16段階から選ぶ。	80
	Handle Rocker	OFF、1～16（**8**）	ハンドルズームのズームスピード（固定速）を選ぶ。	81
	Wireless Controller	1～16（**8**）	ズームスピードが固定速となるリモコンのズームスピードを16段階から選ぶ。	82
	Focal Length Guide	Set To 0、 **Off**	本機を2台使用した場合の3Dアシスト機能。0にセットしたズーム位置を基準とし、ズーム操作した焦点距離位置を数値として表示する。	
Tele-converter		6.0x、3.0x、 1.5x、**Off**	焦点距離が約6倍、3倍、1.5倍になる（デジタルズーム）。 ・映像をデジタル処理するため、ズームの全域で映像が粗くなります。	78
Flicker Reduction		Automatic、 **Off**	Automaticにすると、蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正する。	70
Conversion Lens		TL-H58、 WD-H58W、 **Off**	テレコンバーター TL-H58、ワイドコンバーター WD-H58Wを取り付けるときに設定すると、それぞれに適した手ブレ補正、最適な距離表示が行われる。	83
Color Bars	Enable	On、**Off**	Onにするとカラーバーを表示する。	102
	Type	**Type 1**、 Type 2	カラーバーのタイプを選ぶ。 Type 1： SMPTE Type 2： ARIB	
Infrared	Monochrome	**White**、 Green	高輝度部分色を白と緑から選ぶ。	114
	Light	**Toggle**、 Always On、 Always Off	IRライトの発光状態を選択する。 Toggle：Infrared切り換えスイッチに連動 Always On：Infrared On時に強制On Always Off：Infrared On時でも強制Off	
	Slow Shutter	On、**Off**	Infrared スローシャッターを設定する。	68
Custom Picture	CP Select File CP Edit File CP Transfer File		カスタムピクチャーを設定する。	120

メニュー

Audio Setupメニュー

CAMERA | MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Audio Input*[1]	XLR Rec Channel	**CH1**、 CH1/CH2	CH1入力の音声を録音するチャンネルを選ぶ。 CH1： CH1入力をチャンネル1に、CH2入力をチャンネル2に録音する。 CH1/CH2：CH1入力をチャンネル1／チャンネル2の両方に録音する。	97
	Int. Mic Low Cut	**Off**、 LC1、 LC2	内蔵マイクの特性を選ぶ。 Off： 一般的な音を録音するとき。 LC1：人の声を中心に録音するとき。 LC2：風の影響を受ける屋外で撮影するとき。風によるノイズを低減する。	95
	Int. Mic Sensitivity	**Normal**、 High	内蔵マイクの感度を選ぶ。 Normal：通常のレベルの音を録音するとき。 High： より大きな音量で録音するとき。	95
	Int. Mic Att.	On、**Off**	Onにするとマイク信号にアッテネーター（内蔵マイク：12 dB、Φ3.5 mmマイク：20 dB）がかかる。	95
	XLR1 Mic Trimming XLR2 Mic Trimming	+12 dB、+ 6dB、**0 dB**、－6 dB、－12 dB	外部マイク（XLR端子）のCH1またはCH2の入力感度を調整する。	97
	XLR1 Mic Att. XLR2 Mic Att.	On、**Off**	Onにすると、外部マイク（XLR端子）のCH1またはCH2にアッテネーター（20 dB）がかかる。	98
	XLR ALC Link	Linked、 **Separated**	録音レベルをオートで調整する場合、Linkedにすると、XLR端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させることができる。	98
	Limiter	On、**Off**	録音レベルをマニュアルで調整する場合、Onにすると過大な音声入力によるひずみを防止できる。	99
	1 kHz Tone	－12 dB、－18 dB、－20 dB、**Off**	カラーバーと同時にテストトーンを出力するときに設定する。	103
Audio Output*[3]	Monitor Delay*[1]	Line Out、 **Normal**	映像と音声のタイミングを合わせるかどうかを選ぶ。 Normal： リアルタイム（ディレイなし）で音声を出力する。 Line Out：映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。	160
	Channel	**CH1/CH2**、 CH1/CH1、 CH2/CH2、 All/All	音声を出力するチャンネルを選ぶ。 CH1/CH2：出力音声のL chにCH1を、R chにCH2を割り当てる。 CH1/CH1：出力音声のL chとR chの両方にCH1を割り当てる。 CH2/CH2：出力音声のL chとR chの両方にCH2を割り当てる。 ALL/ALL： 出力音声のL chとR chの両方にCH1とCH2をミックスした信号を割り当てる。	160
	Level	**1 Vrms**、 2 Vrms	AV端子の音声出力レベルを選ぶ。2 Vrmsにすると出力レベルが6 dB上がる。	161
	Headphone Volume*[3]	Off、1 ～ 16（**8**）	ヘッドホンのボリュームを調整する。	
	Speaker Volume*[2]	Off、1 ～ 15（**8**）	スピーカーの音量を調整する。	140

*[1] カメラモードのみ。
*[2] メディアモードのみ。
*[3] メディアモードの静止画インデックス画面以外。

Video Setupメニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
XF105 SDI Output		HD、 SD、 **Off**	HD/SD SDI端子に出力する信号を選ぶ。 HD：HD SDI出力。 SD： SD SDI出力。 Off：HD/SD SDI端子から信号を出力しない。	158
Component Output		**HD**、 SD	HD/SD COMPONENT OUT端子に出力する信号を選ぶ。 HD：HD出力。 SD： SD出力。	158
HD Onscreen Disp.		On、**Off**	Onにすると、HD出力に画面表示を重畳する。	159
SD Onscreen Disp.		On、**Off**	Onにすると、SD出力に画面表示を重畳する。	
SD Output		**Squeeze**、 Letterbox、 Side Crop	HD映像（16:9）をSD出力するときの表示方式を選ぶ。 Squeeze： 左右方向に縮小して4:3にする。 Letterbox： 上下に黒い帯を追加して4:3にする。 Side Crop： 両端を切り取って4:3にする。	159

LCD/VF Setupメニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
LCD Setup	Brightness	−99 ～ 99（**0**）	液晶画面の明るさを調整する。	33
	Contrast	−99 ～ 99（**0**）	液晶画面のコントラストを調整する。	
	Color	−20 ～ 20（**0**）	液晶画面のカラーを調整する。	
	Sharpness	1 ～ 4（**2**）	液晶画面のシャープネスを調整する。	
	Backlight	**Normal**、 Bright	液晶画面のバックライトの明るさを選ぶ。Brightにすると明るくなる。	
VF Setup	Brightness	−99 ～ 99（**0**）	ファインダーの明るさを調整する。	33
	Contrast	−99 ～ 99（**0**）	ファインダーのコントラストを調整する。	
	Color	−3 ～ 3（**0**）	ファインダーのカラーを調整する。	
	Backlight	**Normal**、 Bright	ファインダーのバックライトの明るさを選ぶ。Brightにすると明るくなる。	
LCD/VF B&W		On、**Off**	液晶画面とファインダーをモノクロ表示にする。	34
LCD/VF Simul.		On、**Off**	Onにすると、液晶画面とファインダーを同時に使用できる。	33
Peaking*1		On、**Off**	Onにすると、Selectで選んだピーキングが表示される。	59
Select*1		**Peaking 1**、 Peaking 2	表示するピーキングの種類を選ぶ。	
Peaking 1*1	Color	**White**、Red、 Yellow、Blue	ピーキング1の色を選ぶ。	59
	Gain	Off、1 ～ 15（**8**）	ピーキング1のゲインを選ぶ。	
	Frequency	1 ～ 4（**2**）	ピーキング1の周波数を選ぶ。	
Peaking 2*1	Color	White、**Red**、 Yellow、Blue	ピーキング2の色を選ぶ。	59
	Gain	Off、1～15（**15**）	ピーキング2のゲインを選ぶ。	
	Frequency	1 ～ 4（**1**）	ピーキング2の周波数を選ぶ。	

メニュー

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Zebra*1		On、**Off**	Onにすると、Selectで選んだゼブラパターンが表示される。	85
Select*1		**Zebra 1**、 Zebra 2、 Zebra 1&2	表示するゼブラパターンの種類を選ぶ。 Zebra 1： 設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターンを表示する。 Zebra 2： 設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターンを表示する。 Zebra 1&2：ゼブラパターン1と2を同時に表示する。	
Zebra 1 Level*1		**70 ±5%**、 75 ±5%、 80 ±5%、 85 ±5%、 90 ±5%、 95 ±5%	ゼブラパターン1の輝度レベルを6段階から選ぶ。	
Zebra 2 Level*1		70%、75%、80%、 85%、90%、95%、 **100%**	ゼブラパターン2の輝度レベルを7段階から選ぶ。	
HD Output*1		On、**Off**	Onにすると、ゼブラパターンがHD/SD SDI端子（XF105）、HDMI OUT端子、HD/SD COMPONENT OUT端子に出力される。	86
Markers*1	Enable	On、**Off**	すべてのマーカーの表示をOn/Offする。	84
	Center	White、Gray、 **Off**	センターマーカーの色を選ぶ。Offにするとセンターマーカーは表示されない。	
	Horizontal	White、Gray、 **Off**	センターマーカーの色を選ぶ。Offにするとセンターマーカーは表示されない。	
	Grid	White、Gray、 **Off**	グリッドの色を選ぶ。Offにするとグリッドは表示されない。	
	Safety Zone	White、Gray、 **Off**	セーフティゾーンの色を選ぶ。Offにするとセーフティゾーンは表示されない。	
	Safety Zone Area	80%、90%、 92.5%、**95%**	セーフティゾーンのエリアを選ぶ。	
	Aspect Marker	White、Gray、 **Off**	アスペクトマーカーの色を選ぶ。Offにするとアスペクトマーカーは表示されない。	
	Aspect Ratio	4:3、13:9、14:9、 1.66:1、1.75:1、 1.85:1、**2.35:1**	アスペクトマーカーのアスペクト比を選ぶ。	
Audio Level *1		**On**、Off	Onにすると、オーディオレベルメーターを表示する。	52
Custom Display 1*1	Zoom Position	Always On、 **Normal**、 Off	ズーム位置の表示のしかたを選ぶ。 Always On：常に表示する。 Normal： 操作時のみ表示する。	52
	Light Metering	**On**、Off	Onにすると、測光方式がBacklightまたはSpotlightのときに、それぞれ[icon]または[icon]アイコンを表示する。	
	Custom Picture	**On**、Off	Onにすると、カスタムピクチャーアイコンを表示する。	
	ND Filter	**On**、Off	Onにすると、ND1/2、ND1/4またはND1/8を表示する。	
	Focus Mode	**On**、Off	Onにすると、S.AFなどのフォーカスモードアイコンを表示する。	
	Object Distance	Always On、 **Normal**、 Off	被写体距離の表示のしかたを選ぶ。 Always On：常に表示する。 Normal： 操作時のみ表示する。	52

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Custom Display 1*[1]	Full Auto/Lock	**On**、Off	Onにすると、Full Auto（フルオート）またはLOCK（ロック）を表示する。	52
	Infrared	**On**、Off	Onにすると、InfraredまたはInfrared OFFを表示する。	
	White Balance	**On**、Off	Onにすると、ホワイトバランスの設定を表示する。	
	Exposure	**On**、Off	Onにすると、露出バーを表示する。	
	Iris	**On**、Off	Onにすると、アイリスの設定を表示する。	
	Gain	**On**、Off	Onにすると、ゲインの設定を表示する。	
	Shutter	**On**、Off	Onにすると、シャッタースピードの設定を表示する。	
	Conversion Lens	**On**、Off	OnにするとTLまたはWDを表示する。	
	Tele-converter	**On**、Off	Onにすると、1.5x 3.0x 6.0x（倍率）アイコンを表示する。	
	Peaking	**On**、Off	Onにすると、PEAK1 ／ PEAK2（ピーキング）アイコンを表示する。	
	Magnification	**On**、Off	Onにすると、MAGN.（拡大表示）アイコンを表示する。	
	OIS Functions	**On**、Off	OnにするとAxisまたは手ブレ補正アイコンを表示する。	
Custom Display 2*[1]	Remaining Battery	Warning、**Normal**、Off	バッテリー残量の表示のしかたを選ぶ。 Normal： 常に表示する。 Warning：警告時のみ表示する。	
	Remaining Rec Time	Warning、**Normal**、Off	残りの記録可能時間の表示のしかたを選ぶ。 Normal： 常に表示する。 Warning：警告時のみ表示する。	
	Rec Mode	**On**、Off	Onにすると、記録モードを表示する。	
	Genlock	**On**、Off	OnにするとGen.（ゲンロック）アイコンを表示する。	
	Time Code	**On**、Off	Onにすると、タイムコードを表示する。	
	Interval Counter	**On**、Off	Onにすると、インターバルRecのカウントダウン表示を行う。	
	SD Card Status	Warning、**Normal**、Off	SDカードの状態表示のしかたを選ぶ。 Normal： 常に表示する。 Warning：警告時のみ表示する。	
	Bit Rate/Resolution	**On**、Off	Onにすると、ビットレートと解像度を表示する。	
	Frame Rate	**On**、Off	Onにすると、フレームレートを表示する。	
	Character Rec	**On**、Off	Onにすると、CHAR.REC（表示文字記録）アイコンを表示する。	
	Wireless Controller	**On**、Off	Onにした場合、Other Functionsメニューの「Wireless Controller」を「Off」に設定して、リモコン（付属）から操作すると、（リモコン）アイコンを表示する。	
	Output Display	On, **Off**	Onにすると、ビデオ出力端子に画面表示を重畳することを示すDISPアイコンを表示する。	
	SDI Rec Command	**On**、Off	Onにすると、SDI記録コマンド状態を表示する。	
	User Memo	**On**、Off	Onにすると、MEMO（ユーザーメモ）アイコンを表示する。	
	User Bit	**On**、Off	Onにすると、ユーザービットを表示する。	
	Audio Output CH	**On**、Off	OnにするとCH/CH2 ／ CH1/CH1 ／ CH2/CH2 ／ All/Allを表示する。	
	Date/Time	Date/Time、Time、Date、**Off**	日時の表示のしかたを選ぶ。	
Metadata Display*[2]	Date/Time	On、**Off**	Onにすると、クリップの再生中に日時を表示する。	139
	Camera Data	On、**Off**	Onにすると、クリップの再生中にカメラデータ（シャッタースピード、F値、ゲイン）を表示する。	

*[1] カメラモードのみ。
*[2] メディアモード（静止画インデックス画面を除く）のみ。

TC/UB Setupメニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Time Code	Mode	**Preset**、 Regen.	タイムコードのカウントアップ方式を選ぶ。 Preset： Settingで設定した任意のタイムコードから歩進する。 Regen.：メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。	87
	Run	**Rec Run**、 Free Run	ModeがPresetのときの歩進方法を選ぶ。 Rec Run： 記録時に歩進する。 Free Run：記録に関係なく常に歩進する。	
	DF/NDF	**DF**、 NDF	ドロップフレーム（DF）またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換える。フレームレートが24PのときはNDFに固定される。	88
	Setting	Set、Reset	タイムコードの初期値を設定する。	87
User Bit	XF105 Rec Mode	**Internal**、 External	記録するユーザービットを選ぶ。 Internal： 本機で設定したユーザービット。 External：外部入力したユーザービット。	90
	XF105 Output Mode	**Fixed**、 Pulldown	出力するユーザービットを選ぶ。 Fix： 設定したユーザービット。 Pulldown：2:3プルダウン情報。	
	Type	**Setting**、 Time、 Date	ユーザービットを設定する。 Setting：8桁の16進数を任意に入力する。 Time： ユーザービットに時間を設定する。 Date： ユーザービットに日付を設定する。	

XF105 User Bit Setupメニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Output Mode		**Fixed**、 Pulldown	TC/UB Setupメニュー ＞ User BitのOutput Modeと同じ。	93

Other Functionsメニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Reset	All Settings	**Cancel**、OK	Hour Meter以外の本機の設定を初期状態に戻す。	205
	Camera Settings	**Cancel**、OK	ホワイトバランス、IRIS、AF、ゲインをオート、シャッタースピードをOFF、Camera Setupメニュー、カスタムピクチャーを初期状態に戻す。	—
	Assignable Buttons	**Cancel**、OK	アサインボタンの割り当て状態を初期状態に戻す。	118
Transfer Menu	Save To SD	**Cancel**、OK	メニュー設定とカスタムピクチャー（本機に保存されている9セット）をSDカードに保存する。	133
	Load From SD	**Cancel**、OK	メニュー設定とカスタムピクチャー（本機に保存されている9セット）をSDカードから本機に読み込む。	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Time Zone		UTC －12:00 ～ +14:00 (**UTC+09:00**)	タイムゾーンを設定する。	27
Clock Set	Date/Time	日付・時間	日付と時間を設定する。	27
	Date Format	**YMD**、YMD/24H、MDY、MDY/24H、DMY、DMY/24H	日時の表示のしかたを選ぶ。	
WFM (LCD) *3	Setting	WFM、Edge Mon.*1、**Off**	映像信号を確認するモニターの表示を選ぶ。 WFM： 波形モニターを表示する。 Edge Mon.：エッジモニターを表示する。	104
	Waveform Monitor	**Line**、Line+Spot、Field、RGB、YPbPr	波形モニターのタイプを選ぶ。	104
	Gain	**1x**、2x	波形モニターの波形のゲインを選ぶ。	
	Edge Monitor*1	**Type 1**、Type 2	エッジモニターのタイプを選ぶ。 Type 1：水平方向の全体のエッジ成分とスポット（3箇所）のエッジ成分を重ねて、水平方向の位置を合わせて表示する。 Type 2：波形モニターとエッジモニターを同時に画面右下に表示する。	105
Language 💬		English、**日本語**	表示されるメッセージの言語を選ぶ。	—
Wireless Controller		**On**、Off	Onにすると、リモコン（付属）が有効になる。	36
Assign Button*3	1	**Powered IS**	アサインボタン1 ～ 10に機能を割り当てる。次の機能を割り当てることができる。各機能の詳細について（📖 118） (NONE), Img Stab., Powered IS, Focus Limit, Face AF, Select Face, Backlight, Spotlight, Tele-converter, Peaking, Zebra, WFM (LCD), Magnification, TL-H58, WD-H58W, Color Bars, IR Monochrome, IR Light, Markers, LCD Setup, LCD/VF B&W, Onscreen Display, Shot Mark 1, Shot Mark 2, Add OK Mark, Add ☑ Mark, Time Code, Time Code Hold, Audio Output CH, Audio Level, Wireless Controller, Photo, Delete Last Clip, Status	118
	2	**Zebra**		
	3	**WFM (LCD)**		
	4	**MAGN.**		
	5 ～ 10*1	**(NONE)**		
Custom Key / Dial	Normal	**Iris(ND)**、Face AF、Headphone Volume、Tele-converter、Off	Normalモード時にカスタムキーまたはカスタムダイヤルで使用する機能を選ぶ。	
	Infrared	**IR Light**、Headphone Volume、Tele-converter、Off	Infraredモード時にカスタムキーまたはカスタムダイヤルで使用する機能を選ぶ。	
Tally Lamp*1	Front	**On**、Off	Onにすると、撮影中に前部タリーランプが点灯する。	49
	Rear	**On**、Off	Onにすると、撮影中に後部タリーランプが点灯する。	

メニュー

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Media Access LED		**On**、Off	Onにすると、CFカード／ SDカードにアクセスしたときに、アクセスランプ／ SDカードアクセスランプが点灯する。	41
XF105 Genlock/TC Term.		**Gen/TC In**、TC Out	Genlock/TC端子の入／出力を切り換える。	91
XF105 Genlock Adjust		-1023 ～ 1023（**0000**）	ゲンロックのH位相を、位相差0を中心として約±0.4H（HD換算）の範囲で調整する。	91
Relay Rec		**On**、Off	リレー記録のOn/Offを切り換える。	44
Double Slot Rec		On、**Off**	ダブルスロット記録のOn/Offを切り換える。	
Bit Rate/ Resolution*1		**50 Mbps 1920x1080**、50 Mbps 1280x720、35 Mbps 1920x1080、35 Mbps 1280x720、25 Mbps 1440x1080	ビットレートと解像度を選ぶ。	55
Frame Rate*1		**60i**、60P、30P、24P	フレームレートを選ぶ。解像度によって選択できるフレームレートが異なる。	55
Special Rec*1		Interval Rec、Frame Rec、Pre Rec、Slow & Fast Motion、**Off**	特殊記録モードを選ぶ。 Interval Rec： インターバルRec Frame Rec： フレームRec Pre Rec： プレRec Slow & Fast Motion：スロー &ファーストモーション記録	108
Interval Rec*1	Interval	**1** ～ 10、15、20、30、40、50 sec、1 ～ 10 min	インターバルRecの記録時間間隔を選ぶ。	108
	Rec Frames	60i、30P時：**1**、3、6、9 60P、24P時：**2**、6、12	インターバルRecの記録フレーム数を選ぶ。	
Frame Rec*1	Rec Frames	60i、30P時：**1**、3、6、9 60P、24P時：**2**、6、12	フレームRecの記録フレーム数を選ぶ。	110
Slow & Fast Motion*1	S&F Frame Rate	解像度1080時：12、15、18、20 ～ 22、24 ～ 28、30 解像度720時：12、15、18、20 ～ 22、24 ～ 28、30、32、34、36、40、44、48、54、60	スロー &ファーストモーション記録の撮影フレームレートを選ぶ。解像度によって選択できる撮影フレームレートが異なる。	111

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Clips*3	Title Prefix*1	**AA** ～ ZZ	記録したクリップに付けられるクリップ名を構成する2桁の英字（大文字）を設定する。	51
	Number Setting*1	Set、Reset	記録したクリップに付けられるクリップ名を構成する4桁の数字を設定する。 Set：　設定した数字を初期値に設定する。 Reset：0001にリセットする。	
	Delete Last Clip*1	OK、Cancel	OKを選び、SETを押すと、最後に記録したクリップを消去する。	50
	Copy All Clips*4	OK、Cancel	OKを選び、SETを押すと、現在選択しているCFカードのクリップを、もう一方のCFカードにすべてコピーする。	147
	Copy OK Clips*5	OK、Cancel	OKを選び、SETを押すと、現在選択しているCFカードのOKクリップを、もう一方のCFカードにすべてコピーする。	147
	Delete All Clips*4	OK、Cancel	OKを選び、SETを押すと、現在選択しているCFカードのクリップをすべて消去する。	148
Delete All OK Marks *5		OK、Cancel	OKを選びSETを押すと、現在選択しているCFカードのクリップに付加されているOKマークをすべて消去する。	146
Rec Review*1		**Entire Clip**、Last 4 sec	レックレビューで再生する範囲を選ぶ。 Entire Clip：クリップの先頭からすべて。 Last 4 sec：クリップの最後の4秒間のみ。	107
Set Metadata*1	User Memo	**Off**、ファイル選択	SDカードに記録されているユーザーメモファイルを選ぶ。Offにすると、ユーザーメモは記録されない。	101
	Country Code	4文字の文字列	国コードとして、ISO-3166-1で定義している短縮文字を左詰めで入力する。 使用可能文字：A ～ Z、0 ～ 9、+、ー、:、スペース	101
	Organization	4文字の文字列	各組織で運用する組織コード*を入力する。 * 組織コードは、SMPTE登録局に申請後、取得して初めて使用できるものです。取得していないときは「0000」を入力してください。 使用可能文字：A ～ Z、0 ～ 9、+、ー、:、スペース	
	User Code	4文字の文字列	ユーザーの識別用のコードを入力する*。 * 運用の方法は、ユーザーに任されていますが、組織コードに「0000」を入力したときは、入力しないでください。 使用可能文字：A ～ Z、0 ～ 9、+、ー、:、スペース	
XF105 SDI Rec Command*1		On、**Off**	Onにして、本機と他機をHD/SD SDI端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（START/STOPボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができる。	50
Photo Numbering*3		Reset、**Continu.**	静止画番号の付け方を選ぶ。 Reset：　オートリセット。静止画番号は101-0101またはSDカード内に記録されている静止画の続きの番号になる。 Continu.：静止画番号は最後に記録した静止画の続きの番号になる。	180
Add CP File*1	To Clip	**On**、Off	Onにすると、クリップと一緒にカスタムピクチャーが保存される。	125
	To Photo	**On**、Off	Onにすると、静止画と一緒にカスタムピクチャーが保存される。	
Delete All Photos*6		OK、Cancel	OKを選び、SETを押すと、SDカードに記録されているすべての静止画を消去する。	177

メニュー

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Custom Function*1	Shockless Gain	Fast、Normal、Slow、**Off**	ゲインスイッチでゲインを切り換えたときの、ゲイン変化の速さを設定する。	66
	Shockless WB	On、**Off**	Onにすると、ホワイトバランスを切り換えたときの色温度変化をなめらかにする。	75
	AE Response	Fast、**Normal**、Slow	AEの応答性を選ぶ。	71
	Iris Limit	On、**Off**	Onにすると、絞り（設定可能F値）の最大値をF8.0に制限する。	72
	I. Ring Direction	Reverse、**Normal**	マニュアルリング（アイリス）の操作方向を設定する。	71
	F. Ring Direction	Reverse、**Normal**	マニュアルリング（フォーカス）の操作方向を設定する。	58
	Z. Ring Direction	Reverse、**Normal**	マニュアルリング（ズーム）の操作方向を設定する。	78
	F. Ring Control	Fast、**Normal**、Slow	マニュアルリング（フォーカス）の敏感度を設定する。	58
	Z. Ring Control	Fast、**Normal**、Slow	マニュアルリング（ズーム）の敏感度を設定する。	78
	F. Assist. B&W	Both、Magnify、Peaking、**Off**	フォーカスアシスト機能（ピーキング、拡大表示）を使うときに、画面を自動的にモノクロにするかどうかを設定する。外部出力には影響しません。 Magnify：拡大表示を使用時に画面をモノクロにする。 Peaking：ピーキングを使用時に画面をモノクロにする。 Both：拡大表示またはピーキングを使用時に画面をモノクロにする。	59
	Obj. Dist. Unit	**Meters**、Feet	マニュアルフォーカス時に表示する被写体距離の単位を選ぶ。	59
	Zoom Indicator	**Bar**、Number	ズーム位置表示のしかたを選ぶ。 Bar：ズームバーと指標で表示。 Number：0 ～ 99の数値で表示。	79
	ZR-2000 AE Shift	**AE Shift**、Iris	ズームリモートコントローラー ZR-2000（別売）からの操作で、AEレベル調整を行うかアイリス調整を行うかを選ぶ。	72 72
	Scan Reverse Rec	Both, Vertical, Horizontal, **Off**	映像を上下左右反転、上下反転、左右反転させて記録する。 Both：上下左右反転 Vertical：上下反転 Horizontal：左右反転	32
	Character Rec	On、**Off**	Onにすると、画面上に表示さている文字やアイコンなどを映像に重ねて記録する。	—
Reset Hour Meter		OK、Cancel	ビデオカメラ本体の使用時間として、購入時からの使用時間と、最後にこの設定でリセットしたときからの使用時間とがある。Reset Hour Meterでは、最後にリセットしたときからの使用時間をリセットする。	201
Initialization	CF A	OK、Cancel	CF Aスロットに入っているCFカードを初期化する。	43
	CF B	OK、Cancel	CF Bスロットに入っているCFカードを初期化する。	
	SD Card	Complete、Quick	SD CARD（SDカード）スロットに入っているSDカードを初期化する。	
Firmware*1		Version No.	ファームウェアのバージョン。	—

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。
*3 メディアモードの静止画インデックス画面以外。
*4 メディアモードのオリジナルインデックス画面のみ。
*5 メディアモードのオリジナルインデックス画面またはOKインデックス画面のみ。
*6 メディアモードの静止画インデックス画面のみ。

その他

ステータス画面を表示する CAMERA MEDIA

撮影や再生に関する様々な設定内容や状態をステータス画面に表示して確認することができます。ステータス画面は、外部モニター（□ 157）に出力することもできます。次にあげるステータス画面を表示することができます。

ステータス画面の名称	表示内容	動作モード		□
		カメラ	メディア	
カメラ	ゲイン、フォーカス、ズームなどの撮影設定。	●	–	197
アサインボタン／リモコン	アサインボタンとリモコン設定。	●	●	197
オーディオ	オーディオ設定。	●	●	198
メディア	記録メディア（CFカード、SDカード）の状態。	●	●	199
ビデオ	ビデオ出力端子の設定や特殊記録の設定。	●	●	200
ユーザーメモ	クリップタイトル、撮影者名、撮影場所、撮影内容などの情報。	●	–	200
バッテリー／使用時間	バッテリーの残量・寿命や本体の使用時間。	●	●	201
カスタムピクチャー	カスタムピクチャーの設定。3つの画面からなる。	●	–	201

操作のしかた

ここでは、ステータス画面の表示のしかた、確認したい画面への切り換えかた、ステータス画面の消しかたを説明します。

1 STATUS（ステータス表示）を割り当てたアサインボタンを押す（□ 118）

- ステータス画面が表示される。
- 最後にステータス画面を消したときの画面が表示される。

2 ジョイスティックを上下に押す

- 下に押すと次の画面に、上に押すと前の画面に、ステータス画面が切り換わる。

3 STATUS（ステータス表示）を割り当てたアサインボタンを再度押す

- ステータス画面が消える。
- MENU（メニュー）ボタンを押しても、ステータス画面が消え、メニューが表示される。

カメラステータス画面 CAMERA MEDIA

ゲイン、フォーカス、ズームなど撮影に関する設定内容を表示します。

1 ゲイン ➡ 65
2 AGCリミット ➡ 65
3 AFモード ➡ 61
4 ソフトズームコントロール ➡ 79
5 グリップズームロッカー ➡ 80
6 ハンドルズームスピード ➡ 81
7 フリッカー抑制 ➡ 70
8 フォーカスリミット ➡ 63
9 顔検出AF ➡ 62
10 ズームスピードレベル ➡ 80
11 グリップズームロッカーのズームスピード ➡ 80
12 リモコンズームスピード ➡ 82

アサインボタン／リモコンステータス画面 CAMERA MEDIA

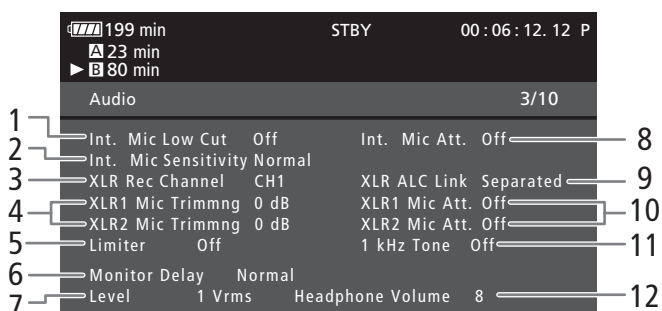
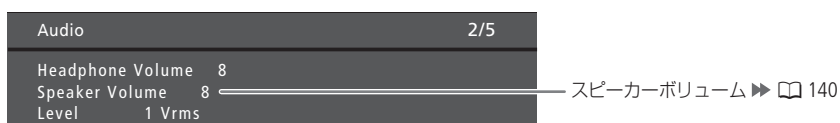
アサインボタンに割り当てられている機能の一覧とリモコン（付属）のOn/Offの状態を表示します。

*CAMERAモード時のみ表示

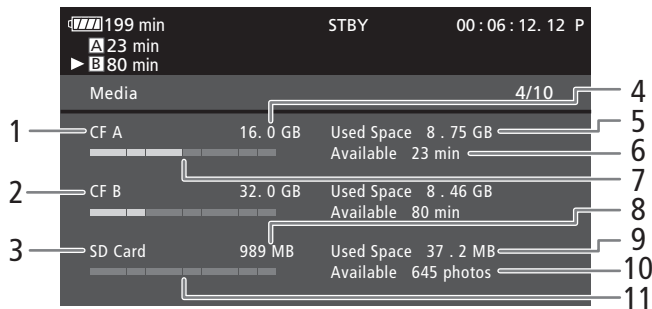
その他

オーディオステータス画面 CAMERA MEDIA

音声の記録、入出力などオーディオ関係の設定内容を表示します。

カメラモードのとき

メディアモードのとき

1 内蔵マイク特性 ▶▶ 📖 95
2 内蔵マイク感度 ▶▶ 📖 95
3 XLR録音チャンネル ▶▶ 📖 97
4 XLRマイク感度 ▶▶ 📖 97
5 オーディオリミッター ▶▶ 📖 99
6 音声出力タイミング ▶▶ 📖 160
7 AV端子の音声出力レベル ▶▶ 📖 161
8 内蔵マイク／ø3.5mmマイクアッテネーター ▶▶ 📖 95
9 XLR録音レベル連動 ▶▶ 📖 98
10 XLRマイクアッテネーター ▶▶ 📖 98
11 1 kHzテストトーン ▶▶ 📖 103
12 ヘッドホンボリューム ▶▶ 📖 100、140

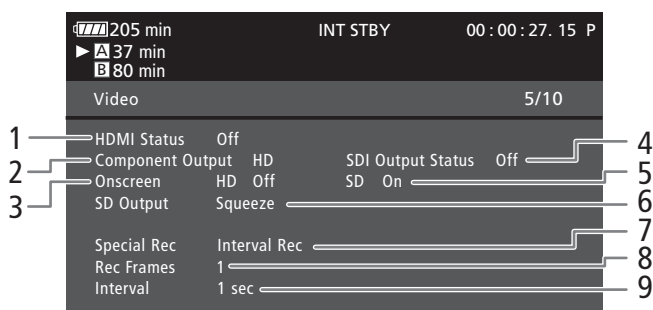
メディアステータス画面 CAMERA MEDIA

2つのCFカードスロットとSDカードスロットの記録メディアの状態を表示します（□ 39）。

1 CFカードA
2 CFカードB
3 SDカード
4 CFカードAの総容量
5 CFカードAの使用量
6 CFカードAの記録可能時間
7 CFカードAの使用量の目安
8 SDカードの総容量
9 SDカードの使用量
10 SDカードの静止画記録可能枚数
11 SDカードの使用量の目安

カードによっては、CFカードまたはSDカードの総容量が、カードに記載の容量より少なく表示されることがあります。

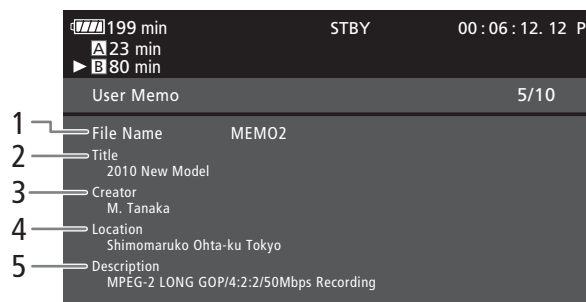
その他

ビデオステータス画面 CAMERA MEDIA

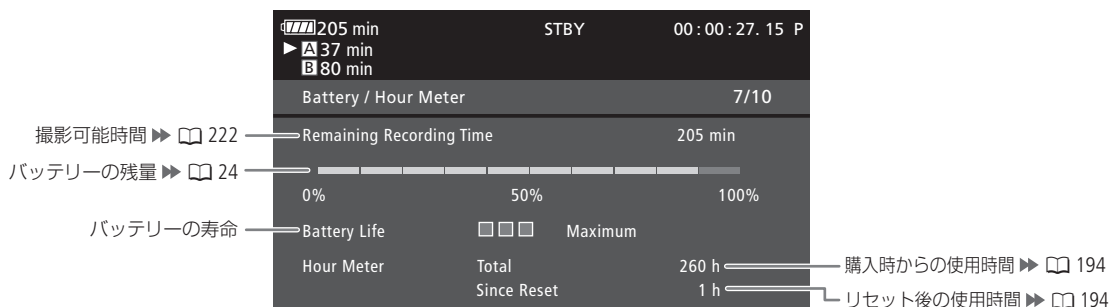
ビデオ出力端子の設定内容を表示します。特殊記録モードのときは、特殊記録のモードと設定内容についても表示します。

1 現在のHDMI OUT端子の出力状態 ▶▶ 📖 158
2 XF105 HD/SD SDI端子の出力設定 ▶▶ 📖 158
3 HD出力のOSD重畳 ▶▶ 📖 159
4 HD/SD COMPONENT OUT端子の出力状態 ▶▶ 📖 158
5 SD出力のOSD重畳 ▶▶ 📖 159
6 SD出力の表示方式 ▶▶ 📖 156
7 * 特殊記録 ▶▶ 📖 108
8 * インターバルRec ／フレームRecの記録フレーム数 ▶▶ 📖 108、110
9 * インターバルRecの記録間隔 ▶▶ 📖 108

* CAMERAモード時のみ表示

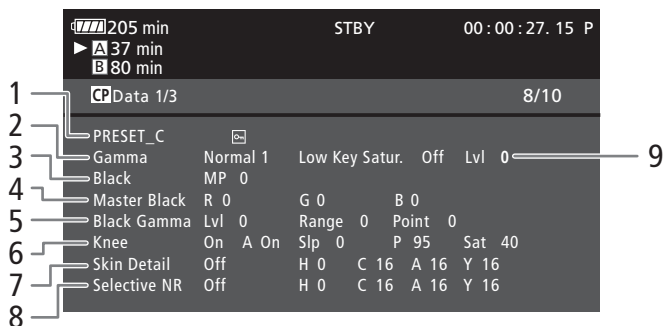
ユーザーメモステータス画面 CAMERA MEDIA

ユーザーメモの情報（クリップタイトル、撮影者名、撮影場所、撮影内容）を表示します（📖101）。

1 ユーザーメモファイルのファイル名
2 クリップのタイトル
3 撮影者名
4 撮影場所
5 撮影内容

バッテリー／使用時間ステータス画面 CAMERA MEDIA

バッテリーの残量や寿命を表示します。また、本体のご購入時からの使用時間と、最後にリセットしたときからの使用時間を表示します。

カスタムピクチャーステータス画面 CAMERA MEDIA

現在選択しているカスタムピクチャーの設定内容を表示します。

カスタムピクチャー 1画面の表示内容

1 カスタムピクチャー名 ▶▶ 📖 126
2 ガンマ ▶▶ 📖 126
3 ブラック ▶▶ 📖 126
4 マスターブラック ▶▶ 📖 126
5 ブラックガンマ ▶▶ 📖 127
6 ニー ▶▶ 📖 128
7 スキンディテール ▶▶ 📖 129
8 セレクティブNR ▶▶ 📖 130
9 ローキーサチュレーション ▶▶ 📖 127

カスタムピクチャー 2画面の表示内容

カスタムピクチャー 3画面の表示内容

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（📖 235）またはご購入になった販売店にご相談ください。

電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	22
バッテリーが充電できない。	● バッテリーの温度が0 ℃未満になったかまたは40 ℃を超えている。0 ℃未満のときはバッテリーを温めてから、40 ℃を超えたときは放置して40 ℃以下になってから、充電を開始する。 ● 周囲の温度が0 ℃ ～ 40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	22
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命の可能性がある。バッテリーステータス画面でバッテリーの寿命を確認し、寿命がないときは、新しいバッテリーを購入する。	201

撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● CFカードに空き容量がない。または999クリップ記録されている。別のCFカードと入れ換える。または不要なクリップを消すか、記録されているクリップをバックアップして初期化する。 ● ハンドルのSTART/STOPボタンのロックレバーが🔒側になっている。ロックを解除する。	39 148 162 43 49
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたクリップの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始／終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● オートフォーカスでフォーカスを調整するとき、被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● ファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	58 32 216
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／ ●❚❚撮影一時停止」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のCFカードと入れ換えるか、クリップをバックアップしてCFカードを初期化する。	39 162 43
動画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。CFカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、CFカードを初期化する。	162 43
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	235

再生中

こんなときは	どうするの？	📖
クリップの消去ができない。	● OKマークが付加されたクリップは、本機では消去できない。OKマークを消去してからクリップを消去する。	146
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップをバックアップしてCFカードを初期化する。	162 43
静止画を消せない。	● 静止画のプロテクト設定を解除する。 ● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	178 42
クリップをコピーできない。	● コピー先となるCFカードの空き容量が足りないか、または記録可能なクリップ数（999個）を超えた。CFカードの不要なクリップを消すか、別のCFカードと入れ換える。	148 39

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で[バッテリー残量表示]が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	22
画面に[?バッテリー表示]が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。通信可能なバッテリーと交換する。	—
タリーランプが点灯しない。	● Other Functionsメニューの「Tally Lamp」で、「Front（前部タリーランプ）」または「Rear（後部タリーランプ）」を「On」にする。	191
タリーランプが速く点滅する。	1秒に4回の点滅 ● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● CF AとCF B に空き容量がない。別のCFカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● システムエラーが発生している。電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	 22 39 148 235
タリーランプがゆっくり点滅する。	1秒に1回の点滅 ● CF AとCF Bを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのCFカードを別のカードと入れ換える。	 39
[SD]が赤く点灯する。	● SDカードエラー。電源を切り、SDカードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、SDカードを初期化する。 ● SDカードに空き容量がない。別のSDカードと入れ換えるか、静止画を消す。	42 43 176
撮影を中断してもアクセスランプが赤く点灯している。	● 撮影したクリップをCFカードに書き込んでいる。故障ではない。	—

画面や音

こんなときは	どうするの？	
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	22
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しないときは、次のいずれかの操作を行う。 • 電源を取り外し、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押す。 → カスタムピクチャーとHour Meter（リセット後の使用時間）を除く本機の設定が初期状態に戻る。 • Other Functionsメニューの「Reset」-「All Settings」を行う。 → Hour Meter（リセット後の使用時間）を除く本機の設定が初期状態に戻る。	22 11 190
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	—
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。シャッタースピードを1/100秒にするか、Camera Setupメニューの「Flicker Reduction」を「Automatic」にすると軽減する。故障ではない。	70
音声が記録されない。	● AUDIO IN（音声入力）切り換えスイッチが正しく切り換えられていない。 ● XLR端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、XLR端子切り換えスイッチを「MIC＋48V」に切り換えていない。	94 96
音声が極端に小さい。	● AUDIO（録音レベル）切り換えスイッチを「M（マニュアル）」にしていて、録音レベルをしぼっている。液晶画面のオーディオレベルメータで確認しながら適正なレベルに調整する。 ● 内蔵マイク／外部マイクのアッテネーターを「On」にしている。アッテネーターを「Off」にする。	98 95 98
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。内蔵マイクまたは外部マイクのマイクアッテネーターを使うか、録音レベルを手動で調整する。	95 98 98
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ヘッドホンをはずす。	140

アクセサリー

こんなときは	どうするの？	
メモリーカードが入らない。	● CFカードはCFカードスロットに、SDカードはSDカードスロットにそれぞれ正しい向きで入れる。	39 42
CFカードに動画を記録できない。	● 対応しているCFカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、CFカードを本機で初期化する。 ● CFカードに空き容量がないか、または記録可能なクリップ数（999個）を超えた。CFカードの不要なクリップを消すか、別のCFカードと入れ換える。	39 43 148 39

その他

こんなときは	どうするの？	🕮
SDカードに静止画を記録できない。	● はじめて使用するときは、SDカードを本機で初期化する。	43
	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	42
	● SDカードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な静止画を消す。	176
	● 静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、Other Functionsメニューの「Photo Numbering」を「Reset」にする。	193
CFカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。CFカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、CFカードを初期化する。	162 43
SDカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。SDカードに記録されている静止画をバックアップしたあと、SDカードを完全初期化する。	43
リモコンが動作しない。	● Other Functionsメニューの「Wireless Controller」を「On」にする。	36
	● リモコンの電池を交換する。	

■ 他機

こんなときは	どうするの？	🕮
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。	157
	● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	—
外部モニターで音声が出ない。	● D端子ケーブルで外部モニターにつなぐときは、音声を出力するためにステレオビデオケーブルの白と赤のプラグもつなぐ。	157
HDMIケーブルで接続しているとき、外部モニターに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	—

エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。エラーメッセージは、Other Functionsメニューの「Language 💬」で選んだ言語で表示されます。

メッセージ	原因と対処	📖
空き容量がありません	● CF AとCF B に空き容量がない。別のCFカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。	39 148
空き容量がわずかです	● CF AとCF Bを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのCFカードを別のカードと入れ換える。	39
画像がありません	● SDカードに静止画が記録されていない。静止画を記録してから再生する。	172
カバーがあいています	● カメラモードに切り換えたときに、CFカードカバーが開いていた。CFカードを入れたらCFカードカバーを閉じる。	39
記録できません	● エンコーダーにエラーが発生したため、記録できない。電源を入れなおしてカードを出し入れするか、別のCFカードと入れ換える。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	39 235
クリップがありません	● CFカードにクリップが記録されていない。クリップを記録してから再生する。	48
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● 管理情報が壊れた*1か、またはデコーダーにエラーが発生したため、再生できない。電源を入れなおしてカードを出し入れする。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	39 235
システムエラー	● 電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	235
操作は無効です	● 次にあげる無効な操作を行った。 • ショットマークを同じフレームに付加しようとした。 • OKマーク、チェックマークを同じクリップに付加しようとした。 • フレームRecモードまたはインターバルRecモードのときにショットマークを付加しようとした。 • 特殊記録モードで撮影した直後にレックレビューを行おうとした。 • CFカードが入っていないときに、START/STOPボタンを押した。	—
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ● USBケーブルをぬかないでください ● 電源をはずさないでください コンパクトパワーアダプターを接続してください	● メディアモード時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機のCFカード内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 ● コンパクトパワーアダプターをつないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、データの転送や書き戻しができる。	—
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ● USBケーブルをぬかないでください ● 電源をはずさないでください 書き込みできない接続方法です 書き込む場合はコンパクトパワーアダプターを接続してからUSBを接続しなおしてください	● コンパクトパワーアダプターをつながないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作や書き込みはできない。本機のCFカード内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 ● 本機のCFカード内にデータを書き込む場合は、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、コンパクトパワーアダプターを接続してから、USBケーブルを接続しなおす。	—
バッテリー情報を取得できません	● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリーを取り付けていないときは、バッテリー情報を表示できない。	—

*1 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したCFカード／クリップを、付属のソフトウェア（Canon XF Utilityまたはノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン）で読み込むことはできません。

メッセージ	原因と対処	
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリー以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。	—
	● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリーを使用しているときは、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	235
バッテリーパックを取り替えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	22
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号や静止画番号が最大になった。Other Functionsメニュー ➤ 「Photo Numbering」を「Reset」にしてカードを初期化するか、静止画をすべて消す。	193 43 177
CFスロット切り替えできません	● 撮影中など、CFスロットの切り換えができないときにSLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押した。撮影終了後にCFスロットを切り換える。	44
CF A（CF B） 空き容量がありません	● CF A（CF B）に空き容量がないため記録を開始できない。もう一方のスロットに切り換えてから撮影する。	44
CF A (CF B) 管理ファイルエラー 記録できません ダブルスロット記録時 CF A/CF B 管理ファイルエラー 記録できません	● 管理情報に書き込みできないため、記録できない。他の機器でCFカード内のファイルを操作すると、このようになることがある。CFカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	162 43
CF A（CF B）記録が中断されました	● 管理情報が壊れた*1か、または1つのクリップ中に記録できる映像ファイルの数*2が上限に達したため、記録を中断した。 *2 記録中、映像ファイルのサイズが2GBに達すると自動的に新しいファイルに記録し、最大99個まで記録できる。	—
CF A (CF B) クリップ数がいっぱいです ダブルスロット記録時 CF A / CF B クリップ数がいっぱいです	● CF A（CF B）がクリップ数の上限（999個）に達した。もう一方のスロットに切り換えるか、別のCFカードと入れ換える。 ● ダブルスロット記録時に、両CFカードのクリップ数がいっぱいで記録できない。	44 39
CF A（CF B） サポートしていない管理情報は削除されます	● キヤノン製の他の業務用ビデオカメラで初期化したCFカードを入れると、このようになることがある。CFカードの内容を確認する。	—
CF A（CF B） 修復が終了しました。クリップを確認してください。	● CFカード内の修復が完了した。	
CF A（CF B） 修復できませんでした	● CF A（CF B）を修復できなかった。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	162 43
CF A (CF B)にアクセス中です 取り出さないでください ダブルスロット記録時 CF A / CF Bにアクセス中です 取り出さないでください	● CF A（CF B）にアクセス中に、CF A（CF B）のカードカバーをあけた。CFカードカバーを閉める。 ● ダブルスロット記録中に、CF A/CF Bのカードカバーをあけた。CFカードカバーを閉める。	39

メッセージ	原因と対処	📖
CF A(CF B)にエラーが発生しました	● CF A(CF B)を認識できないか、またはアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。	39
CF A(CF B)のデータの確認と初期化をお勧めします	● 次の理由によりCF A(CF B)を使用できない。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。 • CFカードに異常があるため、記録・再生できない。 • CFカードの情報が取得できない。 • パソコンなど他の機器で初期化されている。 • CFカード内にパーティションが設定されている。	162 43
CF A(CF B)は修復が必要です 修復しますか？	● 記録中に停電したなどCFカード内の情報に不具合があるため、修復を行う必要がある。修復を行うときは、「はい」を選ぶ ➤ SETを押す。	45
CF A (CF B) バッファオーバーです 記録を中断しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。推奨のカードを入れる。	39
CF A(CF B) 非対応メディアです	● 容量が512MB未満か、またはUDMA非対応のためCF A(CF B)を使用できない。別のカードと入れ換える。	39
CF A(CF B) UDMA 4以上のメディアをお使いください	● UDMA 4未満のCFカードが入っている。UDMA 4以上のカードを推奨します。	39
CF A→CF B(CF B→CF A) 切り替えました	● リレー記録またはスロット切り換え操作 (SLOT SELECTボタンを押す)により、記録先がCF AからCF B(CF BからCF A)に切り換わった。	—
CF A→CF B(CF B→CF A) まもなく切り替えます	● CF A(CF B)の空き容量が少なくなったため、リレー記録によって、約1分後に記録先スロットが切り換わる。	—
PALで記録されています CF A(CF B)のデータの確認と初期化をお勧めします	● CF A(CF B)内のクリップがPAL方式で記録されている。CFカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	162 43
☑ Markエラー	● チェックマークが付加できなかった。カメラモードの場合、再度試みて解決しないときは、メディアモードで行う。メディアモードの場合、再度試みて解決しないときは、一度電源を入れなおして、再度行う。	145 26
🆗 Markエラー	● OKマークが付加できなかった。カメラモードの場合、再度試みて解決しないときは、メディアモードで行う。メディアモードの場合、再度試みて解決しないときは、一度電源を入れなおして、再度行う。	145 26
SDカードにエラーが発生しました	● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。	39
SDカードを確認してください	● SDカードにアクセスできない。SDカードが正しく入っているか、不具合がないか確認する。 ● SDカードにエラーがあり、記録や再生ができない。SDカードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。	42
Shot Markエラー	● ショットマークが付加できなかった。カメラモードの場合、再度試みて解決しないときは、撮影終了後にメディアモードで行う。メディアモードの場合、再度試みて解決しないときは、一度電源を入れなおして、再度行う。	145 26
Shot Markがありません	● ショットマークインデックス画面で、クリップのショットマークを消去したことによって、ショットマークが付加されたクリップがなくなった。INDEXボタンを押してオリジナルインデックス画面に戻る。	137
Shot Mark数オーバー	● ショットマーク数*が最大になったため、付加できない。 * ショットマーク1とショットマーク2で合計100個まで。	—

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った

バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（235）に問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

⚠ 警告　死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

禁止

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。

➤ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。

➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。

➤ 感電

ぬらさない。 ➤ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。

➤ 皮膚の損傷 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。

➤ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。

➤ 火災 やけど けが

ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

禁止

電源コードについて次のことを守る。

➤ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。 ➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。

➤ やけど けが

ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。

➤ 低温やけど

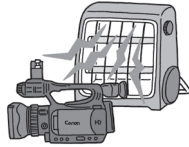
海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。 ➤ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

➤ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入る恐れあり。

禁止

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。
➤ 火災 やけど けが
発熱や破裂の恐れあり。

運転中に使用しない。➤ 交通事故

不安定な場所に置かない。
➤ けが
落下、転倒の恐れあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。
➤ 感電 けが

強制

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
➤ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。➤ 火災 感電

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。➤ けが 交通事故

⚠ 警告　死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

禁止

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。➤ やけど
発熱の恐れあり。

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。
➤ 火災
内部に熱がこもり、火災の原因。

強制

コード類は、つまずかないように配置する。
➤ けが

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが

強制

バッテリーやコンバージョンレンズなどを取り外すときは、落とさないように気をつける。➤ けが

飛行機内で使用するときは、乗務員の指示に従う。
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れあり。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。➤ 火災

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

ビデオカメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

強い磁気の発生する場所では使わない

テレビの上、プラズマテレビ、携帯電話の近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影や操作は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

太陽や強いライトにファインダーを向けない

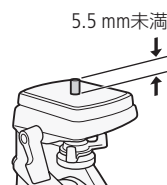
ファインダーの接眼レンズは、絶対に直射日光や強いライトに向けないでください。集光により内部の部品が溶けて破損の原因となることがあります。特にストラップや三脚を使用しているときや持ち運ぶときは、ファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。

液晶画面を...

つかんでもちあげない ➔液晶画面の接合部が破損することがあります。
無理に閉じない ➔正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

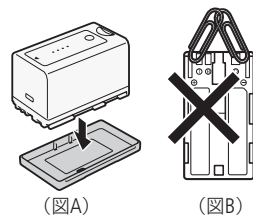
5.5 mm未満

バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

保管するときは端子カバーを使う

バッテリーを保管する、持ち運ぶなどのときは、必ず端子カバーを取り付けてください（A）。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります（B）。

（図A）　（図B）

正しく残量表示されないときは

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

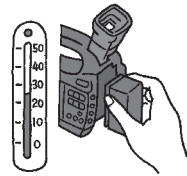
インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃ ～ 30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電済みバッテリーパックの見分けかた

ショート防止用端子カバーには□の穴があり、バッテリーに取り付けるときの向きによって□の穴から見える色が異なります。これを利用して端子カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。

■ メモリーカード

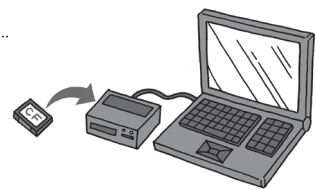
データはバックアップする

ビデオカメラ本体／メモリーカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

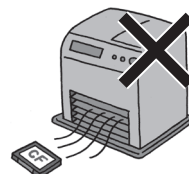
端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

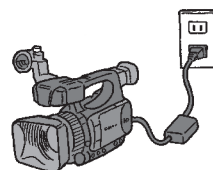
メモリーカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

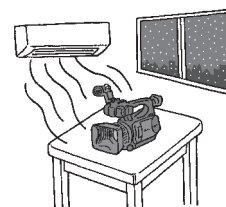
① 電源を切る
② コンパクトパワーアダプターとDCケーブルを使って、本機を家庭用コンセントにつなぐ

その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

メモリーカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度メモリーカードの完全初期化／初期化（📖 43）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化／初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、メモリーカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

■ コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ　http://www.jbrc.com
○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
○ 被覆をはがさないでください。
○ 分解しないでください。

日常のお手入れ

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

ビデオカメラ本体を清掃する

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズやハイスピードAF用外部センサーの表面にホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズやハイスピードAF用外部センサーは常にきれいに保つようにしてください。レンズは、最初にブロアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。ハイスピードAF用外部センサーは、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

液晶画面について

- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

海外で使う

海外で使用するときに知っておいていただきたいことです。

充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（AC100 ～ 240 V 50/60 Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。（右表参照）

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要				

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A
メキシコ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
カナリア諸島	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

コンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。故障する恐れがあります。

テレビで再生する

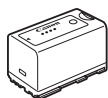
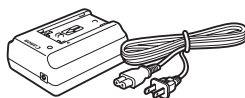
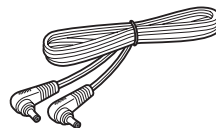
以下の国や地域では、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、カナダ、大韓民国、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、ジャマイカ、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダードトバゴ、トンガ、ニカラグア、ハイチ、パナマ、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ミャンマー、メキシコ

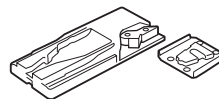
（NTSC方式を採用している国や地域－NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－）

その他

アクセサリー紹介

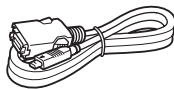
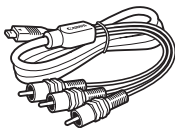
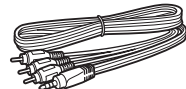
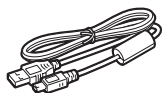
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用したときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、**キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします**。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、**弊社では一切責任を負いかねます**。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、**保証の対象外となり有償**とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

バッテリーパック
BP-925*、BP-955*、BP-975*

コンパクトパワーアダプター
CA-930

DCケーブル
DC-930

ワイドコンバーター
WD-H58W

テレコンバーター
TL-H58

三脚アダプター
TA-100

三脚ベース
TB-1

シューティングブレース
SBR-1000

ズームリモートコントローラー
ZR-2000

D端子ケーブル
DTC-100

コンポーネントケーブル
CTC-100

ステレオビデオケーブル
STV-250N

USBケーブル（インターフェースケーブル）
IFC-400PCU

PROTECTフィルター 58mm、ND4Lフィルター 58mm、ND8Lフィルター 58mm

* このバッテリーパックは、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

XF100/XF105本体

システム	
記録方式	動画： 映像圧縮方法：MPEG-2 Long GOP 音声記録方式：リニアPCM、16 bit、48kHz、2ch ファイルフォーマット：MXF 静止画： DCF準拠、Exif Ver2.2準拠 静止画圧縮方法：JPEG
記録／再生信号形式	50 Mbps（CBR / 4:2:2 / 422P@HL）： 1920×1080 / 60i、30P、24P 1280×720 / 60P、30P、24P 35 Mbps（VBR / 4:2:0 / MP@HL）： 1920×1080 / 60i、30P、24P 1280×720 / 60P、30P、24P 25 Mbps（CBR / 4:2:0 / MP@H14）： 1440×1080 / 60i、30P、24P
記録メディア	動画： コンパクトフラッシュ（CF）カード Type I（2スロット） 静止画*[1]： SD ／ SDHCメモリーカード
記録時間*[2]	16GB CFカード（50 Mbps、35 Mbps、25 Mbps）： 約40分、約55分、約80分 64GB CFカード（50 Mbps、35 Mbps、25 Mbps）： 約160分、約225分、約310分
撮像素子	1/3型 CMOS、有効画素：約207万画素（1920×1080）
液晶画面	ワイドカラー液晶（3.5型、約92万ドット）
ビューファインダー	ワイドカラー液晶ファインダー（0.24型、約26万ドット相当）
マイク	ステレオ、エレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=4.25 ～ 42.5 mm、F1.8 ～ 2.8、10倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離： 約30.4 ～ 304 mm
レンズ構成	10群12枚、非球面レンズ2枚（2面）
NDフィルター	グラデーション内蔵
フィルター径	58mm
焦点調整	TTL自動焦点（TTL+外部測距：ハイスピードAF選択時）、 マニュアルリングによるマニュアル調整可
ホワイトバランス	自動追尾型WB、セット、プリセット、色温度設定機能付き
アイリス	オート、マニュアル（📖 71）
ゲイン	オート（AGC）、マニュアル（📖 66）
シャッタースピード（📖 68）	OFF、オート、スピード設定、アングル設定、クリアスキャン、スローシャッター
被写体照度	最低被写体照度： 0.11ルクス（マニュアル時、フレームレート60i、ゲイン33 dB、 シャッタースピード1/4秒時） 被写体照度範囲： 0.11ルクス ～ 10万ルクス（マニュアル時）
手ブレ補正	光学式（シフト方式）
動画サイズ	50 Mbps： 1920×1080、1280×720 35 Mbps： 1920×1080、1280×720 25 Mbps： 1440×1080
静止画サイズ	1920×1080、1280×720（動画から切り取るときのみ）

*[1] カスタムピクチャー、設定データ、ユーザーメモの保存／読み込みにも使用。
*[2] 連続記録したときの記録時間の目安。

入・出力端子	
XF105 HD/SD SDI端子	BNCジャック（出力のみ）、0.8 Vp-p ／ 75 Ω、不平衡 HD-SDI（SMPTE　292M準拠）： 映像（1080i/720P）、エンベデッドオーディオ、タイムコード（VITC/LTC） SD-SDI（SMPTE　259M準拠）： 映像（480i）、エンベデッドオーディオ、タイムコード（VITC/LTC）
HDMI OUT端子	HDMIコネクター、出力のみ
HD/SD COMPONENT OUT端子	D4（720P）／ D3（1080i）／ D1（480i）対応、出力のみ Y：　1 Vp-p、75 Ω Pb/Pr：±350mV、75 Ω
映像出力（コンポジット）端子	AV端子：　φ3.5 mm　4極ミニジャック（AV兼用）、出力のみ、 1 Vp-p ／ 75 Ω　不平衡
音声出力端子	AV端子：　φ3.5 mm　4極ミニジャック（AV兼用）、出力のみ －10 dBV（47 kΩ負荷時、出力レベル設定1 Vrms）／ 3 kΩ以下
音声入力端子	XLR端子：　XLR（バランス）（①シールド、②ホット、③コールド）、2系統 感度（MIC時）：－60 dBu（マニュアルボリュームセンター、 フルスケール－18 dB）／ 600 Ω 感度（LINE時）：＋4 dBu（マニュアルボリュームセンター、 フルスケール－18 dB）／ 10 kΩ ATT：　20 dB マイク端子：　φ3.5mmステレオミニジャック（不平衡） 感度：60dBu（マニュアルボリュームセンター、フルスケール－18 dB） ATT：　20dB
🎧（ヘッドホン）端子	φ3.5 mmステレオミニジャック －∞～－12 dBV（16 Ω負荷、ボリュームMin ～ Max）／ 50 Ω以下
XF105 GENLOCK/TC端子	GENLOCK時 BNCジャック（入力のみ）、1.0 Vp-p ／ 75 Ω TC時 BNCジャック 入力時：0.5 V-18 Vp-p ／ 10 kΩ 出力時：1.0 Vp-p ／ 75 Ω
REMOTE端子	φ2.5 mmステレオミニミニジャック
USB端子	mini-B、USB2.0 Hi-Speed

電源その他	
電源電圧	公称 DC 7.4 V（バッテリーパック）、DC 8.4 V（DC IN）
消費電力	XF100：ファインダー使用時　5.2 W 液晶画面使用時　5.3 W XF105：ファインダー使用時　6.3 W 液晶画面使用時　6.4 W （いずれも、ビットレート50 Mbpsで録画中・AF合焦時、ファインダー／液晶画面の明るさノーマル、SDI出力OFF時）

電源その他	
動作温度	0 ℃ ～ ＋40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約121×148×250 mm （レンズフード、マイクホルダーユニット、グリップベルトを含まない） 約139×191×268 mm （レンズフード、マイクホルダーユニットを含み、グリップベルトは含まない）
撮影時総重量	XF100 約1240 g、XF105 約1290 g （レンズフード、グリップベルト、マイクホルダーユニット、BP-925、CFカード1枚、SDカード1枚を含む）
本体質量	XF100 約1020 g、XF105 約1070 g （グリップベルトを含み、レンズフード、マイクホルダーユニット、レンズキャップ、BP、カードは含まない）

付属品

コンパクトパワーアダプター CA-930	
電源	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz
出力／消費電力	アダプターモード時： 公称DC8.4 V、2.0 A 46 VA（AC 100 V）～ 62 VA（AC 240 V） チャージモード時： 公称DC8.4 V、1.5/2.0 A 40 VA（AC 100 V）～ 54 VA（AC 240 V）
使用温度	0 ℃ ～ +40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約85×51×110 mm
質量	約240 g

バッテリーパック BP-925	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0 ℃ ～ +40 ℃
公称電圧	DC 7.4 V
公称容量	2600 mAh
定格（最小）容量	19 Wh / 2450 mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約38.2×43.5×70.5 mm
質量	約130 g

バッテリーの充電時間／使用時間の目安

充電時間の目安

バッテリーパック	BP-925	BP-955	BP-975
充電時間*（コンパクトパワーアダプター CA-930を使用時）	約110分	約200分	約295分

* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

使用時間の目安

	ビットレート	使用時間		BP-925	BP-955	BP-975
XF100	50 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約195分	約405分	約620分
			液晶画面使用時	約195分	約400分	約605分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約125分	約260分	約385分
			液晶画面使用時	約120分	約255分	約380分
		再生時間	液晶画面使用時	約280分	約580分	約880分
	35 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約195分	約405分	約620分
			液晶画面使用時	約195分	約400分	約605分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約125分	約260分	約390分
			液晶画面使用時	約120分	約255分	約380分
		再生時間	液晶画面使用時	約280分	約580分	約885分
	25 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約200分	約415分	約635分
			液晶画面使用時	約195分	約410分	約620分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約125分	約265分	約395分
			液晶画面使用時	約125分	約260分	約390分
		再生時間	液晶画面使用時	約290分	約600分	約915分
XF105	50 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約165分	約340分	約510分
			液晶画面使用時	約160分	約335分	約500分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約105分	約215分	約315分
			液晶画面使用時	約100分	約210分	約310分
		再生時間	液晶画面使用時	約220分	約450分	約680分
	35 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約165分	約340分	約510分
			液晶画面使用時	約160分	約335分	約505分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約105分	約215分	約315分
			液晶画面使用時	約100分	約210分	約310分
		再生時間	液晶画面使用時	約220分	約450分	約680分
	25 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約165分	約345分	約520分
			液晶画面使用時	約165分	約340分	約510分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約105分	約220分	約320分
			液晶画面使用時	約105分	約215分	約315分
		再生時間	液晶画面使用時	約225分	約465分	約700分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーパックは予定撮影時間の2 ～ 3倍分を用意

ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのため、バッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなることがあります。撮影時には、予定撮影時間の2 ～ 3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

索引

ア

カ

サ

その他

ラ

記号

その他

商標について

- SD、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、SanDisk Corporationの商標です。
- CFロゴはCompactFlash Associationの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS、Final Cut Proは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Avid、Media Composer、NewsCutter は、米国および／またはその他の国におけるAvid Technology, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C.,（250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA）から取得可能です。

XF100 / XF105は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、Microsoftからライセンスされたexfat技術を搭載しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

アフターサービス期間について

ビデオカメラのアフターサービス期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。 本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

平日・土曜日 9:00〜18:00

日曜日、祝祭日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。なお、上記電話番号をご利用になれない場合は、043-211-9316をご利用ください。

- 購入年月日、型名「XF100/XF105」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。

使用方法に関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター

050-555-90004（全国共通）

平日 9:00〜12:00／13:00〜17:00（土日祝は休業）

※上記番号をご利用になれない方は043-211-9790をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらないことがあります。

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

キヤノン業務用デジタルビデオカメラホームページ

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/prodv

キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

■本書の記載内容は2011年3月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

PUB. DIJ-0353-000B